

注3

大学番号：042

[平成28年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

国際医療福祉大学 成田保健医療学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人国際医療福祉大学
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務部

職名・氏名 フクシュニン サトウ シュン
副主任 佐藤 旬

電話番号 0476-20-7703

（夜間） 0476-20-7703

F A X 0476-20-7702

e-mail shunsato@iuhw.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

成田保健医療学部

＜理学療法学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	36

＜作業療法学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	39
2. 授業科目の概要	44
3. 施設・設備の整備状況、経費	50
4. 既設大学等の状況	51
5. 教員組織の状況	54
6. 留意事項等に対する履行状況等	70
7. その他全般的事項	72

＜言語聴覚学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	75
2. 授業科目の概要	79
3. 施設・設備の整備状況、経費	85
4. 既設大学等の状況	86
5. 教員組織の状況	89
6. 留意事項等に対する履行状況等	102
7. その他全般的事項	103

＜医学検査学科＞

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	106
2. 授業科目の概要	110
3. 施設・設備の整備状況、経費	115
4. 既設大学等の状況	117
5. 教員組織の状況	120
6. 留意事項等に対する履行状況等	132
7. その他全般的事項	133

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人国際医療福祉大学

(2) 大 学 名

国際医療福祉大学

(3) 大学の位置

〒286-8686

千葉県成田市公津の杜4丁目3番

(本部：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600番1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学 長	(キタジマ マサキ) 北島 政樹 (平成21年7月)	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月)	任期満了に伴う変更(28)
学 部 長	(スギハラ モトコ) 杉原 素子 (平成28年4月)		
学科長等	(ニシダ ユウスケ) 西田 裕介 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
成田保健医療学部 理学療法学科 学士(理学療法 学)	4年	80人	— 年次 人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 80 (-) [0]	人	人 () []	人	人 () []	人	80人 () []	0人	1.15倍	
志願者数	504 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	498 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	139 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	92 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.15									

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出して

ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[0] (-) 92	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次					/		[] ()	[] ()	
計							[] (-) 92	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	92 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	92 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<成田保健医療学部 理学療法学科>

(1) 授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
				必	選	自	教	准	講	助	助		
				修	択	由	授	授	師	教	手		
総合 教育	人間 系	文学論	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任秋原北胤に変更 (28)
		演劇論	1 2 3 4 前		1							兼 1	就任辞退に伴い兼任秋原北胤に変更 (28)
		パフォーマンス表現論	1 2 3 4 前		2							兼 1	
		心理学	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任矢口大雄に変更 (28)
		哲学	1 2 3 4 前		2							兼 1	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任山田川誠司に変更 (28)
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	未開講 1 2 3 4 前		2							兼 1	履修希望者がいなかったため (28)
		人間学	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任鹿島晴雄に変更 (28)
		歴史学	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任町田明広に変更 (28)
		倫理学	1 2 3 4 後		2							兼 1	
		宗教学	1 2 3 4 後		2							兼 1	
		日本近現代史	1 2 3 4 後		2							兼 1	
		文化人類学	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任加藤尚子に変更 (28)
		教育学	1 2 3 4 後		2							兼 1	
	死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4 前		2							兼 1		
	社会 系	法学	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任伊東達也に変更 (28)
		法と道徳・倫理	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任伊東達也に変更 (28)
		医療関連法規	1 2 3 4 前		2							兼 1	
		社会保障制度論	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任金野充博に変更 (28)
		経済の仕組み	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任塩岡健一に変更 (28)
		経済の歴史	1 2 3 4 前後		2							兼 1	教育効果を考慮し、開講期を変更 (28)
		世界の経済	1 2 3 4 前後		2							兼 1	教育効果を考慮し、開講期を変更 (28)
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任高須賀茂文に変更 (28)
		世界の中の和文化	1 2 3 4 前		1							兼 1	専門性の深化を図り、各回の講義テーマに基づく専門化によるオムニバス化 (28)
		世界遺産と国際文化政策	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任佐藤祐一に変更 (28)
		経営の仕組み	1 2 3 4 前		2							兼 1	
		組織運営管理論	1 2 3 4 前		2							兼 1	教育効果を考慮し兼任羽田明浩に変更 (28)
		社会学 (人間と社会)	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任川上和久に変更 (28)
		マスメディア論	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任川上和久に変更 (28)
		新聞でみた日本と世界	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任川上和久に変更 (28)
		国際関係論	1 2 3 4 前後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任高須賀茂文に変更、教育効果に配慮し開講期を変更 (28)
		国際医療福祉論	1 2 3 4 前		2							兼 1	
		海外保健福祉事情Ⅰ (講義)	未開講 1 2 3 4 前	1								兼 1	履修希望者がいなかったため (28)
		海外保健福祉事情Ⅱ (実習)	未開講 1 2 3 4 前	1			1					兼 6	履修希望者がいなかったため (28)
		ボランティア論	1 2 3 4 後		2							兼 1	
		ボランティアコーディネート論	未開講 1 2 3 4 前		2							兼 1	履修希望者がいなかったため (28)
		手話入門	未開講 1 2 3 4 前		2							兼 1	履修希望者がいなかったため (28)
		防災と生活デザイン	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任梶秀樹に変更 (28)
		自然・ 情報 系	統計学	1 2 3 4 後		2							兼 1
	疫学・保健医療統計学		1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任福垣誠一に変更 (28)
	数学		1 2 3 4 前		2							兼 1	
	物理学		1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更 (28)
	化学		1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任清宮正徳に変更 (28)
	生物学		1 2 3 4 前		2							兼 1	
	情報処理Ⅰ (初歩)		1 2 3 4 前		1							兼 1	就任辞退に伴い兼任福垣誠一に変更 (28)
	情報処理Ⅱ (基礎)		1 2 3 4 前		1							兼 1	就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更 (28)
	情報処理Ⅲ (応用)		1 2 3 4 後		1							兼 1	就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更 (28)
	生命倫理		1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い専任榊井正義に変更 (28)
	医学/医療史		1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更 (28)
	人間工学		1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更 (28)
	総合 系	大学入門講座Ⅰ (基礎)	1 前	1								兼 2	
		大学入門講座Ⅱ (展開)	1 2 3 4 前		1							兼 2	
		郷土論	1 2 3 4 前		1							兼 1	専門性の深化を図り、地方自治体および地域と連携しオムニバス化 (28)
		医療福祉教養講義	1 2 3 4 後		1							兼 1	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4 後		2							兼 1	
		食と人間	1 2 3 4 後		1							兼 1	就任辞退に伴い兼任門脇弘子に変更 (28)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育（こくご）	英語 A-1（講読基礎）	1 前	1								兼 1 就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更（28）
	英語 A-2（講読応用）	1 後	1								兼 1 就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更（28）
	英語 B-1（視聴覚英語基礎）	1 前	1								兼 1 教育効果を考慮し少人数教育を実践するため、担当教員を追加（28）
	英語 B-2（視聴覚英語応用）	1 後	1								兼 1 教育効果を考慮し少人数教育を実践するため、担当教員を追加（28）
	英語 A-3（講読中級1）	2 3 4 前		1							兼 1
	英語 A-4（講読中級2）	2 3 4 後		1							兼 1
	英語 C-1（英会話初級）	2 3 4 前		1							兼 1
	英語 C-2（英会話中級）	2 3 4 後		1							兼 1
	英語ライティング1（Primary）	1 2 3 4 前		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任田中泰郎に変更（28）
	英語ライティング2（Basic）	1 2 3 4 後		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任田中泰郎に変更（28）
	国際医療通訳入門	1 2 3 4 前		1							兼 1
	資格英語1（Primary）	1 2 3 4 前		1							兼 1
	資格英語2（Basic）	1 2 3 4 後		1							兼 1
	基礎英文法1（Primary）	1 2 3 4 前		1							兼 1 就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更（28）
	基礎英文法2（Basic）	1 2 3 4 後		1							兼 1 就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更（28）
	上級英語文献講読	1 2 3 4 前		1							兼 1 効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加（28）
	上級英語会話1（発展）	1 2 3 4 前		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任師岡ビビアンルーズに変更（28）
	上級英語会話2（総合）	1 2 3 4 後		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任師岡ビビアンルーズに変更（28）
	ドイツ語入門（会話含む）	1 2 3 4 前		1							兼 1
	ドイツ語応用（会話含む）	1 2 3 4 後		1							兼 1
	中国語入門（会話含む）	1 2 3 4 前		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任張佳恵に変更（28）
	中国語応用（会話含む）	1 2 3 4 後		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任張佳恵に変更（28）
	韓国語入門（会話含む）	1 2 3 4 前		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任崔誠姫に変更（28）
	韓国語応用（会話含む）	1 2 3 4 後		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任崔誠姫に変更（28）
	フランス語入門（会話含む）	1 2 3 4 前		1							兼 1
	フランス語応用（会話含む）	1 2 3 4 後		1							兼 1
	スペイン語入門（会話含む）	1 2 3 4 前		1							兼 1 教育効果を考慮しネイティブスピーカーである兼任 Silvia Antoniaに変更（28）
	スペイン語応用（会話含む）	1 2 3 4 後		1							兼 1 教育効果を考慮しネイティブスピーカーである兼任 Silvia Antoniaに変更（28）
	タイ語入門（会話含む）	1 2 3 4 前		1							兼 1
	タイ語応用（会話含む）	1 2 3 4 後		1							兼 1
	ベトナム語入門（会話含む）	1 2 3 4 前		1							兼 1
	ベトナム語応用（会話含む）	1 2 3 4 後		1							兼 1
	ビルマ語入門（会話含む）	1 2 3 4 前		1							兼 1
	ビルマ語応用（会話含む）	1 2 3 4 後		1							兼 1
	日本語Ⅰ-A（作文）	1 2 3 4 前		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更（28）
	日本語Ⅰ-B（文法・語彙）	1 2 3 4 前		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更（28）
	日本語Ⅱ-A（作文）	1 2 3 4 後		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更（28）
	日本語Ⅱ-B（文法・語彙）	1 2 3 4 後		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更（28）
	日本語Ⅱ-C（発表討論）	1 2 3 4 前		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更（28）
	日本語Ⅱ-D（専門日本語）	1 2 3 4 前		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更（28）
	日本語Ⅲ-A（作文）	1 2 3 4 後		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更（28）
	日本語Ⅲ-B（文法・語彙）	1 2 3 4 後		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更（28）
	日本語Ⅲ-C（発表・討論）	1 2 3 4 前		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更（28）
	日本語Ⅲ-D（専門日本語）	1 2 3 4 前		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更（28）
	医療福祉専門漢字	1 2 3 4 後		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更（28）
	医療福祉専門語彙	1 2 3 4 後		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更（28）
	健康科学理論	1 2 3 4 前		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任西田裕介に変更（28）
	健康科学実践	1 2 3 4 前		1				1			
専門教育	公衆衛生学	1 2 3 4 後		2							兼 1 就任辞退に伴い兼任小川俊夫に変更、教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
	救急医学	2 3 4 前		1							兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
	感染と免疫	1 2 3 4 後		2							兼 1 就任辞退に伴い兼任林琢磨に変更、教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
	リハビリテーション概論	1 前	2			1					兼 1 教育効果を考慮し、兼任杉原素子に変更（28）
	関連職種連携論	2 後	2			1					兼 4
	ケアマネジメント論	2 3 4 前		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任井上善行に変更、教育効果を配慮し配当年次を変更（28）
	ケースワーク論	1 2 3 4 後		1							兼 1 就任辞退に伴い兼任井上善行に変更、教育効果を配慮し配当年次を変更（28）
	医療管理学	未開講 1 2 3 4 前		2							兼 1 教育効果を考慮し兼任垣岡健一に変更、教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4 後		2							兼 1 教育効果を考慮し兼任金野充博に変更、教育効果を配慮し配当年次を変更（28）
	社会福祉学	1 2 3 4 前		2							兼 1 就任辞退に伴い兼任井上善行に変更、教育効果を配慮し配当年次を変更（28）
	臨床心理学概論	2 前	2								兼 1 就任辞退に伴い兼任山川誠司に変更（28）
	医療情報学概論	2 3 4 後		2							兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
	福祉支援工学概論	1 2 3 4 前後		2							兼 1 就任辞退に伴い兼任中村美緒に変更、教育効果を配慮し開講期、配当年次を変更（28）
	関連職種連携ワーク	3 前	1								兼 4
	関連職種連携実習	4 前		1		1					兼 4
	リスクマネジメント論	3 4 後		2							兼 1
	電子カルテによるチーム医療概論	2 3 4 後		2							兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4 前		1							兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
	レクリエーション概論	3 4 前		1		1					兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
	災害保健学	1 2 3 4 前		1				1			兼 3 教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
	予防保健学	1 2 3 4 前		1			1				兼 3 教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
	国際医療保健学	1 2 3 4 前後		1				1			兼 3 教育効果を考慮し開講期を変更（28）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 (つづき)	異文化体験実習	1 2 3 4 後		1					1		兼 3	
	解剖学Ⅰ(運動器系、内臓器系)	1 前	1			1						
	解剖学Ⅱ(内臓器系、神経系)	1 後	1			1						
	解剖学実習Ⅰ(肉眼)	1 前	1			1						
	解剖学実習Ⅱ(組織)	1 後	1			1						
	生理学Ⅰ(植物性機能)	1 前	1			1						
	生理学Ⅱ(動物性機能)	1 後	1			1						
	生理学実習	1 後	1			1						
	運動学Ⅰ(基礎)	1 前	1				1					
	運動学Ⅱ(応用)	1 後	1						1			
	運動生理学	1 後	2			1						
	病理学	2 前	1								兼 1	
	臨床医学概論	2 前	1								兼 1	
	内科学Ⅰ(基礎)	2 前	1								兼 1	
	内科学Ⅱ(臨床)	2 後	1								兼 1	
	神経学Ⅰ(基礎)	2 前	1								兼 1	
	神経学Ⅱ(臨床)	2 後	1								兼 1	
	整形外科Ⅰ(基礎)	2 前	1			1						
	整形外科Ⅱ(臨床)	2 後	1			1						
	精神医学Ⅰ(総論・各論)	2 前	1								兼 1	
	精神医学Ⅱ(各論)	2 3 4 後		1							兼 1	教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	運動学実習Ⅰ(基礎)	2 前	1			1	4	5	4			
	運動学実習Ⅱ(応用)	2 後	1			1	4	5	4			
	人間発達学	2 後	1				1					
	リハビリテーション医学	3 後	1								兼 1	
	小児科学	2 後	1								兼 1	
	老年学	2 3 4 前		1							兼 1	教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	神経心理学概論	2 3 4 後		2							兼 1	教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	薬理学	2 3 4 前		1		1						教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	スポーツ傷害学	2 3 4 後		1				1				教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	外科学	2 3 4 前		1							兼 1	教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	栄養学	2 3 4 後		1							兼 1	教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	国際医療保健学演習	2 3 4 後		1				1			兼 3	教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	国際医療保健学実習	2 3 4 後		1				1			兼 3	
専門 教育	理学療法概論	1 前	2			1						
	運動解剖学	2 前	2					1				
	病態運動学	3 前	2						1			
	物理療法Ⅰ(理論)	1 後	1				1					
	物理療法Ⅱ(実践)	2 前	1				1					
	PTスキルⅠ演習(キャリアデザイン)	1 後	1			1	4	5	4			
	PTスキルⅡ演習(検査・測定)	2 後	1			1	4	5	4			
	PTスキルⅢ演習(障害理解)	3 前	1			1	4	5	4			
	PTスキルⅣ演習(専門知識の確認)	3 後	2			1	4	5	4			
	理学療法評価学	2 前	2			1						
	理学療法診断学Ⅰ(基礎)	2 前	1					1				
	理学療法診断学Ⅱ(神経診断学)	2 前	1					1				
	理学療法診断学Ⅲ(疾患別評価)	2 後	1						1			
	理学療法診断学Ⅳ(電気診断学)	2 3 4 後		1				1				教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	理学療法診断学Ⅴ(画像・臨床検査値)	3 前	2				1					教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	スポーツバイオメカニクス	2 3 4 前		1				1				教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	動作分析学	2 3 4 前		1			1					教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	理学療法計測法	2 3 4 前		1				1				
	運動療法学総論	2 後	1				1					
	理学療法治療学総論	3 前	1				1					
	メディカルイングリッシュボキャブラリー	2 3 4 後		1			1					
	グローバルメディカルコミュニケーションⅠ(基礎)	3 4 前		1				1				教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	グローバルメディカルコミュニケーションⅡ(応用)	3 4 後		1				1				
	運動系理学療法学Ⅰ(評価)	3 前	1				1					
	運動系理学療法学Ⅱ(治療)	3 後	1						1			
	神経系理学療法学Ⅰ(評価)	3 前	1				1					
	神経系理学療法学Ⅱ(治療)	3 後	1					1				
	高次脳機能障害学	3 4 前		1			1					教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	代謝系理学療法学	3 前	1					1				
	循環理学療法学	3 前	1						1			
	呼吸理学療法学	3 前	1					1				
	ベッドサイド理学療法	3 4 前		1					1			教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	癌のリハビリテーション	3 4 後		1					1			
	装具学	3 前	1				1					
	義肢学	3 後	1				1					
	生活技術学	3 前	1						1			
	生活環境学	3 後	1						1			
	地域理学療法学演習(在宅・地域)	3 後	1						1			
	小児理学療法学	3 前	1				1					
	理学療法治療学特論Ⅰ(神経系治療手技)	3 4 前		2				1				教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	理学療法治療学特論Ⅱ(運動器系治療手技)	3 4 後		2				1				
	先端トレーニング理論	3 4 前		1		1						教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	先端基礎理学療法学	3 4 後		1					1			
	先端運動系理学療法学	3 4 後		1			1					
	先端神経系理学療法学	3 4 後		1				1				
	先端内部障害系理学療法学	3 4 後		1				1				
	先端スポーツリハビリテーション	3 4 後		1				1				
	スポーツ理学療法学	3 4 前		1				1				教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	テーピング治療学	3 4 後		1				1				
	クリニカルリーズニングⅠ(基本的疾患)	3 4 後		2			1		1			
	クリニカルリーズニングⅡ(応用的疾患)	3 4 後		2				1				
	予防理学療法学	3 4 後		1			1					
	運動心理学	3 4 後		1				1				
	教育・管理系理学療法学	3 4 前		1			1					教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	産科理学療法学	3 4 後		1					1			
	精神科理学療法学	3 4 後		1				1				
	ヘルスプロモーション論	3 4 後		1			1					
	障害者スポーツ概論	3 4 後		1				1				

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 教 育	産業理学療法学	3 4 後		1			1				兼 2	
	災害リハビリテーション学	3 4 後		1				1				
	理学療法特論Ⅰ（基礎）	4 後	2			1	4	5	4			
	理学療法特論Ⅱ（応用）	4 後		2		1	4	5	4			
	基礎実習	1 前	1			1	4	5	4			
	検査実習	2 後	2			1	4	5	4			
	評価実習	3 前	4			1	4	5	4			
	総合臨床実習	4 前	12			1	4	5	4			
	卒業研究Ⅰ（研究計画の立案）	3 4 後		2		1	4	5	4			
	卒業研究Ⅱ（研究の実践）	4 後	2			1	4	5	4			

- （注）
- ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
68	160	0	228	68	160	0	228	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	※大学全体 成田キャンパス（医学部）校地を無償借用のため増加（28） 小田原保健医療学部と小田原市とで土地の等価交換を行い、18㎡減少（H28）			
	校 舎 敷 地	262,852㎡ 194,962㎡	0㎡	0㎡	262,852㎡ 194,962㎡				
	運動場用地	88,807㎡ 83,147㎡	0㎡	0㎡	88,807㎡ 83,147㎡				
	小 計	351,659㎡ 283,796㎡	0㎡	0㎡	351,659㎡ 283,796㎡				
	そ の 他	372,772㎡ 372,790㎡	0㎡	0㎡	372,772㎡ 372,790㎡				
	合 計	724,431㎡ 656,559㎡	0㎡	0㎡	724,431㎡ 656,559㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
		143,615㎡ (143,615㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	143,615㎡ (143,615㎡)				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		176室	60室	216室	18室 (補助職員 4人)	6室 (補助職員 0人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		成田保健医療学部 理学療法学科			13 室				
(5)図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	成田保健医療学部共通	
		成田保健医療学部	11,000 [1,540] 6,501 [264] (4,400 [616])	64 [20] 156 [0] (52 [16])	3,336 [2,205] 4,115 [2,892] (3,176 [2,085])	196 136 (44)	6,500 2,478(5200)		590 113(334)
		計	11,000 [1,540] 6,501 [264] (4,400 [616])	64 [20] 156 [0] (52 [16])	3,336 [2,205] 4,115 [2,892] (3,176 [2,085])	196 136 (44)	6,500 2,478(5200)		590 113(334)
	(6)図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
7,087.11㎡		1,613席		299,400冊					
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		5,715.34㎡		弓道場		テニスコート			
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	朱書修正金額は5学科合計（H28）
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	477 44,000千円	87,750 32,000千円	16,000千円	
		共 同 研 究 費 等	1,500千円	3,000千円	設備購入費	153,900 373,480千円	900,000 459,800千円	18,500千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,550千円	1,450千円	1,450千円	1,450千円	一 千円	一 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資金運用収入 等						

- （注）・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（28）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	国際医療福祉大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
保健医療学部	年	人	年次 人	人		倍			
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.19	平成7年度	栃木県大田原市北 金丸2600番1	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.20	平成7年度	同上	
作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法学)	1.20	平成7年度	同上	
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴覚学)	1.14	平成7年度	同上	
視機能療法学科	4	40	-	160	学士 (視機能療法学)	1.19	平成14年度	同上	
放射線・情報科学科	4	100	-	400	学士 (放射線・情報科学)	1.19	平成7年度	同上	
医療福祉学部						1.08			
医療福祉・マネジメント 学科	4	160	-	640	学士 (医療福祉学) 学士 (医療マネジメント学)	1.09	平成9年度	同上	
薬学部						1.08			
薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)	1.08	平成18年度	同上	
小田原保健医療学部						1.18			
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.13	平成18年度	神奈川県小田原市 城山一丁目2番25号	
理学療法学科	4	40	-	160	学士 (理学療法学)	1.19	平成18年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.24	平成18年度	同上	
福岡看護学部						1.21			
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.21	平成20年度	福岡市早良区 百道浜1-7-4	
福岡保健医療学部						1.18			
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.18	平成17年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.19	平成17年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	1.16	平成19年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.19	平成25年度	同上	
成田看護学部						1.08			
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.08	平成28年度	千葉県成田市 公津の杜4丁目3番	
成田保健医療学部						1.08			
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.15	平成28年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.07	平成28年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	1.00	平成28年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.07	平成28年度	同上	

医療福祉学研究科						1.31		
修士課程保健医療学専攻	2	100	-	200	修士 (保健医療学) 修士 (看護学) 修士 (助産学) 修士 (言語聴覚学) 修士 (生殖補助医療学) 修士 (医療福祉教育・管理学) 修士 (臨床検査学)	1.59	平成11年度	栃木県大田原市北金丸2600番1
修士課程医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉学) 修士 (診療情報管理学) 修士 (医療ビジネス経営学) 修士 (医療福祉管理学) 修士 (介護福祉・ケアマネジメント学) 修士 (医療福祉ジャーナリズム学) 修士 (臨床心理学)	0.92	平成13年度	同上
修士課程臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理学)	1.00	平成19年度	同上
博士課程保健医療学専攻	3	50	-	150	博士 (保健医療学) 博士 (看護学) 博士 (助産学) 博士 (言語聴覚学) 博士 (生殖補助医療学) 博士 (臨床検査学) 博士 (医療福祉経営学) 博士 (医療福祉学) 博士 (診療情報管理学) 博士 (介護福祉・ケアマネジメント学) 博士 (臨床心理学) 博士 (医療福祉ジャーナリズム学)	1.38	平成13年度	同上
薬科学研究科						0.20		
修士課程生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.20	平成22年度	同上
薬学研究科						1.20		
博士課程医療・生命薬学専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	1.20	平成24年度	同上

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。

- ・ A C対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<成田保健医療学部 理学療法学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	学科長 教授	ニシダ ユウスケ 西田 裕介 (40)	平成28年4月	関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
				レクリエーション概論						
				運動生理学						
				理学療法概論						
				理学療法評価学						
				先端トレーニング理論						
				海外保健福祉事情Ⅱ(実習)						
				基礎実習						
				検査実習						
				評価実習						
				総合臨床実習						
				卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)						
				卒業研究Ⅱ(研究の実践)						
				運動学実習Ⅰ(基礎)						
				運動学実習Ⅱ(応用)						
				PTスキルⅠ演習(キャリアデザイン)						
				PTスキルⅡ演習(検査・測定)						
				PTスキルⅢ演習(障害理解)						
				PTスキルⅣ演習(専門知識の確認)						
				理学療法特論Ⅰ(基礎)						
				理学療法特論Ⅱ(応用)						
専	教授	コホリ ヒロユキ 小堀 浩幸 (64)	平成28年4月	生理学Ⅰ(植物性機能)	兼任	講師	林 真理子 (47)	平成28年4月	生理学Ⅰ(植物性機能)	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
				生理学Ⅱ(動物性機能)					生理学Ⅱ(動物性機能)	
				生理学実習					生理学実習	
専	教授	コホリ ヒロユキ 小堀 浩幸 (51)	平成28年4月	薬理学						
専	教授	ハシモト ユウスケ 乗松 祐佐 (44)	平成28年4月	リハビリテーション概論	兼任	教授	杉原 素子 (72)	平成28年4月	リハビリテーション概論	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
専	教授	ハシマツ ユウスケ 乗松 祐佐 (41)	平成28年4月	整形外科Ⅰ(基礎)						
				整形外科Ⅱ(臨床)						
専	教授	ミヤケ カツキ 三宅 克也 (62)	平成28年4月	解剖学Ⅰ(運動器系、内臓器系)	兼任	教授	松野 義晴 (50)	平成28年4月	解剖学Ⅰ(運動器系、内臓器系)	負荷軽減を考慮し、担当教員の変更(28)
				解剖学Ⅱ(内臓器系、神経系)					解剖学Ⅱ(内臓器系、神経系)	
				解剖学実習Ⅰ(肉眼)					解剖学実習Ⅰ(肉眼)	
				解剖学実習Ⅱ(組織)					解剖学実習Ⅱ(組織)	
				予防保健学						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	アカデ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	イトカス マサミ 糸数 昌史 (39)	平成29年4月	人間発達学						
				理学療法治療学総論						
				高次脳機能障害学						
				小児理学療法学						
				予防理学療法学						
				ヘルスプロモーション論						
				基礎実習						
				検査実習						
				評価実習						
				総合臨床実習						
				卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)						
				卒業研究Ⅱ(研究の実践)						
				運動学実習Ⅰ(基礎)						
				運動学実習Ⅱ(応用)						
				PTスキルⅠ 演習(キャリアデザイン)						
				PTスキルⅡ 演習(検査・測定)						
				PTスキルⅢ 演習(障害理解)						
				PTスキルⅣ 演習(専門知識の確認)						
				理学療法特論Ⅰ(基礎)						
				理学療法特論Ⅱ(応用)						
兼任	講師	イトカス マサミ 糸数 昌史 (38)	平成28年4月	予防保健学						
専	准教授	カサイ リエ 河西 理恵 (49)	平成28年4月	運動学Ⅰ(基礎)						
				動作分析学						
				メディカルイングリッシュポキャブラリー						
				運動系理学療法学Ⅰ(評価)						
				先端運動系理学療法学						
				クリニカルリーズニングⅠ(基本的疾患)						
				基礎実習						
				検査実習						
				評価実習						
				総合臨床実習						
				卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)						
				卒業研究Ⅱ(研究の実践)						
				運動学実習Ⅰ(基礎)						
				運動学実習Ⅱ(応用)						
				PTスキルⅠ 演習(キャリアデザイン)						
				PTスキルⅡ 演習(検査・測定)						
				PTスキルⅢ 演習(障害理解)						
				PTスキルⅣ 演習(専門知識の確認)						
				理学療法特論Ⅰ(基礎)						
				理学療法特論Ⅱ(応用)						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	ホリモ ユカリ 堀本 ゆかり (53)	平成29年4月	物理療法Ⅰ(理論)						
				物理療法Ⅱ(実践)						
				神経生理学療法学Ⅰ(評価)						
				教育・管理理学療法学						
				基礎実習						
				検査実習						
				評価実習						
				総合臨床実習						
				卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)						
				卒業研究Ⅱ(研究の実践)						
				運動学実習Ⅰ(基礎)						
				運動学実習Ⅱ(応用)						
				PTスキルⅠ 演習(キャリアデザイン)						
				PTスキルⅡ 演習(検査・測定)						
				PTスキルⅢ 演習(障害理解)						
				PTスキルⅣ 演習(専門知識の確認)						
				理学療法特論Ⅰ(基礎)						
				理学療法特論Ⅱ(応用)						
兼任	准教授	ホリモ ユカリ 堀本 ゆかり (52)	平成28年4月	物理療法Ⅰ(理論)						
専	准教授	モリイ カズエ 森井 和枝 (59)	平成29年4月	理学療法診断学Ⅴ(画像・臨床検査値)						
				運動療法学総論						
				装具学						
				義肢学						
				産業理学療法学						
				基礎実習						
				検査実習						
				評価実習						
				総合臨床実習						
				卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)						
				卒業研究Ⅱ(研究の実践)						
				運動学実習Ⅰ(基礎)						
				運動学実習Ⅱ(応用)						
				PTスキルⅠ 演習(キャリアデザイン)						
				PTスキルⅡ 演習(検査・測定)						
				PTスキルⅢ 演習(障害理解)						
				PTスキルⅣ 演習(専門知識の確認)						
				理学療法特論Ⅰ(基礎)						
				理学療法特論Ⅱ(応用)						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	ﾌｧｶﾅ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	ｺｳﾉ ｹﾝｲﾁ 河野 健一 (33)	平成28年4月	理学療法診断学Ⅰ(基礎)						
				理学療法計測法						
				代謝系理学療法学						
				呼吸理学療法学						
				先端内部障害系理学療法学						
				基礎実習						
				検査実習						
				評価実習						
				総合臨床実習						
				卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)						
				卒業研究Ⅱ(研究の実践)						
				運動学実習Ⅰ(基礎)						
				運動学実習Ⅱ(応用)						
				PTスキルⅠ 演習(キャリアデザイン)						
				PTスキルⅡ 演習(検査・測定)						
				PTスキルⅢ 演習(障害理解)						
				PTスキルⅣ 演習(専門知識の確認)						
				理学療法特論Ⅰ(基礎)						
				理学療法特論Ⅱ(応用)						
専	講師	ｼﾑﾗ ｹｲﾀ 志村 圭太 (33)	平成28年4月	国際医療保健学						
				国際医療保健学実習						
				理学療法治療学特論Ⅰ(神経系治療手技)						
				スポーツ理学療法学						
				クリニカルリーズニングⅡ(応用的疾患)						
				障害者スポーツ概論						
				基礎実習						
				検査実習						
				評価実習						
				総合臨床実習						
				卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)						
				卒業研究Ⅱ(研究の実践)						
				運動学実習Ⅰ(基礎)						
				運動学実習Ⅱ(応用)						
				PTスキルⅠ 演習(キャリアデザイン)						
				PTスキルⅡ 演習(検査・測定)						
				PTスキルⅢ 演習(障害理解)						
				PTスキルⅣ 演習(専門知識の確認)						
				理学療法特論Ⅰ(基礎)						
				理学療法特論Ⅱ(応用)						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	ﾌﾘｶﾞﾅ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	マキハラ ユキコ 牧原 由紀子 (39)	平成28年4月	理学療法診断学Ⅳ(電気診断学)						
				グローバルメディカルコミュニケーションⅡ(応用)						
				神経系理学療法Ⅱ(治療)						
				先端神経系理学療法						
				運動心理学						
				基礎実習						
				検査実習						
				評価実習						
				総合臨床実習						
				卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)						
				卒業研究Ⅱ(研究の実践)						
				運動学実習Ⅰ(基礎)						
				運動学実習Ⅱ(応用)						
				PTスキルⅠ 演習(キャリアデザイン)						
				PTスキルⅡ 演習(検査・測定)						
				PTスキルⅢ演習(障害理解)						
				PTスキルⅣ演習(専門知識の確認)						
				理学療法特論Ⅰ(基礎)						
				理学療法特論Ⅱ(応用)						
専	講師	ミウラ ハナ 三浦 和 (37)	平成29年4月	災害保健学						
				国際医療保健学演習						
				運動解剖学						
				理学療法診断学Ⅱ(神経診断学)						
				精神科理学療法						
				災害リハビリテーション学						
				基礎実習						
				検査実習						
				評価実習						
				総合臨床実習						
				卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)						
				卒業研究Ⅱ(研究の実践)						
				運動学実習Ⅰ(基礎)						
				運動学実習Ⅱ(応用)						
				PTスキルⅠ 演習(キャリアデザイン)						
				PTスキルⅡ 演習(検査・測定)						
				PTスキルⅢ演習(障害理解)						
				PTスキルⅣ演習(専門知識の確認)						
				理学療法特論Ⅰ(基礎)						
				理学療法特論Ⅱ(応用)						
兼任	講師	ミウラ ハナ 三浦 和 (36)	平成28年4月	災害保健学						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	ﾌﾘｶﾞﾅ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	ミヤモリ タカキ 宮森 隆行 (41)	平成28年4月	スポーツバイオメカニクス						
				グローバルメディカルコミュニケーションⅠ(基礎)						
				理学療法治療学特論Ⅱ(運動器系治療手技)						
				先端スポーツリハビリテーション						
				テーピング治療学						
				スポーツ傷害学						
				健康科学実践						
				基礎実習						
				検査実習						
				評価実習						
				総合臨床実習						
				卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)						
				卒業研究Ⅱ(研究の実践)						
				運動学実習Ⅰ(基礎)						
				運動学実習Ⅱ(応用)						
				PTスキルⅠ 演習(キャリアデザイン)						
				PTスキルⅡ 演習(検査・測定)						
				PTスキルⅢ 演習(障害理解)						
				PTスキルⅣ 演習(専門知識の確認)						
				理学療法特論Ⅰ(基礎)						
				理学療法特論Ⅱ(応用)						
専	助教	サクライ ヨウコ 櫻井 陽子 (38)	平成29年4月	運動系理学療法Ⅱ(治療)						
				生活技術学						
				基礎実習						
				検査実習						
				評価実習						
				総合臨床実習						
				卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)						
				卒業研究Ⅱ(研究の実践)						
				運動学実習Ⅰ(基礎)						
				運動学実習Ⅱ(応用)						
				PTスキルⅠ 演習(キャリアデザイン)						
				PTスキルⅡ 演習(検査・測定)						
				PTスキルⅢ 演習(障害理解)						
				PTスキルⅣ 演習(専門知識の確認)						
				理学療法特論Ⅰ(基礎)						
				理学療法特論Ⅱ(応用)						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職名	ﾌｧｸｼ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	サワ リョウイチ 澤 龍一 (28)	平成28年4月	異文化体験実習						
				生活環境学						
				地域理学療法実習(在宅・地域)						
				産科理学療法						
				基礎実習						
				検査実習						
				評価実習						
				総合臨床実習						
				卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)						
				卒業研究Ⅱ(研究の実践)						
				運動学実習Ⅰ(基礎)						
				運動学実習Ⅱ(応用)						
				PTスキルⅠ 演習(キャリアデザイン)						
				PTスキルⅡ 演習(検査・測定)						
				PTスキルⅢ 演習(障害理解)						
				PTスキルⅣ 演習(専門知識の確認)						
				理学療法特論Ⅰ(基礎)						
				理学療法特論Ⅱ(応用)						
専	助教	タケウチ シンタ 竹内 真太 (30)	平成28年4月	ベッドサイド理学療法						
				癌のリハビリテーション						
				基礎実習						
				検査実習						
				評価実習						
				総合臨床実習						
				卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)						
				卒業研究Ⅱ(研究の実践)						
				運動学実習Ⅰ(基礎)						
				運動学実習Ⅱ(応用)						
				PTスキルⅠ 演習(キャリアデザイン)						
				PTスキルⅡ 演習(検査・測定)						
				PTスキルⅢ 演習(障害理解)						
				PTスキルⅣ 演習(専門知識の確認)						
				理学療法特論Ⅰ(基礎)						
				理学療法特論Ⅱ(応用)						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	ヤマグチ ショウキ 山口 将希 (29)	平成28年4月	運動学Ⅱ(応用)						
				病態運動学						
				先端基礎理学療法学						
				基礎実習						
				検査実習						
				評価実習						
				総合臨床実習						
				卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)						
				卒業研究Ⅱ(研究の実践)						
				運動学実習Ⅰ(基礎)						
				運動学実習Ⅱ(応用)						
				PTスキルⅠ 演習(キャリアデザイン)						
				PTスキルⅡ 演習(検査・測定)						
				PTスキルⅢ 演習(障害理解)						
				PTスキルⅣ 演習(専門知識の確認)						
				理学療法特論Ⅰ(基礎)						
				理学療法特論Ⅱ(応用)						
兼任	教授	ウチダ シンヤ 内田 信也 (47)	平成29年4月	国際医療保健学実習						
兼任	教授	オオサワ ススム 大澤 進 (68)	平成28年4月	関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
				海外保健福祉事情Ⅱ(実習)						
兼任	教授	カガチーカンジ 亀口 憲治 (68)	平成28年4月	コミュニケーション概論 臨床心理学概論	兼任	助教	山川 誠司 (52)	平成28年4月	コミュニケーション概論 臨床心理学概論	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
兼任	教授	カガチーカンジ 亀口 憲治 (68)	平成28年4月	雑談と傾聴-話す力と聴く力-						
兼任	教授	カワイ ヨウコ 川合 陽子 (68)	平成29年4月	臨床医学概論						
				内科学Ⅰ(基礎)						
				内科学Ⅱ(臨床)						
兼任	教授	カワノ トシオ 河野 寿夫 (69)	平成29年4月	小児科学						
兼任	教授	キクチ テツロウ 菊池 哲郎 (68)	平成28年4月	経済の仕組み	兼任	教授	埴岡 健一 (56)	平成28年4月	経済の仕組み	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
兼任	教授	キクチ テツロウ 菊池 哲郎 (68)	平成28年4月	世界遺産と国際文化政策	兼任	教授	佐藤 禎一 (74)	平成28年4月	世界遺産と国際文化政策	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
兼任	教授	キクチ テツロウ 菊池 哲郎 (68)	平成28年4月	経済の歴史						
				世界の経済						
兼任	教授	キムラ ヨシヒロ 北村 義浩 (55)	平成28年4月	公衆衛生学	兼任	准教授	小川 俊夫 (53)	平成28年4月	公衆衛生学	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
兼任	教授	キムラ ヨシヒロ 北村 義浩 (55)	平成28年4月	感染と免疫	兼任	教授	林 琢磨 (51)	平成28年4月	感染と免疫	教育内容からより適切な教員へ変更(28)

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	キタムラ ヨシヒロ 北村 義浩 (55)	平成28年4月	国際医療福祉論						
兼任	教授	コウノ マコト 河野 真 (49)	平成28年4月	国際医療保健学						
				異文化体験実習						
				国際医療保健学演習						
				国際医療保健学実習						
				災害リハビリテーション学						
				海外保健福祉事情Ⅱ(実習)						
兼任	教授	シマダ ナオキ 島田 直樹 (52)	平成28年4月	数学	兼任	教授	稲垣 誠一 (60)	平成28年4月	数学	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	教授	シロマ マサエ 城間 将江 (63)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)						
				関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
				国際医療保健学演習						
兼任	教授	スキハラ モトコ 杉原 素子 (73)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)						
				大学入門講座Ⅰ(基礎)						
				大学入門講座Ⅱ(展開)						
				関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
兼任	教授	スドウ エイチ 須藤 英一 (55)	平成29年4月	老年学						
兼任	教授	タケハラ イタル 武原 一 格 (48)	平成30年4月	リハビリテーション医学	兼任	教授	乗松 祐佐 (41)	平成28年4月	リハビリテーション医学	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	教授	ナカザワ ミツアキ 長沢 光章 (58)	平成28年4月	災害保健学						
兼任	教授	ハヤシ タクマ 林 琢磨 (51)	平成28年4月	生物学						
				国際医療通訳入門						
				異文化体験実習						
兼任	教授	ハラダ ヒロミ 原田 浩美 (52)	平成28年4月	災害保健学						
				予防保健学						
				国際医療保健学						
				異文化体験実習						
				災害リハビリテーション学						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	ミヤタ テツロウ 宮田 哲郎 (62)	平成29年4月	救急医学						
				外科学						
兼任	教授	モリ イチロウ 森 一郎 (65)	平成29年4月	病理学						
兼任	准教授	イシヤマ ヒサコ 石山 寿子 (54)	平成29年4月	国際医療保健学実習						
兼任	准教授	オキヤマダ シズエ 小山田 静枝 (49)	平成28年4月	精神医学Ⅰ(総論・各論)	兼任	教授	古城 慶子 (○)	平成28年4月	精神医学Ⅰ(基礎)	教育内容からより適切な教員に変更(28)
			平成28年4月	精神医学Ⅱ(各論)					精神医学Ⅰ(基礎)	
兼任	准教授	オキヤマダ シズエ 小山田 静枝 (49)	平成28年4月	人間学	兼任	准教授	鹿島 晴雄 (70)	平成28年4月	人間学	教育内容からより適切な教員に変更(28)
兼任	准教授	オヤマダ シズエ 小山田 静枝 (49)	平成28年4月	神経心理学概論						
兼任	准教授	外ノウ ヨシコ 工藤 芳子 (53)	平成28年4月	予防保健学						
				国際医療保健学						
兼任	講師	エン ジュンイチロウ 園 純一郎 (47)	平成28年4月	予防保健学						
兼任	講師	スズキ ジュンコ 鈴木 純子 (47)	平成29年4月	神経学Ⅰ(基礎)						
				神経学Ⅱ(臨床)						
兼任	助教	アイカワ ミチ 相川 倫 (36)	平成29年4月	国際医療保健学演習						
兼任	助教	イシイ キヨシ 石井 清志 (35)	平成28年4月	災害保健学						

5 教員組織の状況

< 成田保健医療学部理学療法学科 >

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	アザナ 氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	アザナ 氏名 (63)	平成28年4月	統計学 疫学・保健医療統計学	兼任	教授	稲垣誠一 (60)	平成28年4月	統計学 疫学・保健医療統計学	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	教授	アマノカヒロ 天野隆弘 (72)	平成28年4月	医学/医療史	兼任	教授	黒澤和生 (58)	平成28年4月	医学/医療史	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	教授	アマノカヒロ 天野隆弘 (72)	平成28年4月	エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)						
兼任	教授	オカワマサヨ 小川正子 (64)	平成28年4月	スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)	兼任	講師	Silvia Antonia (53)	平成28年4月	スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)	専門性を考慮し、ネイティブスピーカー の非常勤教員に変更(28)
兼任	教授	オモタチケンジ 亀口憲治 (68)	平成28年4月 平成28年4月	コミュニケーション概論 臨床心理学概論	兼任	助教	山川誠司 (52)	平成28年4月	コミュニケーション概論 臨床心理学概論	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
兼任	教授	オモタチケンジ 亀口憲治 (68)	平成28年4月	雑談と傾聴-話す力と聴く力-						
兼任	教授	オモタチケンジ 亀口憲治 (68)	平成28年4月 平成28年4月	経済の仕組み 世界遺産と国際文化政策	兼任	教授	塩岡健一 (56)	平成28年4月	経済の仕組み	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
					兼任	教授	佐藤誠一 (74)	平成28年4月	世界遺産と国際文化政策	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
兼任	教授	オモタチケンジ 亀口憲治 (68)	平成28年4月	経済の歴史 世界の経済						
兼任	教授	オモタチケンジ 亀口憲治 (68)	平成28年4月	公衆衛生学	兼任	准教授	小川俊夫 (53)	平成28年4月	公衆衛生学	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
兼任	教授	オモタチケンジ 亀口憲治 (68)	平成28年4月	感染と免疫	兼任	教授	林琢磨 (51)	平成28年4月	感染と免疫	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
兼任	教授	オモタチケンジ 亀口憲治 (68)	平成28年4月	国際医療福祉論						
兼任	教授	オモタチケンジ 亀口憲治 (68)	平成28年4月	哲学 倫理学						
兼任	教授	オモタチケンジ 亀口憲治 (68)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習						
兼任	教授	オモタチケンジ 亀口憲治 (68)	平成28年4月	社会福祉学 ケアマネジメント論	兼任	准教授	井上善行 (41)	平成28年4月	社会福祉学 ケアマネジメント論	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	教授	マルヤマトシ 丸山仁司 (65)	平成28年4月	医療福祉教養講義						

設置時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	フリガナ 氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	ミヤザキミチ子 宮崎路子 (69)	平成28年4月	英語B-1(視聴覚英語基礎)	兼任	准教授	田中泰郎 (57)	平成28年4月	英語B-1(視聴覚英語基礎)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追加変更(28)
					兼任	講師	佐藤寛子 (44)	平成28年4月	英語B-1(視聴覚英語基礎)	
				英語B-2(視聴覚英語応用)	兼任	准教授	田中泰郎 (57)	平成28年4月	英語B-1(視聴覚英語基礎)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追加変更(28)
					兼任	講師	佐藤寛子 (44)	平成28年4月	英語B-1(視聴覚英語基礎)	
				英語ライティング1(Primary)	兼任	准教授	田中泰郎 (57)	平成28年4月	英語ライティング1(Primary)	就任辞退に伴う教員の変更(28)
				英語ライティング2(Basic)	兼任	准教授	田中泰郎 (57)	平成28年4月	英語ライティング2(Basic)	就任辞退に伴う教員の変更(28)
				基礎英文法1(Primary)	兼任	准教授	田中泰郎 (57)	平成28年4月	基礎英文法1(Primary)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追加変更(28)
					兼任	講師	CosminFlorescu (35)	平成28年4月	基礎英文法1(Primary)	
				基礎英文法2(Basic)	兼任	准教授	田中泰郎 (57)	平成28年4月	基礎英文法2(Basic)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追加変更(28)
					兼任	講師	CosminFlorescu (35)	平成28年4月	基礎英文法2(Basic)	
兼任	教授	ムトウマサキ 武藤正樹 (67)	平成28年4月	経営の仕組み 組織運営管理論	兼任	准教授	羽田明浩(○)	平成28年4月	経営の仕組み 組織運営管理論	教育内容からより適切な教員に変更(28)
兼任	教授	ムトウマサキ 武藤正樹 (67)	平成28年4月	保健医療福祉制度論	兼任	准教授	金野充博(○)	平成28年4月	保健医療福祉制度論	教育内容からより適切な教員に変更(28)
兼任	教授	ムトウマサキ 武藤正樹 (67)	平成28年4月	リスクマネジメント論						
兼任	教授	モイミヨ 桃井眞理子 (68)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅰ(講義)						
兼任	教授	ヤマモトスミ子 山本澄子 (64)	平成28年4月	人間工学	兼任	教授	宮嶋宏行(46)	平成28年4月	人間工学	教育内容からより適切な教員に変更(28)
兼任	教授	ヤマモトスミ子 山本澄子 (64)	平成28年4月	福祉支援工学概論	兼任	講師	中村美緒(35)	平成28年4月	福祉支援工学概論	教育内容からより適切な教員に変更(28)
兼任	教授	ヤマシカエコ 山下香枝子 (71)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)						
				大学入門講座Ⅰ(基礎)						
				大学入門講座Ⅱ(展開)						
兼任	准教授	イノヤマヒサコ 石山寿子 (54)	平成29年4月	国際医療保健学実習						
兼任	准教授	イノウエユキ 井上善行 (41)	平成28年4月	ケースワーク論						
兼任	准教授	オオノサチ 大石剛史 (40)	平成28年4月	ボランティアコーディネート論	兼任	准教授	井上善行(41)	平成28年4月	ボランティアコーディネート論	教育内容からより適切な教員に変更(28)
兼任	准教授	オオノサチ 大石剛史 (40)	平成28年4月	ボランティア論						
兼任	准教授	オカムラサキ 岡村世里奈 (46)	平成28年4月	医療管理学	兼任	准教授	埴岡健一(56)	平成28年4月	医療管理学	教育内容からより適切な教員に変更(28)
兼任	准教授	オカムラサキ 岡村世里奈 (45)	平成28年4月	医療関連法規						
兼任	准教授	オネコジヨウイチロウ 金子純一郎 (46)	平成28年4月	健康科学理論	専任	教授	西田裕介(40)	平成28年4月	健康科学理論	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	准教授	オネコジヨウゴ 金子松五 (64)	平成28年4月	人間と栄養	兼任	教授	門脇弘子 (68)	平成28年4月	人間と栄養	就任辞退に伴う教員の変更(28)
				食と人間					食と人間	
兼任	准教授	サイトウケイイチ 斎藤恵一 (58)	平成29年4月	医療情報学概論						
				電子カルテによるチーム医療概論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	フリガナ 氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	サイトウチエ 斎藤智恵 (48)	平成28年4月	英語A-1(講読基礎)	兼任	准教授	田中泰郎 (57)	平成28年4月	英語A-1(講読基礎)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追加変更(28)
				英語A-2(講読応用)	兼任	講師	佐藤寛子 (44)	平成28年4月	英語A-1(講読基礎)	
				上級英語文献講読	兼任	准教授	田中泰郎 (57)	平成28年4月	英語A-2(講読応用)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追加変更(28)
					兼任	講師	佐藤寛子 (44)	平成28年4月	英語A-2(講読応用)	
					兼任	講師	佐藤寛子 (44)	平成28年4月	上級英語文献講読	
					兼任	講師	CosminFlorescu (35)	平成28年4月	上級英語文献講読	
兼任	准教授	サイトウチエ 斎藤智恵 (48)	平成28年4月	上級英語会話1(発展)	兼任	講師	師岡ビビアンルーズ (59)	平成28年4月	上級英語会話1(発展)	就任辞退に伴う教員の変更(28)
				上級英語会話2(総合)	兼任	講師	師岡ビビアンルーズ (59)	平成28年4月	上級英語会話2(総合)	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	准教授	サイトウチエ 斎藤智恵 (48)	平成28年4月	英語C-1(英会話初級)						
				英語C-2(英会話中級)						
兼任	准教授	シホファン 藤森零 (69)	平成28年4月	中国語入門(会話含む)	兼任	講師	張佳恵 (50)	平成28年4月	中国語入門(会話含む)	就任辞退に伴う教員の変更(28)
				中国語応用(会話含む)					中国語応用(会話含む)	
兼任	准教授	フカイユズル 福井譲 (44)	平成28年4月	歴史学	兼任	講師	町田明広 (54)	平成28年4月	歴史学	教育内容からより適切な教員に変更(28)
兼任	准教授	フカイユズル 福井譲 (44)	平成28年4月	韓国語入門(会話含む)	兼任	講師	崔誠姫 (50)	平成28年4月	韓国語入門(会話含む)	教育内容からより適切な教員に変更(28)
				韓国語応用(会話含む)					韓国語応用(会話含む)	
兼任	准教授	フカイユズル 福井譲 (44)	平成28年4月	日本近現代史						
兼任	准教授	モリヤママサミ 森山ますみ (52)	平成28年4月	世界の中の和文						
兼任	講師	イシノリウイチロウ 井尻聡一郎 (38)	平成28年4月	化学	兼任	准教授	清宮正徳 (52)	平成28年4月	化学	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	講師	イシノマホ 磯野真穂 (99)	平成28年4月	文化人類学	兼任	准教授	加藤尚子 (O)	平成28年4月	文化人類学	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	講師	オホムラサキ 岡村直利 (45)	平成28年4月	物理学	兼任	教授	宮嶋宏行 (46)	平成28年4月	物理学	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	講師	サトウカンシ 佐藤寛子 (44)	平成28年4月	英語A-3(講読中級1)						
				英語A-4(講読中級2)						
				資格英語1(Primary)						
				資格英語2(Basic)						
				フランス語入門(会話含む)						
				フランス語応用(会話含む)						
兼任	講師	エダテタキ 江田哲也 (37)	平成28年4月	情報処理Ⅰ(初歩)	兼任	教授	稲垣誠一 (60)	平成28年4月	情報処理Ⅰ(初歩)	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	講師	エダテタキ 江田哲也 (37)	平成28年4月	情報処理Ⅱ(基礎)	兼任	教授	宮嶋宏行 (46)	平成28年4月	情報処理Ⅱ(基礎)	就任辞退に伴う教員の変更(28)
				情報処理Ⅲ(応用)					情報処理Ⅲ(応用)	
兼任	講師	テラヨシタカ 寺田佳孝 (33)	平成28年4月	教育学						
兼任	助教	オオカヒサシ 大塚尚 (36)	平成28年4月	心理学	兼任	講師	矢口大雄 (31)	平成28年4月	心理学	就任辞退に伴う教員の変更(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	フリガナ 氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	キムラサキコ 木村亮子 (34)	平成28年4月	日本語Ⅰ-A(作文)	兼任	講師	小川美香 (39)	平成28年4月	日本語Ⅰ-A(作文)	就任辞退に伴う教員の変更(28)
				日本語Ⅱ-A(作文)					日本語Ⅱ-A(作文)	
				日本語Ⅱ-C(発表討論)					日本語Ⅱ-C(発表討論)	
				日本語Ⅲ-A(作文)					日本語Ⅲ-A(作文)	
				日本語Ⅲ-C(発表・討論)					日本語Ⅲ-C(発表・討論)	
				医療福祉専門漢字					医療福祉専門漢字	
兼任	講師	サクライミ 大野留美 (29)	平成28年4月	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	兼任	准教授	茅野正雄 (60)	平成28年4月	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	就任辞退に伴う教員の変更(28)
				日本語Ⅱ-B(文法・語彙)					日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	
				日本語Ⅱ-D(専門日本語)					日本語Ⅱ-D(専門日本語)	
				日本語Ⅲ-B(文法・語彙)					日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	
				日本語Ⅲ-D(専門日本語)					日本語Ⅲ-D(専門日本語)	
				医療福祉専門語彙					医療福祉専門語彙	
兼任	講師	アサキヨシ 青木清 (78)	平成28年4月	生命倫理	専任	教授	樽井正義 (68)	平成28年4月	生命倫理	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	講師	モリハラミチ 海老原邦雄 (63)	平成28年4月	防災と生活デザイン	兼任	講師	梶秀樹 (75)	平成28年4月	防災と生活デザイン	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	講師	オオハシアキ 大野敏明 (64)	平成28年4月	アジア諸国の経済・社会・文化 国際関係論	兼任	教授	高須寛茂文 (57)	平成28年5月	アジア諸国の経済・社会・文化 国際関係論	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	講師	オオハシタツ 大場建治 (64)	平成28年4月	文学	兼任	講師	秋原北胤 (53)	平成28年4月	文学論	語種のため科目名修正、就任辞退に伴う 教員の変更(28)
兼任	講師	オカノケンジ 岡野賢二 (49)	平成28年4月	ビルマ語入門(会話含む) ビルマ語応用(会話含む)						
兼任	講師	オウツウシノブ 押小路志昭 (56)	平成28年4月	社会学(人間と社会)	兼任	教授	川上和久 (58)	平成28年4月	社会学(人間と社会)	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	講師	サトウミ 佐藤里野 (36)	平成28年4月	演劇論	兼任	講師	秋原北胤 (53)	平成28年4月	演劇論	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	講師	シムズエリ 清水英里 (44)	平成28年4月	ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)						
兼任	講師	ミナモトサトコ 須藤正彦 (79)	平成28年4月	法学 法と道徳・倫理	兼任	講師	伊東達也 (52)	平成28年4月	法学 法と道徳・倫理	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	講師	スニサー ウツタヤ・パンヤノン Sunisa Wittayapanyanon (46)	平成28年4月	タイ語入門(会話含む) タイ語応用(会話含む)						
兼任	講師	タカヤマホル 高山昇 (52)	平成28年4月	パフォーマンス表現論						
兼任	講師	タニハル 谷千春 (55)	平成28年4月	手話入門						
兼任	講師	トキミツサキ 時田正樹 (64)	平成28年4月	郷土論	兼任	教授	川上和久 (58)	平成28年4月	郷土論	就任辞退に伴う教員の変更と、専門性 の深化を図り、地方自治体および地域 と連携する科目としてオムニバス化 (28)
兼任	講師	トマツギセイ 戸松義晴 (62)	平成28年4月	宗教学 死生学-死を通して生を考える						

設置時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	フリガナ 氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ヘッパミチコ 別府美知子 (55)	平成28年4月	メディカルマナー入門						
兼任	講師	ハウアー・ラース フランク・ウィルヘルム・アヒム Bauer-Lars Frank Wilhelm Achim (27)	平成28年4月	ドイツ語入門(会話含む)						
				ドイツ語応用(会話含む)						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
4	4	5	4	17	4	1	4	2	11	4	4	5	4	17
(4)	(1)	(4)	(3)	(12)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 - ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし								
合 計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3)－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合 計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3)－① ・ (3)－② の合計

合 計（A）＋（C）					後任補充状況の集計（B）＋（D）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年7月)	・卒業要件単位数が124単位であるにもかかわらず、全ての履修モデルが124単位を超える単位数で作成されていることから、学生に誤解を生じさせるおそれがある。そのため、人材養成の方針に整合しつつ124単位で卒業する形の履修モデルを新たに作成すること。（理学療法学科）	留意事項	各学科124単位で卒業する形の履修モデルを作成し、学生に周知する。（28）
設 置 時 (27年7月)	・専門基礎科目における選択科目の一部科目において、1から4年次のいずれでも履修を可能としているような、配当年次に幅を持たせた科目があるが、体系的な学修の前提となる学修の順序性が配慮されていない懸念がある。そのため、体系的な学修の観点から選択科目の配当年次の設定について再度検討を行い、必要に応じて配当年次を見直すこと。（理学療法学科）	留意事項	「2 授業科目の概要」に記載したとおり、変更対応。（28）
設 置 時 (27年7月)	・臨床実習の参加要件が「4年次の実習への学生の参加要件は、3年次までの必修科目を全て修得していることを条件としている。」とあるのみであるが、実習参加の水準が確保されるよう、客観的臨床能力試験の実施等について検討すること。（理学療法学科）	留意事項	OSCE、CBTの導入を視野に入れた対応を行う。（28）
設 置 時 (27年7月)	・主として専門科目を教授する教員において、多数の授業科目を担当する教員がいるなど、一部の教員に負担が偏っているように思われることから、教員の負担について検討し、必要に応じて負担が偏らないよう教員組織編制を適切に改めること。なお、教員の負担の検討に当たっては、職位のレベルに応じた負担ともなるよう考慮すること。（理学療法学科）	留意事項	講師以上の教員採用を準備中。（28）

（注）・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（**実地調査や面接調査を実施した日ではありません。**）

7 その他全般的事項

<成田保健医療学部 理学療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 124単位 必修科目93単位、選択科目31単位 ② 施設・設備 a 講義室4室 (575.76㎡) 理学療法学科専用 b 自習室6室 (1,665.78㎡) 成田看護学部・成田保健医療学部共通 c 図書 設置時6,400冊、完成時予定16,000冊 成田看護学部・成田保健医療学部共通	① 当初の予定から変更なし ② 当初の予定から変更なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 国際医療福祉大学 成田看護学部・成田保健医療学部 FD委員会 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 毎月第3木曜日開催、委員は各学部学科、所属より選出 c 委員会の審議事項等 FD研修会の企画運営 大学全体のFD研修会との企画調整 ② 実施状況 a 実施内容 ①大学全体でのFD研修会（年2回、9月、3月） ②成田キャンパスにおけるFD研修会（年1回） b 実施方法 ①大学全体でのFD研修会（年2回、9月、3月） 各キャンパスが持ち回りで担当。外部講師を招聘し、ポートフォリオ、IPEなどのテーマで講演会を実施。 ②成田キャンパスにおけるFD研修会（年1回） 年1回の開催に向け、FD委員会にて企画検討中。 c 開催状況（教員の参加状況含む） ①大学全体でのFD研修会（年2回、9月、3月） 専任教員全員参加。 ②成田キャンパスにおけるFD研修会（年1回） 成田キャンパスの専任教員全員参加。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況	
---	--

実施後にアンケート等から各教員へフィードバックする予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

半期の場合は15回目、半期の半分の場合は8回目に授業アンケートを実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員へは集計結果をフィードバック。学生はホームページなどで集計結果を公開予定。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本年4月に開設した、成田看護学部及び成田保健医療学部は、千葉県をはじめ南関東地域の保健・医療・福祉に関わる専門職の需要にこたえとともに、国際都市である成田の特徴を生かし、地域・国際社会でグローバルに活躍できる人材の育成を図るために、設置したものである。

本年4月入学の第1期生の募集に当たっては、募集期間が通常の募集に比べ短期間にもかかわらず、成田看護学部が入学定員100人に対し、715人の志願者(志願倍率7.15倍)が、また、成田保健医療学部が入学定員240人に対し、1,234人の志願者(志願倍率5.14倍)があり、最終的には、成田看護学部で108人、成田保健医療学部で261人の入学者を迎えることができ、優秀な人材を確保できたと考えている。

開設に当たっては、大学設置・学校法人審議会に附された留意事項等を踏まえ、可能な範囲で見直しを図ったところである。開設したばかりで、留意事項に対して十分な対応とは言えないが、引き続き改善を図っていきたいと考えている。

まだ、開設したばかりであり、今後設置計画や留意事項を着実に履行するとともに、実習体制や施設、設備等の充実を図り、保健・医療・福祉分野における、優れた人材を養成していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成28年度中に実施し、平成29年度5月に公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度を予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年 5月 31日 頃)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人国際医療福祉大学

(2) 大 学 名

国際医療福祉大学

(3) 大学の位置

〒286-8686

千葉県成田市公津の杜4丁目3番

(本部：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600番1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学 長	(キタジマ マサキ) 北島 政樹 (平成21年7月)	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月)	任期満了に伴う変更(28)
学 部 長	(スギハラ モトコ) 杉原 素子 (平成28年4月)		
学科長等	(コウノ マコト) 河野 眞 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
成田保健医療学部 作業療法学科 学士(作業療法 学)	4年	40人	— 年次 人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 40 (-) [-]	人	人 () []	人	人 () []	人	人 () []	人	1.07倍	
志願者数	106 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	105 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	65 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	43 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.07									

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出して

- ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[0] (-) 43	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次					/		[] ()	[] ()	
計							[] (-) 43	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	43 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	43 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<成田保健医療学部 作業療法学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任秋原北胤に変更(28)
		演劇論	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任秋原北胤に変更(28)
		パフォーマンス表現論	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任秋原北胤に変更(28)
		心理学	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任矢口大雄に変更(28)
		哲学	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任山川誠司に変更(28)
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任山川誠司に変更(28)
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	未開講 1-2-3-4-前			2						兼 1 履修希望者がいなかったため(28)
		人間学	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任鹿島晴雄に変更(28)
		歴史学	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任町田明広に変更(28)
		倫理学	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任町田明広に変更(28)
		宗教学	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任町田明広に変更(28)
		日本近現代史	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任町田明広に変更(28)
	社会系	文化人類学	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任加藤尚子に変更(28)
		教育学	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任加藤尚子に変更(28)
		死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任加藤尚子に変更(28)
		法学	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任伊東達也に変更(28)
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任伊東達也に変更(28)
		医療関連法規	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任伊東達也に変更(28)
		社会保障制度論	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任金野充博に変更(28)
		経済の仕組み	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任堀岡健一に変更(28)
		経済の歴史	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任堀岡健一に変更(28)
		世界の経済	1	2	3	4	前後					兼 1 教育効果を考慮し、開講期を変更(28)
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任高須賀茂文に変更(28)
		世界の中の和文	1	2	3	4	前					兼 1 専門性の深化を図り、各回の講義テーマに基づく専門化によるオムニバス化(28)
		世界遺産と国際文化政策	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		経営の仕組み	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		組織運営管理論	1	2	3	4	前					兼 1 教育効果を考慮し兼任羽田明浩に変更(28)
		社会学(人間と社会)	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		マスメディア論	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		新聞でみた日本と世界	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		国際関係論	1	2	3	4	前後					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		国際医療福祉論	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	未開講 1-2-3-4-前			1						兼 1 履修希望者がいなかったため(28)
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	未開講 1-2-3-4-前			1		2				兼 5 履修希望者がいなかったため(28)
		ボランティア論	1	2	3	4	後					兼 1 履修希望者がいなかったため(28)
		ボランティアコーディネート論	未開講 1-2-3-4-前			2						兼 1 履修希望者がいなかったため(28)
		手話入門	未開講 1-2-3-4-前			2						兼 1 履修希望者がいなかったため(28)
		防災と生活デザイン	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任梶秀樹に変更(28)
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		数学	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		物理学	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		化学	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		生物学	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		情報処理Ⅰ(初歩)	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		情報処理Ⅱ(基礎)	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		情報処理Ⅲ(応用)	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		生命倫理	1	2	3	4	前					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		医学/医療史	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		人間工学	1	2	3	4	後					兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
	総合系	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1	2	3	4	前	1				兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		大学入門講座Ⅱ(展開)	1	2	3	4	前	1				兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)
		郷土論	1	2	3	4	前	1				兼 1 専門性の深化を図り、地方自治体および地域と連携しオムニバス化(28)
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	後	1				兼 1 専門性の深化を図り、地方自治体および地域と連携しオムニバス化(28)
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	後	2				兼 1 専門性の深化を図り、地方自治体および地域と連携しオムニバス化(28)
		食と人間	1	2	3	4	後	1				兼 1 就任辞退に伴い兼任担藤祐一に変更(28)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	教	師	教	手		
総合教育（つづき）	外国語系	英語A-1(講読基礎)	1	前	1						兼	1
		英語A-2(講読応用)	1	後	1						兼	1
		英語B-1(視聴覚英語基礎)	1	前	1						兼	1
		英語B-2(視聴覚英語応用)	1	後	1						兼	1
		英語A-3(講読中級1)	2	3 4 前	1						兼	1
		英語A-4(講読中級2)	2	3 4 後	1						兼	1
		英語C-1(英会話初級)	2	3 4 前	1						兼	1
		英語C-2(英会話中級)	2	3 4 後	1						兼	1
		英語ライティング1 (Primary)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		英語ライティング2 (Basic)	1	2 3 4 後	1						兼	1
		国際医療通訳入門	1	2 3 4 前	1						兼	1
		資格英語1(Primary)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		資格英語2(Basic)	1	2 3 4 後	1						兼	1
		基礎英文法1(Primary)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		基礎英文法2(Basic)	1	2 3 4 後	1						兼	1
		上級英語文献講読	1	2 3 4 前	1						兼	1
		上級英語会話1(発展)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		上級英語会話2(総合)	1	2 3 4 後	1						兼	1
		ドイツ語入門(会話含む)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		ドイツ語応用(会話含む)	1	2 3 4 後	1						兼	1
		中国語入門(会話含む)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		中国語応用(会話含む)	1	2 3 4 後	1						兼	1
		韓国語入門(会話含む)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		韓国語応用(会話含む)	1	2 3 4 後	1						兼	1
		フランス語入門(会話含む)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		フランス語応用(会話含む)	1	2 3 4 後	1						兼	1
		スペイン語入門(会話含む)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		スペイン語応用(会話含む)	1	2 3 4 後	1						兼	1
		タイ語入門(会話含む)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		タイ語応用(会話含む)	1	2 3 4 後	1						兼	1
		ベトナム語入門(会話含む)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		ベトナム語応用(会話含む)	1	2 3 4 後	1						兼	1
		ビルマ語入門(会話含む)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		ビルマ語応用(会話含む)	1	2 3 4 後	1						兼	1
	留学生の日本語科目	日本語Ⅰ-A(作文)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		日本語Ⅱ-A(作文)	1	2 3 4 後	1						兼	1
		日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1	2 3 4 後	1						兼	1
		日本語Ⅱ-C(発表討論)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		日本語Ⅲ-A(作文)	1	2 3 4 後	1						兼	1
		日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1	2 3 4 後	1						兼	1
		日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1	2 3 4 前	1						兼	1
		日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1	2 3 4 前	1						兼	1
	系 体育健	医療福祉専門漢字	1	2 3 4 後	1						兼	1
		医療福祉専門語彙	1	2 3 4 後	1						兼	1
	系 健康	健康科学理論	1	2 3 4 前	1						兼	1
		健康科学実践	1	2 3 4 前	1						兼	1
専門教育	専門基礎	公衆衛生学	1	後	2						兼	1
		救急医学	2	3 4 前	1	1					兼	1
		感染と免疫	1	2 3 4 後	2						兼	1
		リハビリテーション概論	1	前	2		1					
		関連職種連携論	2	後	2		1				兼	4
		ケアマネジメント論	2	3 4 前	1						兼	1
		ケースワーク論	1	2 3 4 後	1						兼	1
		医療管理学	未開講 1-2-3-4-前		2						兼	1
		保健医療福祉制度論	1	2 3 4 後	2						兼	1
		社会福祉学	1	2 3 4 前	2						兼	1
		臨床心理学概論	2	前	2						兼	1
		医療情報学概論	2	3 4 後	2						兼	1
		福祉支援工学概論	1	2 3 4 前	2						兼	1
		関連職種連携ワーク	3	前	1		1				兼	4
		関連職種連携実習	4	前	1		1				兼	4
		リスクマネジメント論	3	4 後	2						兼	1
		電子カルテによるチーム医療概論	2	3 4 後	2						兼	1
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文獻)	2	3 4 前	1						兼	1
		レクリエーション概論	3	4 後	1						兼	1
		災害保健学	1	2 3 4 前	1					1	兼	3
		予防保健学	1	2 3 4 前	1				1		兼	3
		国際医療保健学	1	2 3 4 前後	1		1				兼	3
		異文化体験実習	1	2 3 4 後	1		1				兼	3
		解剖学Ⅰ(運動器系、循環器系)	1	前	1						兼	1
		解剖学Ⅱ(内臓学、神経系、感覚器系)	1	後	1						兼	1
		解剖学実習	1	後	1						兼	1
		生理学Ⅰ(植物性機能)	1	前	1						兼	1
		生理学Ⅱ(動物性機能)	1	後	1						兼	1
		生理学実習	1	後	1					1	兼	1
		運動学Ⅰ(基礎)	1	前	1							

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育（つづき）	専門基礎	運動学Ⅱ（応用）	1	後	1			1			
		運動学実習	2	前	1			1			
		運動生理学	2	前	1			1			
		病理学	2	前	1	1					
		内科学	2	前	1						兼 1
		神経学Ⅰ（基礎）	2	前	1						兼 1
		神経学Ⅱ（臨床）	2	後	1						兼 1
		整形外科Ⅰ（基礎）	2	前	1						兼 1
		整形外科Ⅱ（臨床）	2	後	1						兼 1
		精神医学Ⅰ（基礎）	2	後	1						兼 1
		精神医学Ⅱ（臨床）	3	前	1						兼 1
		小児科学	2	前	1						兼 1
		老年学	3	前	1						兼 1
		リハビリテーション医学	3	前	1						兼 1
		人間発達学	1	後	1	1					
		病態生理学	2 3 4	後		1					兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
		薬理学	2 3 4	前	1						兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
		栄養学	2 3 4	前	1						兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
		外科学	2 3 4	前	1	1					兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
		脳神経外科学	2 3 4	後	1						兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
		神経心理学概論	2 3 4	後	1						兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
		対人援助論	1 2 3 4	後	1	1					兼 3 教育効果を考慮し配当年次を変更（28）
		国際医療保健学演習	2 3 4	後	1	1					兼 3
		国際医療保健学実習	2 3 4	後	1	1					兼 3
専門教育	専門	作業療法概論	1	前	1	1					
		作業学概論	1	前	1	1					
		作業工程技術学・基礎論	1	前	1			1			
		作業工程技術学・応用論	3	後	1			1			
		作業分析学Ⅰ（基礎）	1	後	1			1			
		作業分析学Ⅱ（応用）	2	前	1			1			
		作業応用論	2 3 4	後	1	1		1			
		研究法概論	3	前	1			1			
		研究法演習	3	後	1	1		6	3		
		卒業研究	4	後	1	1		6	3		
		作業療法倫理・管理	4	後	1	1					
		作業療法総括論	4	後	1	1					
		作業療法評価学概論	2	前	1	1					
		作業療法評価学各論	2	後	1			1			
		作業療法評価学演習	2	後	1			1			
		基礎運動機能評価法	2	前	1			1			
		生活機能論	2	前	1			1			
		基礎精神機能評価法	2 3 4	前	1	1		1			
		上肢機能評価法	2 3 4	後	1	1		1			
		日常生活活動評価法	2 3 4	後	1	1		1			
		高次脳機能評価法	2 3 4	後	1	1		1			
		作業療法適応学概論	2	後	1	1					
		内科系疾患作業療法学	3	前	1			1			
		運動器疾患作業療法学	3	前	1			1			
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	前	1			1			
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	後	1			1			
		精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	前	1	1					
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	後	1	1					
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	前	1			1			
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	後	1			1			
		老年作業療法学	3	前	1			1			
		認知障害作業療法学	3	前	1			1			
		作業療法諸理論	4	後	1	1			1		
		作業療法応用学概論	3	前	1	1					
		就学・就労支援論	3	前	1			1			
		生活技術学Ⅰ（総論）	2	後	1			1			
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	前	1			1			
		コミュニケーション技術論	2	後	1			1			
		職業関連技術学	3	後	1	1					
		地域生活作業療法論	3	後	1			1			
		リハビリテーション英語Ⅰ（基礎）	2 3 4	前	1	1			1		
		リハビリテーション英語Ⅱ（応用）	2 3 4	後	1	1			1		
		災害リハビリテーション学	3 4	後	1	1					兼 2
		認知症作業療法特論	3 4	後	1			1			
		先端作業療法特論	1 2 3 4	後	1	1		1			
		地域生活支援論	3 4	後	1			1			
		障害代償学概論	3	前	1			1			
		住環境整備論	3	前	1			1			
		義肢適用論	3	後	1			1			
		装具・副子適用論	3	後	1			1			
		自助具・福祉機器適用論	3	後	1			1			
		バリアフリー論	2 3 4	前	1	1					
		臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	1	前	1	1		6	3		
		臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）	2	後	1	1		6	3		
		臨床実習Ⅲ（臨床評価）	3	前	3	1		6	3		
		臨床実習Ⅳ（臨床推論）	3	後	5	1		6	3		
		総合実習Ⅰ（作業療法実践）	4	前	6	1		6	3		
		総合実習Ⅱ（作業療法実践）	4	前	6	1		6	3		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育	地域生活支援システム実習	4 後	1			1		6	3		教育効果を考慮し配当年次を変更、教員負担軽減の観点から専任堀田英樹を追加(28) 教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	臨床実習ゼミⅠ(作業療法総論)	1 2 3 4 後		1		1		6	3		
	臨床実習ゼミⅡ(作業療法実践過程)	2 3 4 後		1		1		6	3		
	臨床実習ゼミⅢ(作業療法計画立案)	3 4 後		1		1		6	3		
	臨床実習ゼミⅣ(作業療法実践)	4 後		1		1		6	3		
	臨床実習特論	4 前		1		1		6	3		

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
79	143	0	222	79	143	0	222	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	※大学全体			
	校 舎 敷 地	262,852㎡ 194,962㎡	0㎡	0㎡	262,852㎡ 194,962㎡	成田キャンパス（医学部）校地を無償借用のため増加（28） 小田原保健医療学部と小田原市とで土地の等価交換を行い、18㎡減少（H28）			
	運動場用地	88,807㎡ 83,147㎡	0㎡	0㎡	88,807㎡ 83,147㎡				
	小 計	351,659㎡ 283,796㎡	0㎡	0㎡	351,659㎡ 283,796㎡				
	そ の 他	372,772㎡ 372,790㎡	0㎡	0㎡	372,772㎡ 372,790㎡				
	合 計	724,431㎡ 656,559㎡	0㎡	0㎡	724,431㎡ 656,559㎡				
(2)校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	143,615㎡ (143,615㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	143,615㎡ (143,615㎡)					
(3)教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	176室	60室	216室	18室 (補助職員 4人)	6室 (補助職員 0人)				
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	成田保健医療学部 作業療法学科			10 室					
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	成田保健医療学部共通	
	成田保健医療学部	11,000〔1,540〕 6,501〔264〕 (4,400〔616〕)	64〔20〕 156〔0〕 (52〔16〕)	3,336〔2,205〕 4,115〔2,892〕 (3,176)	196 136 (44)	6,500 2,478(5200)	590 113(334)		
	計	20,000〔2,800〕 12,986〔313〕 (8,000)	160〔48〕 296〔0〕 (130〔39〕)	3,336〔2,205〕 4,115〔2,892〕 (3,176)	980 370 (220)	8,500 5,414(6800)	610 395(350)		
(6)図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	7,087.11㎡		1,613席		299,400冊				
(7)体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	5,715.34㎡		弓道場		テニスコート				
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	朱書修正金額は5学科合計（H28）
		教員 1 人 当り 研究費等	400千円	400千円	図書購入費	477 44,000千円	87,750 32,000千円	16,000千円	
		共 同 研 究 費 等	1,500千円	3,000千円	設備購入費	153,900 373,480千円	900,000 459,800千円	18,500千円	
	学生 1 人 当り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,550千円	1,450千円	1,450千円	1,450千円	一 千円	一 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資金運用収入 等						

- （注）・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（28）」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	国際医療福祉大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
保健医療学部	年	人	年次 人	人		倍			
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.19	平成7年度	栃木県大田原市北 金丸2600番1	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.20	平成7年度	同上	
作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法学)	1.20	平成7年度	同上	
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴覚学)	1.14	平成7年度	同上	
視機能療法学科	4	40	-	160	学士 (視機能療法学)	1.19	平成14年度	同上	
放射線・情報科学科	4	100	-	400	学士 (放射線・情報科学)	1.19	平成7年度	同上	
医療福祉学部						1.08			
医療福祉・マネジメント 学科	4	160	-	640	学士 (医療福祉学) 学士 (医療マネジメント学)	1.09	平成9年度	同上	
薬学部						1.08			
薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)	1.08	平成18年度	同上	
小田原保健医療学部						1.18			
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.13	平成18年度	神奈川県小田原市 城山一丁目2番25号	
理学療法学科	4	40	-	160	学士 (理学療法学)	1.19	平成18年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.24	平成18年度	同上	
福岡看護学部						1.21			
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.21	平成20年度	福岡市早良区 百道浜1-7-4	
福岡保健医療学部						1.18			
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.18	平成17年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.19	平成17年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	1.16	平成19年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.19	平成25年度	同上	
成田看護学部						1.08			
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.08	平成28年度	千葉県成田市 公津の杜4丁目3番	
成田保健医療学部						1.08			
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.15	平成28年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.07	平成28年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	1.00	平成28年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.07	平成28年度	同上	

医療福祉学研究科						1.31		
修士課程保健医療学専攻	2	100	-	200	修士 (保健医療学) 修士 (看護学) 修士 (助産学) 修士 (言語聴覚学) 修士 (生殖補助医療学) 修士 (医療福祉教育・管理学) 修士 (臨床検査学)	1.59	平成11年度	栃木県大田原市北金丸2600番1
修士課程医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉学) 修士 (診療情報管理学) 修士 (医療ビジネス経営学) 修士 (医療福祉管理学) 修士 (介護福祉・ケアマネジメント学) 修士 (医療福祉ジャーナリズム学)	0.92	平成13年度	同上
修士課程臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理学)	1.00	平成19年度	同上
博士課程保健医療学専攻	3	50	-	150	博士 (保健医療学) 博士 (看護学) 博士 (助産学) 博士 (言語聴覚学) 博士 (生殖補助医療学) 博士 (臨床検査学) 博士 (医療福祉経営学) 博士 (医療福祉学) 博士 (診療情報管理学) 博士 (介護福祉・ケアマネジメント学) 博士 (臨床心理学) 博士 (医療福祉ジャーナリズム学)	1.38	平成13年度	同上
薬科学研究科						0.20		
修士課程生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.20	平成22年度	同上
薬学研究科						1.20		
博士課程医療・生命薬学専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	1.20	平成24年度	同上

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。

- ・ A C対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

＜成田保健医療学部 作業療法学科＞

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	学部長 教授	スギノ マコト 杉原 素子 (77)	平成28年4月	作業学概論	専任	准教授	堀田英樹 (○)	平成28年4月	作業学概論	負担軽減の観点から担当変更 (28)
専任	学部長 教授	スギノ マコト 杉原 素子 (73)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ（実習） 大学入門講座Ⅰ（基礎） 大学入門講座Ⅱ（展開） リハビリテーション概論 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習 作業療法評価学概論 作業療法適用学概論 作業療法倫理・管理 作業療法総括論 作業療法応用学概論						
専任	学科長 教授	コリノ マコト 河野 真 (49)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	専任	准教授	堀田英樹 (○)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	負担軽減の観点から担当追加 (28)
専任	学科長 教授	コリノ マコト 河野 真 (49)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ（実習） 国際医療保健学 異文化体験実習 人間発達学 対人援助論 国際医療保健学演習 国際医療保健学実習 職業関連技術学 災害リハビリテーション学 作業療法概論 精神疾患作業療法学Ⅰ（総論） 精神疾患作業療法学Ⅱ（各論） 研究法演習 卒業研究 臨床実習Ⅱ（早期臨床体験） 臨床実習Ⅲ（臨床評価） 臨床実習Ⅳ（臨床推論） 総合実習Ⅰ（作業療法実践） 総合実習Ⅱ（作業療法実践） 地域ケアシステム実習 臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程） 臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案） 臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践） 臨床実習特論						
専任	教授	ミヤタ テアロウ 宮田 哲郎 (62)	平成28年4月	救急医学 外科学						
専任	教授	モリ イチロウ 森 一郎 (64)	平成28年4月	病理学						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼担 兼任 の別	職名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 名 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	講師	エン ジョンイチロ 園 純一郎 (47)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	専任	准教授	堀田英樹 (○)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	負担軽減の観点から担当追加（28）
専任	講師	エン ジョンイチロ 園 純一郎 (47)	平成28年4月	予防保健学 作業療法評価学演習 生活機能論 運動器疾患作業療法学 コミュニケーション技術論 研究法演習 卒業研究 臨床実習Ⅱ（早期臨床体験） 臨床実習Ⅲ（臨床評価） 臨床実習Ⅳ（臨床推論） 総合実習Ⅰ（作業療法実践） 総合実習Ⅱ（作業療法実践） 地域ケアシステム実習 臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程） 臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案） 臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践） 臨床実習特論						
専任	講師	オノ ノスミ 小野 和美 (40)	平成29年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	専任	准教授	堀田英樹 (○)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	負担軽減の観点から担当追加（28）
専任	講師	オノ ノスミ 小野 和美 (40)	平成29年4月	作業工程技術学・応用論 作業療法評価学各論 基礎運動機能評価法 上肢機能評価法 内科系疾患作業療法学 老年作業療法学 認知症作業療法特論 研究法演習 卒業研究 臨床実習Ⅱ（早期臨床体験） 臨床実習Ⅲ（臨床評価） 臨床実習Ⅳ（臨床推論） 総合実習Ⅰ（作業療法実践） 総合実習Ⅱ（作業療法実践） 地域ケアシステム実習 臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程） 臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案） 臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践） 臨床実習特論						
専任	講師	ゴミ ユキヒロ 五味 幸寛 (34)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	専任	准教授	堀田英樹 (○)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	負担軽減の観点から担当追加（28）

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	講師	ゴミ コキヒロ 五味 幸寛 (34)	平成28年4月	運動学Ⅰ（基礎）						
				運動学Ⅱ（応用）						
				運動学実習						
				運動生理学						
				基礎精神機能評価法						
				高次脳機能評価法						
				中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）						
				中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）						
				認知障害作業療法学						
				研究法演習						
				卒業研究						
				臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）						
				臨床実習Ⅲ（臨床評価）						
				臨床実習Ⅳ（臨床推論）						
				総合実習Ⅰ（作業療法実践）						
				総合実習Ⅱ（作業療法実践）						
				地域ケアシステム実習						
				臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）						
				臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）						
				臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）						
				臨床実習特論						
専任	講師	ナカムラ ミチ 中村 美緒 (37)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	専任	准教授	堀田英樹 (○)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	負担軽減の観点から担当追加（28）
				臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）					臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	
専任	講師	ナカムラ ミチ 中村 美緒 (37)	平成28年4月	障害代償学概論						
				住環境整備論						
				義肢適用論						
				装具・副子適用論						
				自助具・福祉機器適用論						
				バリアフリー論						
				研究法演習						
				卒業研究						
				臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）						
				臨床実習Ⅲ（臨床評価）						
				臨床実習Ⅳ（臨床推論）						
				総合実習Ⅰ（作業療法実践）						
				総合実習Ⅱ（作業療法実践）						
				地域ケアシステム実習						
				臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）						
				臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）						
				臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）						
				臨床実習特論						
専任	講師	ヒラノ タケシ 平野 大輔 (34)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	専任	准教授	堀田英樹 (○)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	負担軽減の観点から担当追加（28）
				臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）					臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼担 兼任 の別	職名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	講師	ヒラノ タケシ 平野 大輔 (34)	平成28年4月	作業工程技術学・基礎論						
				作業応用論						
				研究法概論						
				小児作業療法学Ⅰ（総論）						
				小児作業療法学Ⅱ（各論）						
				就学・就労支援論						
				先端作業療法特論						
				作業分析学Ⅰ（基礎）						
				作業分析学Ⅱ（応用）						
				研究法演習						
				卒業研究						
				臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）						
				臨床実習Ⅲ（臨床評価）						
				臨床実習Ⅳ（臨床推論）						
				総合実習Ⅰ（作業療法実践）						
				総合実習Ⅱ（作業療法実践）						
				地域ケアシステム実習						
				臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）						
				臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）						
				臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）						
				臨床実習特論						
専任	講師	ヤマダチ カオリ 山口 佳小里 (34)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	専任	准教授	堀田英樹 (○)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	負担軽減の観点から担当追加（28）
専任	講師	ヤマダチ カオリ 山口 佳小里 (34)	平成28年4月	日常生活活動評価法						
				生活技術学Ⅰ（総論）						
				生活技術学Ⅱ（各論）						
				地域生活作業療法論						
				地域生活支援論						
				研究法演習						
				卒業研究						
				臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）						
				臨床実習Ⅲ（臨床評価）						
				臨床実習Ⅳ（臨床推論）						
				総合実習Ⅰ（作業療法実践）						
				総合実習Ⅱ（作業療法実践）						
				地域ケアシステム実習						
				臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）						
				臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）						
				臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）						
				臨床実習特論						
専任	助教	イシイ キヨシ 石井 清志 (35)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	専任	准教授	堀田英樹 (○)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	負担軽減の観点から担当追加（28）

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼担 兼任 の別	職名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	助教	イシイ キヨシ 石井 清志 (35)	平成28年4月	災害保健学						
				リハビリテーション英語Ⅱ（応用）						
				研究法演習						
				卒業研究						
				臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）						
				臨床実習Ⅲ（臨床評価）						
				臨床実習Ⅳ（臨床推論）						
				総合実習Ⅰ（作業療法実践）						
				総合実習Ⅱ（作業療法実践）						
				地域ケアシステム実習						
				臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）						
				臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）						
				臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）						
				臨床実習特論						
専任	助教	イシイ ダイスケ 石井 大典 (31)	平成29年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	専任	准教授	堀田英樹 (○)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	負担軽減の観点から担当追加（28）
専任	助教	イシイ ダイスケ 石井 大典 (31)	平成29年4月	作業療法諸理論						
				研究法演習						
				卒業研究						
				臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）						
				臨床実習Ⅲ（臨床評価）						
				臨床実習Ⅳ（臨床推論）						
				総合実習Ⅰ（作業療法実践）						
				総合実習Ⅱ（作業療法実践）						
				地域ケアシステム実習						
				臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）						
				臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）						
				臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）						
				臨床実習特論						
専任	助教	タナカ サリコ 田中 紗和子 (33)	平成29年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	専任	准教授	堀田英樹 (○)	平成28年4月	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学） 臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	負担軽減の観点から担当追加（28）
専任	助教	タナカ サリコ 田中 紗和子 (33)	平成29年4月	リハビリテーション英語Ⅰ（基礎）						
				研究法演習						
				卒業研究						
				臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）						
				臨床実習Ⅲ（臨床評価）						
				臨床実習Ⅳ（臨床推論）						
				総合実習Ⅰ（作業療法実践）						
				総合実習Ⅱ（作業療法実践）						
				地域ケアシステム実習						
				臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）						
				臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）						
				臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）						
				臨床実習特論						
兼担	教授	ウエノ トシアキ 上野 俊昭 (52)	平成29年4月	脳神経外科学						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	カサダ シンヤ 内田 信也 (47)	平成29年4月	国際医療保健学実習						
兼任	教授	オオサワ ススム 大澤 進 (68)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）						
				関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
兼任	教授	オモエチ ケンジ 亀口 憲治 (68)	平成28年4月	コミュニケーション概論 臨床心理学概論	兼任	助教	山川 誠司 (52)	平成28年4月	コミュニケーション概論 臨床心理学概論	教育内容からより適切な教員へ変更（28）
兼任	教授	カサダ シンヤ 川合 陽子 (68)	平成29年4月	雑談と傾聴-話す力と聴く力-						
兼任	教授	オノ トシオ 河野 寿夫 (69)	平成29年4月	内科学 小児科学						
兼任	教授	コサベリ ヒロコ 小堀 浩幸 (51)	平成28年4月	生理学Ⅰ（植物性機能）	兼任	講師	林 真理子 (47)	平成28年4月	生理学Ⅰ（植物性機能）	教育内容からより適切な教員へ変更（28）
				生理学Ⅱ（動物性機能）					生理学Ⅱ（動物性機能）	
				生理学実習					生理学実習	
兼任	教授	コサベリ ヒロコ 小堀 浩幸 (51)	平成28年4月	病態生理学						
兼任	教授	コサベリ ヒロコ 小堀 浩幸 (51)	平成28年4月	薬理学						
兼任	教授	シロマ マサエ 城間 将江 (63)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）						
				関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
				国際医療保健学演習						
兼任	教授	ストウ エイ子 須藤 英一 (56)	平成30年4月	老年学						
兼任	教授	タケノコ イサヲ 武原 裕 (48)	平成30年4月	リハビリテーション医学	兼任	教授	乗松 祐佐 (41)	平成28年4月	リハビリテーション医学	就任辞退に伴う教員の変更（28）
兼任	教授	タケノコ イサヲ 長沢 光幸 (68)	平成28年4月	災害保健学	兼任	講師	三浦 和 (36)	平成29年4月	災害保健学	教育内容からより適切な教員へ変更（28）
兼任	教授	ニシダ コリス 西田 裕介 (40)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）						
				レクリエーション概論						
				関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
兼任	教授	ナヤマ コリス 乗松 祐佐 (42)	平成29年4月	整形外科学Ⅰ（基礎）						
				整形外科学Ⅱ（臨床）						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	ハヤシ タケマ 林 琢磨 (51)	平成28年4月	生物学						
				国際医療通訳入門						
				異文化体験実習						
兼任	教授	ハラタ ヒロミ 原田 浩美 (52)	平成28年4月	災害保健学						
				予防保健学						
				国際医療保健学						
				異文化体験実習						
				災害リハビリテーション学						
兼任	教授	ミヤノ ナツキ 三宅 奈央 (52)	平成28年4月	解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	兼任	教授	松野 義晴 (50)	平成28年4月	解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	負荷軽減を考慮し、担当教員の変更（28）
				解剖学Ⅱ（内臓学、神経系、感覚器系）					解剖学Ⅱ（内臓学、神経系、感覚器系）	
				解剖学実習					解剖学実習	効果的な実習実施のため、担当教員を追加（28）
兼任	教授	モリ イチロウ 森 一郎 (64)	平成28年4月	病理学						
兼任	教授	ヤマタ カエコ 山下 香枝子 (71)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）						
				大学入門講座Ⅰ（基礎）						
				大学入門講座Ⅱ（展開）						
兼任	教授	ヤマモト スミコ 山本 澄子 (64)	平成28年4月	福祉支援工学概論	兼任	講師	中村 美緒 (35)	平成28年4月	福祉支援工学概論	教育内容からより適切な教員に変更（28）
兼任	教授	ヤマモト スミコ 山本 澄子 (64)	平成28年4月	人間工学	兼任	教授	宮嶋 宏行 (46)	平成28年4月	人間工学	教育内容からより適切な教員に変更（28）
兼任	准教授	イシヤマ ヒサコ 石山 寿子 (54)	平成29年4月	国際医療保健学実習						
兼任	准教授	イトナシ マサフミ 糸数 昌史 (38)	平成28年4月	予防保健学						
兼任	准教授	オホノリ ジュンコ 小山田 静枝 (49)	平成28年4月	精神医学Ⅰ（基礎）	兼任	教授	古城 慶子 (○)	平成28年4月	精神医学Ⅰ（基礎）	教育内容からより適切な教員に変更（28）
				精神医学Ⅱ（臨床）					精神医学Ⅰ（基礎）	
兼任	准教授	オホノリ ジュンコ 小山田 静枝 (49)	平成28年4月	人間学	兼任	准教授	鹿島 晴雄 (70)	平成28年4月	人間学	教育内容からより適切な教員に変更（28）
兼任	准教授	オヤマタ シズエ 小山田 静枝 (49)	平成28年4月	神経心理学概論						
兼任	准教授	オノノ ショウコ 金子 裕子 (64)	平成28年4月	人間と栄養	兼任	教授	門脇 弘子 (68)	平成28年4月	人間と栄養	就任辞退に伴う教員の変更（28）
				食と人間					食と人間	
兼任	准教授	コトウ ショコ 工藤 芳子 (53)	平成28年4月	予防保健学						
				国際医療保健学						
兼任	講師	シムラ ケイタ 志村 圭太 (33)	平成28年4月	国際医療保健学実習						
				国際医療保健学						
兼任	講師	スズキ ジュンコ 鈴木 純子 (47)	平成29年4月	神経学Ⅰ（基礎）						
				神経学Ⅱ（臨床）						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ミナモト ハルミ 三浦 和 (36)	平成28年4月	災害保健学						
				国際医療保健学演習						
				災害リハビリテーション学						
兼任	講師	ミヤモト リサ 宮森 陸行 (41)	平成28年4月	健康科学実践						
兼任	助教	アベノ ミチ 相川 倫 (36)	平成29年4月	国際医療保健学演習						
兼任	助教	サワ ユウイチ 澤 龍一 (28)	平成28年4月	異文化体験実習						

5 教員組織の状況

< 共 通 >

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 兼任 の別	職名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	稲垣 誠一 (60)	平成28年4月	統計学 疫学・保健医療統計学	兼任	教授	稲垣 誠一 (60)	平成28年4月	統計学 疫学・保健医療統計学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	天野 隆弘 (72)	平成28年4月	医学/医療史	兼任	教授	黒澤 和生 (58)	平成28年4月	医学/医療史	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	天野 隆弘 (72)	平成28年4月	エビデンスベースドプラクティス (研究と文 献)						
兼任	教授	小川 正子 (64)	平成28年4月	スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)	兼任	講師	Silvia Antonia (53)	平成28年4月	スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)	専門性を考慮し、ネイティブスピーカーの非常勤 教員に変更 (28)
兼任	教授	亀口 憲治 (68)	平成28年4月	コミュニケーション概論 臨床心理学概論	兼任	助教	山川 誠司 (52)	平成28年4月	コミュニケーション概論 臨床心理学概論	教育内容からより適切な教員へ変更 (28)
兼任	教授	亀口 憲治 (68)	平成28年4月	雑談と傾聴-話す力と聴く力-						
兼任	教授	菊池 哲郎 (68)	平成28年4月	経済の仕組み	兼任	教授	植岡 健一 (56)	平成28年4月	経済の仕組み	教育内容からより適切な教員へ変更 (28)
			平成28年4月	世界遺産と国際文化政策	兼任	教授	佐藤 祐一 (74)	平成28年4月	世界遺産と国際文化政策	教育内容からより適切な教員へ変更 (28)
兼任	教授	菊池 哲郎 (68)	平成28年4月	経済の歴史						
				世界の経済						
兼任	教授	北村 義浩 (58)	平成28年4月	公衆衛生学	兼任	准教授	小川 俊夫 (50)	平成28年4月	公衆衛生学	教育内容からより適切な教員へ変更 (28)
兼任	教授	北村 義浩 (58)	平成28年4月	感染と免疫	兼任	教授	林 琢磨 (51)	平成28年4月	感染と免疫	教育内容からより適切な教員へ変更 (28)
兼任	教授	北村 義浩 (58)	平成28年4月	国際医療福祉論						
兼任	教授	島田 直樹 (62)	平成28年4月	数学	兼任	教授	稲垣 誠一 (60)	平成28年4月	数学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	須藤 英一 (56)	平成30年4月	老年学						
兼任	教授	武井 祐 (46)	平成30年4月	リハビリテーション医学	兼任	教授	乗松 祐佐 (41)	平成28年4月	リハビリテーション医学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	樽井 正義 (68)	平成28年4月	哲学						
				倫理学						
兼任	教授	茶園 美香 (66)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ (実習)						
				関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
兼任	教授	西田 裕介 (40)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ (実習)						
兼任	教授	堀田 聡子 (39)	平成28年4月	社会福祉学 ケアマネジメント論	兼任	准教授	井上 善行 (41)	平成28年4月	社会福祉学 ケアマネジメント論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	フジタ ナ 丸本 成 (67)	平成28年4月	新聞でみた日本と世界 マスメディア論	兼任	教授	川上 和久 (58)	平成28年4月	新聞でみた日本と世界 マスメディア論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	フジタ ナ 丸本 成 (67)	平成28年4月	社会保障制度論	兼任	教授	金野 充博 (59)	平成28年4月	社会保障制度論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	マシマ ヒロシ 丸山 仁司 (65)	平成28年4月	医療福祉教養講義						
兼任	教授	ミナモト ミチ子 宮崎 啓子 (50)	平成28年4月	英語B-1 (視聴覚英語基礎) 英語B-2 (視聴覚英語応用) 英語ライティング1 (Primary) 英語ライティング2 (Basic)	兼任	准教授	田中 泰郎 (57)	平成28年4月	英語B-1 (視聴覚英語基礎) 英語B-2 (視聴覚英語応用) 英語ライティング1 (Primary) 英語ライティング2 (Basic)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				基礎英文法1 (Primary)	兼任	准教授	田中 泰郎 (57)	平成28年4月	基礎英文法1 (Primary)	就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更 (28)
					兼任	講師	Cosmin Florescu (35)	平成28年4月	基礎英文法1 (Primary)	
				基礎英文法2 (Basic)	兼任	准教授	田中 泰郎 (57)	平成28年4月	基礎英文法2 (Basic)	就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更 (28)
					兼任	講師	Cosmin Florescu (35)	平成28年4月	基礎英文法2 (Basic)	
兼任	教授	ミナモト ミチ子 武藤 正樹 (67)	平成28年4月	経営の仕組み 組織運営管理論	兼任	准教授	羽田 明浩 (53)	平成28年4月	経営の仕組み 組織運営管理論	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	教授	ミナモト ミチ子 武藤 正樹 (67)	平成28年4月	保健医療福祉制度論	兼任	准教授	金野 充博 (59)	平成28年4月	保健医療福祉制度論	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	教授	ミナモト ミチ子 武藤 正樹 (67)	平成28年4月	リスクマネジメント論						
兼任	教授	ミナモト ミチ子 桃井 眞理子 (68)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅰ (講義)						
兼任	教授	ヤマシタ カエコ 山下 香枝子 (71)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ (実習)						
				大学入門講座Ⅰ (基礎)						
				大学入門講座Ⅱ (展開)						
兼任	教授	ヤマシタ カエコ 山本恵子 (64)	平成28年4月	福祉支援工学概論	兼任	講師	中村 美緒 (35)	平成28年4月	福祉支援工学概論	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	教授	ヤマシタ カエコ 山本恵子 (64)	平成28年4月	人間工学	兼任	教授	宮嶋 宏行 (46)	平成28年4月	人間工学	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	准教授	イシヤマ ヒサコ 石山 寿子 (54)	平成29年4月	国際医療保健学実習						
兼任	准教授	イノエ ヨシキ 井上 善行 (41)	平成28年4月	ケースワーク論						
兼任	准教授	イノエ ヨシキ 剛史 (40)	平成28年4月	ボランティアコーディネート論	兼任	准教授	井上 善行 (41)	平成28年4月	ボランティアコーディネート論	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	准教授	イノエ ヨシキ 大石 剛史 (40)	平成28年4月	ボランティア論						
兼任	准教授	イノエ ヨシキ 岡村 世里奈 (46)	平成28年4月	医療管理学	兼任	准教授	埴岡 健一 (56)	平成28年4月	医療管理学	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	准教授	イノエ ヨシキ 岡村 世里奈 (45)	平成28年4月	医療関連法規						
兼任	准教授	イノエ ヨシキ 金子 純一郎 (46)	平成28年4月	健康科学理論	兼任	教授	西田 裕介 (40)	平成28年4月	健康科学理論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	准教授	イノエ ヨシキ 金子 純一郎 (46)	平成28年4月	人間と栄養 食と人間	兼任	教授	門脇 弘子 (68)	平成28年4月	人間と栄養 食と人間	就任辞退に伴う教員の変更 (28)

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	サイト ケイイチ 齋藤 恵一 (58)	平成29年4月	医療情報学概論						
				電子カルテによるチーム医療概論						
兼任	准教授	サイト ケイイチ 齋藤 恵一 (48)	平成28年4月	英語A-1(講読基礎)	兼任	講師	佐藤 寛子 (44)	平成28年4月	英語A-1(講読基礎)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				英語A-2(講読応用)					英語A-2(講読基礎)	
				上級英語文献講読	兼任	講師	佐藤 寛子 (44)	平成28年4月	上級英語文献講読	
					兼任	講師	Cosmin Florescu (35)	平成28年4月	上級英語文献講読	
兼任	准教授	サイト ケイイチ 齋藤 恵一 (48)	平成28年4月	上級英語会話1(発展)	兼任	講師	師岡 ビビアン・レイズ (59)	平成28年4月	上級英語会話1(発展)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				上級英語会話2(総合)					上級英語会話2(総合)	
兼任	准教授	サイト ケイイチ 齋藤 恵一 (48)		英語C-1(英会話初級)						
				英語C-2(英会話中級)						
兼任	准教授	サイト ケイイチ 齋藤 恵一 (59)	平成28年4月	中国語入門(会話含む)	兼任	講師	張 佳恵 (50)	平成28年4月	中国語入門(会話含む)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				中国語応用(会話含む)					中国語応用(会話含む)	
兼任	准教授	フナヰ ユヰ 福井 謙 (44)	平成28年4月	歴史学	兼任	講師	町田 明広 (54)	平成28年4月	歴史学	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
			平成28年4月	韓国語入門(会話含む)	兼任	講師	崔 誠姫 (50)	平成28年4月	韓国語入門(会話含む)	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
			平成28年4月	韓国語応用(会話含む)					韓国語応用(会話含む)	
兼任	准教授	フナヰ ユヰ 福井 謙 (44)	平成28年4月	日本近現代史						
兼任	准教授	モリヤマ マスミ 森山 ますみ (52)	平成28年4月	世界の中の和文化						
兼任	講師	イノエ マサユキ 井原 悠一 (38)	平成28年4月	化学	兼任	准教授	清宮 正徳 (52)	平成28年4月	化学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	イノエ マサユキ 磯野 真徳 (39)	平成28年4月	文化人類学	兼任	准教授	加藤 尚子 (52)	平成28年4月	文化人類学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	サカイ ナツキ 岡村 直利 (45)	平成28年4月	物理学	兼任	教授	宮嶋 宏行 (46)	平成28年4月	物理学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	サイト ケイイチ 佐藤 寛子 (44)	平成28年4月	英語A-3(講読中級1)						
				英語A-4(講読中級2)						
				資格英語1(Primary)						
				資格英語2(Basic)						
				フランス語入門(会話含む)						
				フランス語応用(会話含む)						
兼任	講師	サカイ ナツキ 江田 哲也 (37)	平成28年4月	情報処理Ⅰ(初歩)	兼任	教授	稲垣 誠一 (60)	平成28年4月	情報処理Ⅰ(初歩)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				情報処理Ⅱ(基礎)	兼任	教授	宮嶋 宏行 (46)	平成28年4月	情報処理Ⅱ(基礎)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				情報処理Ⅲ(応用)					情報処理Ⅲ(応用)	
兼任	講師	テラタ マサヨシ 寺田 佳孝 (33)	平成28年4月	教育学						
兼任	助教	サカイ ナツキ 大塚 一樹 (36)	平成28年4月	心理学	兼任	講師	矢口 大雄 (31)	平成28年4月	心理学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	助教	木村 亮子 (34)	平成28年4月	日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-C(発表・討論) 医療福祉専門漢字	兼任	講師	小川 美香 (39)	平成28年4月	日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-C(発表・討論) 医療福祉専門漢字	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	助教	櫻井 留美 (20)	平成28年4月	日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門語彙	兼任	准教授	茅野 正雄 (60)	平成28年4月	日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門語彙	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	青木 清 (78)	平成28年4月	生命倫理	専任	教授	樽井 正義 (68)	平成28年4月	生命倫理	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	海老原 邦雄 (63)	平成28年4月	防災と生活デザイン	兼任	講師	梶 秀樹 (75)	平成28年4月	防災と生活デザイン	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	大野 敏明 (64)	平成28年4月	アジア諸国の経済・社会・文化 国際関係論	兼任	教授	高須賀 茂文 (57)	平成28年5月	アジア諸国の経済・社会・文化 国際関係論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	大塚 達治 (84)	平成28年4月	文学	兼任	講師	秋原 北胤 (53)	平成28年4月	文学論	就任辞退に伴う教員の変更、誤植のため科目名修正 (28)
兼任	講師	岡野 賢二 (49)	平成28年4月	ビルマ語入門(会話含む) ビルマ語応用(会話含む)						
兼任	講師	押小路 忠昭 (55)	平成28年4月	社会学(人間と社会)	兼任	教授	川上 和久 (58)	平成28年4月	社会学(人間と社会)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	佐藤 里野 (35)	平成28年4月	演劇論	兼任	講師	秋原 北胤 (53)	平成28年4月	演劇論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	清水 英里 (44)	平成28年4月	ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)						
兼任	講師	須藤 正彦 (73)	平成28年4月	法学 法と道徳・倫理	兼任	講師	伊東 達也 (52)	平成28年4月	法学 法と道徳・倫理	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	Sunisa Wittayapanyanon (46)	平成28年4月	タイ語入門(会話含む) タイ語応用(会話含む)						
兼任	講師	高山 昇 (52)	平成28年4月	パフォーマンス表現論						
兼任	講師	谷 千春 (55)	平成28年4月	手話入門						
兼任	講師	時田 正樹 (64)	平成28年4月	郷土論	兼任	教授	川上和久 (58)	平成28年4月	郷土論	就任辞退に伴う教員の変更と、専門性の深化を図り、地方自治体および地域と連携する科目としてオムニバス化 (28)
兼任	講師	戸松 義晴 (62)	平成28年4月	宗教学 死生学-死を通して生を考える						

専任 兼担 兼任 の別	設置時の計画				専任 兼担 兼任 の別	変更状況				備 考
	職名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名		職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ベック ミチコ 別府 美知子 (55)	平成28年4月	メディカルマナー入門						
兼任	講師	ハゲアーテス フランク ライムヘルム アヒム Bauer-Lars Frank Wilhelm Achim (27)	平成28年4月	ドイツ語入門(会話含む)						
				ドイツ語応用(会話含む)						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)－① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
4	0	6	3	13	4	1	5	1	11	4	1	6	3	14
(4)	(0)	(5)	(1)	(10)						[0]	[1]	[0]	[0]	[1]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)－② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	1 名	3 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし								
合 計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3)－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合 計（C）					後任補充状況の集計（D）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3)－① ・ (3)－② の合計

合 計（A）＋（C）					後任補充状況の集計（B）＋（D）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年7月)	・卒業要件単位数が124単位であるにもかかわらず、全ての履修モデルが124単位を超える単位数で作成されていることから、学生に誤解を生じさせるおそれがある。そのため、人材養成の方針に整合しつつ124単位で卒業する形の履修モデルを新たに作成すること。（作業療法学科）	留意事項 各学科124単位で卒業する形の履修モデルを作成し、学生に周知する。（28）	
設 置 時 (27年7月)	・専門基礎科目における選択科目の一部科目において、1から4年次のいずれでも履修を可能としているような、配当年次に幅を持たせた科目があるが、体系的な学修の前提となる 学修の順序性が配慮されていない懸念がある。そのため、体系的な学修の観点から選択科目の配当年次の設定について再度検討を行い、必要に応じて配当年次を見直すこと。（作業療法学科）	留意事項 「2 授業科目の概要」に記載したとおり、変更対応。（28）	
設 置 時 (27年7月)	・臨床実習の参加要件が「4年次の実習への学生の参加要件は、3年次までの必修科目を全て修得していることを条件としている。」とあるのみであるが、実習参加の水準が確保されるよう、客観的臨床能力試験の実施等について検討すること。（作業療法学科）	留意事項 OSCE、CBTの導入を視野に入れた対応を行う。（28）	
設 置 時 (27年7月)	・主として専門科目を教授する教員において、多数の授業科目を担当する教員がいるなど、一部の教員に負担が偏っているように思われることから、教員の負担について検討し、必要に応じて負担が偏らないよう教員組織編制を適切に改めること。（作業療法学科）	留意事項 准教授1名を採用済、教員の負担軽減に対応。（28）	

設 置 時 (27年7月)	・養成すべき人材像で強調されている地域・地域包括ケアに関する教授内容について、関連する授業科目名からはその全体像が学生に伝わりにくいと思われることから、教授内容が学生に具体的に伝わるよう、科目名称等の工夫を検討すること。また、必修科目である「地域ケアシステム実習」に対応する講義科目が不明確であるので、演習科目に対応する講義科目があることが明確になるよう、該当する科目名称を変更するか講義科目を追加するなどの修正をすること。（作業療法学科）	留意事項	科目名称の変更にて対応。 「地域ケアシステム実習」⇒「地域生活支援システム実習」 なお、同科目に対応する講義科目としては、「地域生活支援論」という科目を配置している。（28）	
-----------------------------	---	-------------	--	--

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<成田保健医療学部 作業療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 124単位 必修科目99単位、選択科目25単位 ② 施設・設備 a 講義室4室(429.90㎡) 作業療法学科専用 b 自習室6室(1,665.78㎡) 成田看護学部・成田保健医療学部共通 c 図書 設置時6,400冊、完成時予定16,000冊 成田看護学部・成田保健医療学部共通	① 当初の予定から変更なし ② 当初の予定から変更なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 国際医療福祉大学 成田看護学部・成田保健医療学部 FD委員会 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 毎月第3木曜日開催、委員は各学部学科、所属より選出 c 委員会の審議事項等 FD研修会の企画運営 大学全体のFD研修会との企画調整 ② 実施状況 a 実施内容 ①大学全体でのFD研修会(年2回、9月、3月) ②成田キャンパスにおけるFD研修会(年1回) b 実施方法 ①大学全体でのFD研修会(年2回、9月、3月) 各キャンパスが持ち回りで担当。外部講師を招聘し、ポートフォリオ、IPEなどのテーマで講演会を実施。 ②成田キャンパスにおけるFD研修会(年1回) 年1回の開催に向け、FD委員会にて企画検討中。 c 開催状況(教員の参加状況含む) ①大学全体でのFD研修会(年2回、9月、3月) 専任教員全員参加。 ②成田キャンパスにおけるFD研修会(年1回) 成田キャンパスの専任教員全員参加。	
---	--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施後にアンケート等から各教員へフィードバックする予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

半期の場合は15回目、半期の半分の場合は8回目に授業アンケートを実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員へは集計結果をフィードバック。学生はホームページなどで集計結果を公開予定。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本年4月に開設した、成田看護学部及び成田保健医療学部は、千葉県をはじめ南関東地域の保健・医療・福祉に関わる専門職の需要にこたえとともに、国際都市である成田の特徴を生かし、地域・国際社会でグローバルに活躍できる人材の育成を図るために、設置したものである。

本年4月入学の第1期生の募集に当たっては、募集期間が通常の募集に比べ短期間にもかかわらず、成田看護学部が入学定員100人に対し、715人の志願者(志願倍率7.15倍)が、また、成田保健医療学部が入学定員240人に対し、1,234人の志願者(志願倍率5.14倍)があり、最終的には、成田看護学部で108人、成田保健医療学部で261人の入学者を迎えることができ、優秀な人材を確保できたと考えている。

開設に当たっては、大学設置・学校法人審議会に附された留意事項等を踏まえ、可能な範囲で見直しを図ったところである。開設したばかりで、留意事項に対して十分な対応とは言えないが、引き続き改善を図っていきたいと考えている。

まだ、開設したばかりであり、今後設置計画や留意事項を着実に履行するとともに、実習体制や施設、設備等の充実を図り、保健・医療・福祉分野における、優れた人材を養成していききたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成28年度中に実施し、平成29年度5月に公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度を予定。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年 5月 31日 頃)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人国際医療福祉大学

(2) 大 学 名

国際医療福祉大学

(3) 大学の位置

〒286-8686

千葉県成田市公津の杜4丁目3番

(本部：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600番1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学 長	(キタジマ マサキ) 北島 政樹 (平成21年7月)	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月)	任期満了に伴う変更(28)
学 部 長	(スギハラ モトコ) 杉原 素子 (平成28年4月)		
学科長等	(シロマ マサエ) 城間 将江 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
成田保健医療学部 言語聴覚学科 学士(言語聴覚学)	4年	40人	— 年次人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 (-) [-]								1.00倍	
志願者数	125 (-) [1]	— (-) [-]								
受験者数	125 (-) [1]	— (-) [-]								
合格者数	71 (-) [1]	— (-) [-]								
B 入学者数	40 (-) [1]	— (-) [-]								
入学定員超過率 B/A	1.00									

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		平成 3 1 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[1] (-) 40	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次					/		[] ()	[] ()	
計							[] (-) 40	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成 2 8 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について **内数で** 記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	40 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	40 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
- （記入項目例）・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<成田保健医療学部 言語聴覚学科>

(1) 授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4 前	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任秋原北胤に変更 (28)
		演劇論	1 2 3 4 前	1							兼 1	就任辞退に伴い兼任秋原北胤に変更 (28)
		パフォーマンス表現論	1 2 3 4 前	2							兼 1	
		心理学	1 2 3 4 前	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任矢口大雄に変更 (28)
		哲学	1 2 3 4 前	2							兼 1	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4 後	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任山川誠司に変更 (28)
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	未開講 1-2-3-4 前	2							兼 1	履修希望者がいなかったため (28)
		人間学	1 2 3 4 後	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任鹿島晴雄に変更 (28)
		歴史学	1 2 3 4 後	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任町田明広に変更 (28)
		倫理学	1 2 3 4 後	2							兼 1	
		宗教学	1 2 3 4 後	2							兼 1	
		日本近現代史	1 2 3 4 後	2							兼 1	
		文化人類学	1 2 3 4 前	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任加藤尚子に変更 (28)
		教育学	1 2 3 4 後	2							兼 1	
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4 前	2							兼 1	
	社会系	法学	1 2 3 4 後	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任伊東達也に変更 (28)
		法と道徳・倫理	1 2 3 4 後	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任伊東達也に変更 (28)
		医療関連法規	1 2 3 4 前	2							兼 1	
		社会保障制度論	1 2 3 4 前	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任金野充博に変更 (28)
		経済の仕組み	1 2 3 4 前	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任埴岡健一に変更 (28)
		経済の歴史	1 2 3 4 後	2							兼 1	
		世界の経済	1 2 3 4 前後	2							兼 1	教育効果を考慮し、開講期を変更 (28)
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4 後	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任高須賀茂文に変更 (28)
		世界の中の和文化	1 2 3 4 前	1							兼 1	専門性の深化を図り、各回の講義テーマに基づく専門化によるオムニバス化 (28)
		世界遺産と国際文化政策	1 2 3 4 前	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任佐藤禎一に変更 (28)
		経営の仕組み	1 2 3 4 前	2							兼 1	
		組織運営管理論	1 2 3 4 前	2							兼 1	教育効果を考慮し兼任羽田明浩に変更 (28)
		社会学 (人間と社会)	1 2 3 4 前	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任川上和久に変更 (28)
		マスメディア論	1 2 3 4 後	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任川上和久に変更 (28)
		新聞でみた日本と世界	1 2 3 4 前	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任川上和久に変更 (28)
		国際関係論	1 2 3 4 前後	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任高須賀茂文に変更、教育効果に配慮し開講期を変更 (28)
		国際医療福祉論	1 2 3 4 前	2							兼 1	
		海外保健福祉事情Ⅰ (講義)	未開講 1-2-3-4 前	1							兼 1	履修希望者がいなかったため (28)
		海外保健福祉事情Ⅱ (実習)	未開講 1-2-3-4 前	1			1				兼 6	履修希望者がいなかったため (28)
		ボランティア論	1 2 3 4 後	2							兼 1	
		ボランティアコーディネート論	未開講 1-2-3-4 前	2							兼 1	履修希望者がいなかったため (28)
		手話入門	未開講 1-2-3-4 前	2							兼 1	履修希望者がいなかったため (28)
		防災と生活デザイン	1 2 3 4 前	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任梶秀樹に変更 (28)
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4 後	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任稲垣垣誠一に変更 (28)
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4 後	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任稲垣垣誠一に変更 (28)
		数学	1 2 3 4 前	2							兼 1	
		物理学	1 2 3 4 前	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更 (28)
		化学	1 2 3 4 前	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任清宮正徳に変更 (28)
		生物学	1 2 3 4 前	2							兼 1	
		情報処理Ⅰ (初歩)	1 2 3 4 前	1							兼 1	就任辞退に伴い兼任稲垣垣誠一に変更 (28)
		情報処理Ⅱ (基礎)	1 2 3 4 前	1							兼 1	就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更 (28)
		情報処理Ⅲ (応用)	1 2 3 4 後	1							兼 1	就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更 (28)
		生命倫理	1 2 3 4 前	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任樽井正義に変更 (28)
		医学/医療史	1 2 3 4 後	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更 (28)
		人間工学	1 2 3 4 後	2							兼 1	就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更 (28)
	総合系	大学入門講座Ⅰ (基礎)	1 前	1							兼 2	
		大学入門講座Ⅱ (展開)	1 2 3 4 前	1							兼 2	
		郷土論	1 2 3 4 前	1							兼 1	専門性の深化を図り、地方自治体および地域と連携しオムニバス化 (28)
		医療福祉教養講義	1 2 3 4 後	1							兼 1	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4 後	2							兼 1	
		食と人間	1 2 3 4 後	1							兼 1	就任辞退に伴い兼任門脇弘子に変更 (28)

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教			助手
総合教育（つづき）	外国語系	英語 A-1（講読基礎）	1	前	1							兼 1	
		英語 A-2（講読応用）	1	後	1							兼 1	
		英語 B-1（視聴覚英語基礎）	1	前	1							兼 1	
		英語 B-2（視聴覚英語応用）	1	後	1							兼 1	
		英語 A-3（講読中級 1）	2 3 4	前	1							兼 1	
		英語 A-4（講読中級 2）	2 3 4	後	1							兼 1	
		英語 C-1（英会話初級）	2 3 4	前	1							兼 1	
		英語 C-2（英会話中級）	2 3 4	後	1							兼 1	
		英語ライティング 1（Primary）	1 2 3 4	前	1							兼 1	就任辞退に伴い兼担当田中泰郎に変更（28）
		英語ライティング 2（Basic）	1 2 3 4	後	1							兼 1	就任辞退に伴い兼担当田中泰郎に変更（28）
		国際医療通訳入門	1 2 3 4	前	1							兼 1	
		資格英語 1（Primary）	1 2 3 4	前	1							兼 1	
		資格英語 2（Basic）	1 2 3 4	後	1							兼 1	
		基礎英文法 1（Primary）	1 2 3 4	前	1							兼 1	就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更（28）
		基礎英文法 2（Basic）	1 2 3 4	後	1							兼 1	就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更（28）
		上級英語文献講読	1 2 3 4	前	1							兼 1	効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加（28）
		上級英語会話1（発展）	1 2 3 4	前	1							兼 1	就任辞退に伴い兼任師岡ビアンルーズに変更（28）
		上級英語会話2（総合）	1 2 3 4	後	1							兼 1	就任辞退に伴い兼任師岡ビアンルーズに変更（28）
		ドイツ語入門（会話含む）	1 2 3 4	前	1							兼 1	
		ドイツ語応用（会話含む）	1 2 3 4	後	1							兼 1	
		中国語入門（会話含む）	1 2 3 4	前	1							兼 1	就任辞退に伴い兼任張佳恵に変更（28）
		中国語応用（会話含む）	1 2 3 4	後	1							兼 1	就任辞退に伴い兼任張佳恵に変更（28）
		韓国語入門（会話含む）	1 2 3 4	前	1							兼 1	就任辞退に伴い兼任崔誠姫に変更（28）
		韓国語応用（会話含む）	1 2 3 4	後	1							兼 1	就任辞退に伴い兼任崔誠姫に変更（28）
		フランス語入門（会話含む）	1 2 3 4	前	1							兼 1	
		フランス語応用（会話含む）	1 2 3 4	後	1							兼 1	
		スペイン語入門（会話含む）	1 2 3 4	前	1							兼 1	教育効果を考慮しネイティブスピーカーである兼任 Silvia Antoniaに変更（28）
		スペイン語応用（会話含む）	1 2 3 4	後	1							兼 1	教育効果を考慮しネイティブスピーカーである兼任 Silvia Antoniaに変更（28）
	タイ語入門（会話含む）	1 2 3 4	前	1							兼 1		
	タイ語応用（会話含む）	1 2 3 4	後	1							兼 1		
	ベトナム語入門（会話含む）	1 2 3 4	前	1							兼 1		
	ベトナム語応用（会話含む）	1 2 3 4	後	1							兼 1		
	ビルマ語入門（会話含む）	1 2 3 4	前	1							兼 1		
	ビルマ語応用（会話含む）	1 2 3 4	後	1							兼 1		
	留学生の日本語科目	日本語Ⅰ-A（作文）	1 2 3 4	前	1							兼 1	就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更（28）
		日本語Ⅰ-B（文法・語彙）	1 2 3 4	前	1							兼 1	就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更（28）
日本語Ⅱ-A（作文）		1 2 3 4	後	1							兼 1	就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更（28）	
日本語Ⅱ-B（文法・語彙）		1 2 3 4	後	1							兼 1	就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更（28）	
日本語Ⅱ-C（発表討論）		1 2 3 4	前	1							兼 1	就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更（28）	
日本語Ⅱ-D（専門日本語）		1 2 3 4	前	1							兼 1	就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更（28）	
日本語Ⅲ-A（作文）		1 2 3 4	後	1							兼 1	就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更（28）	
日本語Ⅲ-B（文法・語彙）		1 2 3 4	後	1							兼 1	就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更（28）	
日本語Ⅲ-C（発表・討論）		1 2 3 4	前	1							兼 1	就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更（28）	
日本語Ⅲ-D（専門日本語）		1 2 3 4	前	1							兼 1	就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更（28）	
医療福祉専門漢字		1 2 3 4	後	1							兼 1	就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更（28）	
医療福祉専門語彙		1 2 3 4	後	1							兼 1	就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更（28）	
保健体系	健康科学理論	1 2 3 4	前	1							兼 1	就任辞退に伴い兼担当西田裕介に変更（28）	
	健康科学実践	1 2 3 4	前	1							兼 1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育	専門基礎	公衆衛生学	1・2・3・4	後	2						兼 1 就任辞退に伴い兼担小川俊夫に変更、教育効果を考慮し配当年次を変更 (28)
		救急医学	1・2・3・4	前	1						兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更 (28)
		感染と免疫	1・2・3・4	後	2						兼 1 就任辞退に伴い兼担林琢磨に変更、教育効果を考慮し配当年次を変更 (28)
		リハビリテーション概論	1	前	2						兼 1 教育効果を考慮し、兼担杉原素子に変更 (28)
		関連職種連携論	2	後	2	1					兼 4
		ケアマネジメント論	1・2・3・4	前	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担井上善行に変更、教育効果を配慮し配当年次を変更 (28)
		ケースワーク論	1・2・3・4	後	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担井上善行に変更、教育効果を配慮し配当年次を変更 (28)
		医療管理学	1・2・3・4	前	2						兼 1 教育効果を考慮し兼担塩岡健一に変更、教育効果を考慮し配当年次を変更 (28)
		保健医療福祉制度論	1	後	2						兼 1 教育効果を考慮し兼担金野充博に変更 (28)
		社会福祉学	1・2・3・4	前	2						兼 1 教育効果を考慮し兼担金野充博に変更、教育効果を配慮し配当年次を変更 (28)
		臨床心理学概論	1・2・3・4	前	2						兼 1 就任辞退に伴い兼担山川誠司に変更、教育効果を配慮し配当年次を変更 (28)
		医療情報学概論	1・2・3・4	後	2						兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更 (28)
		福祉支援工学概論	1・2・3・4	前	2						兼 1 就任辞退に伴い兼担中村美緒に変更、教育効果を配慮し配当年次を変更 (28)
		関連職種連携ワーク	3	前	1	1					兼 4
		関連職種連携実習	4	前	1	1					兼 4
		リスクマネジメント論	1・2・3・4	後	2						兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更 (28)
		電子カルテによるチーム医療概論	1・2・3・4	後	2						兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更 (28)
		エビデンスベースドプラクティス (研究と文献)	1・2・3・4	前	1						兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更 (28)
専門教育	専門基礎	レクリエーション概論	1・2・3・4	前	1						兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更 (28)
		災害保健学	1・2・3・4	前	1	1					兼 3 教育効果を考慮し配当年次を変更 (28)
		予防保健学	1・2・3・4	前	1	1					兼 3 教育効果を考慮し配当年次を変更 (28)
		国際医療保健学	1・2・3・4	前後	1	1					兼 3 教育効果を考慮し配当年次、開講期を変更 (28)
		異文化体験実習	1・2・3・4	後	1	1					兼 3
		解剖学	1	前	2						兼 1
		生理学	1	後	2						兼 1
		病理学	1	後	1						兼 1
		医学概論	1	前	1						兼 1
		内科学	1	後	1						兼 1
		精神医学	2	前	1						兼 1
		リハビリテーション医学	2	後	1						兼 1
		小児科学	2	前	1						兼 1
		耳鼻咽喉科学	2	前	1	1					兼 1
		臨床神経学	2	後	1						兼 1
		形成外科学	2	前	1						兼 1
		臨床歯科医学	2	前	1						兼 1
		口腔外科学	2	前	1						兼 1
		音声言語医学	1	後	1	1					
		中枢神経機能学	1	後	1						兼 1
		聴覚医学	1	後	1	1					
		小児神経学	1・2	後	1						兼 1
		老年学	1・2	前	1						兼 1
		遺伝学	1・2	前	1						兼 1
		脳神経外科学	1・2	後	1						兼 1
		臨床心理学	2	後	1						兼 1
		生涯発達心理学	1	前	1						兼 1
		学習心理学	2	前	1						兼 1
		神経心理学	2	前	1						兼 1
		認知心理学	1	後	1						兼 1
		心理測定法	2	前	1						兼 1
		心理測定法演習	3	前	1	1					
		言語学	1	前	1		1				
		言語心理学	3	前	1		1				
		言語発達学	1	後	1		1				
		基礎音声学	1	後	1				1		
		音声学	2	前	1				1		
		音声音響学	2	後	1		1				
		聴覚心理学	3	前	1	1					
		国際医療保健学演習	2・3・4	後	1	1			1		兼 2
		国際医療保健学実習	2・3・4	後	1	1	1				兼 2
専門教育	専門	言語聴覚障害学概論	1	前	1	1					
		コミュニケーション技能演習	1	後	1				1		
		コミュニケーション障害演習	2	後	1				1		
		言語聴覚障害診断学	3	前	1	1					
		言語聴覚障害基礎演習	3	前	1				1		
		失語症・高次脳機能障害学総論Ⅰ (基礎)	2	前	1	1					
		失語症・高次脳機能障害学総論Ⅱ (発展)	2	後	1	1					
		失語症Ⅰ (評価・診断)	3	前	1		1				
		失語症Ⅱ (治療)	3	後	1		1				
		失語症・高次脳機能障害学演習	3	後	1		1				
		高次脳機能障害学	3	前	1	1					
		言語発達障害学総論	2	前	1				1		
		言語発達障害学各論	2	後	1				1		
		言語発達障害学Ⅰ (評価・診断)	2	後	1				1		
		言語発達障害学Ⅰ演習 (評価・診断)	3	前	1				1		
		言語発達障害学Ⅱ (指導)	3	後	1				1		
		言語発達障害学Ⅱ演習 (指導)	3	後	1				1		
		聴覚障害学総論	2	前	1	1					
		聴覚機能評価学	2	後	2	1					
		聴覚補償論 (補聴器・人工内耳など)	2	後	1	1					

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 教育	小児聴覚障害学Ⅰ（評価・診断）	3 前	1			1					
	小児聴覚障害学Ⅱ（指導）	3 後	1			1					
	成人聴覚障害学（二重障害を含む）	2 後	1			1					
	発声発語障害学総論	2 前	2				1				
	構音障害学Ⅰ（理論）	2 後	1				1				
	構音障害学Ⅱ（評価・診断）	3 前	1				1				
	構音障害学演習（治療）	3 後	1				1		1		
	流暢性障害学	3 前	1				1				
	音声障害学	3 前	1						1		
	摂食・嚥下障害学Ⅰ（理論・評価診断）	2 後	1				1				
	摂食・嚥下障害学Ⅱ（治療）	3 後	1				1				
	言語聴覚障害学研究法	3 前		2		1					
	英語で学ぶ言語聴覚療法の基礎	1・2 前		1		1					
	言語聴覚療法英語論文抄読	3・4 後		1		1					
	教職教養	3・4 前		1			1				
	特別支援教育	3・4 前		1			1				
	日本語教授法	1・2 前		1			1				
	言語聴覚療法総合演習	4 前		1		1					
	言語聴覚障害学特論Ⅰ（基礎）	4 前	1			1					
	言語聴覚障害学特論Ⅱ（発展）	4 後	1			1					
	卒業研究	4 後		4		3	3	1	2		
	臨床実習Ⅰ（基礎）	3 後	2			3	3	1	2		
	臨床実習Ⅱ（総合）	4 前	10			3	3	1	2		
	災害リハビリテーション学	3・4 後		1		1					兼 2

- （注）・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
80	127	0	207	80	127	0	207	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに， [] 内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	※大学全体			
	校 舎 敷 地	262,852㎡ 194,962㎡	0㎡	0㎡	262,852㎡ 194,962㎡	成田キャンパス（医学部）校地を無償借用のため増加（28） 小田原保健医療学部と小田原市とで土地の等価交換を行い、18㎡減少（H28）			
	運動場用地	88,807㎡ 83,147㎡	0㎡	0㎡	88,807㎡ 83,147㎡				
	小 計	351,659㎡ 283,796㎡	0㎡	0㎡	351,659㎡ 283,796㎡				
	そ の 他	372,772㎡ 372,790㎡	0㎡	0㎡	372,772㎡ 372,790㎡				
	合 計	724,431㎡ 656,559㎡	0㎡	0㎡	724,431㎡ 656,559㎡				
(2)校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	143,615㎡ (143,615㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	143,615㎡ (143,615㎡)					
(3)教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	176室	60室	216室	18室 (補助職員 4人)	6室 (補助職員 0人)				
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	成田保健医療学部 言語聴覚学科			8 室					
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	成田保健医療学部共通	
	成田保健医療学部	11,000 [1,540] 6,501 [264] (4,400 [616])	64 [20] 156 [0] (52 [16])	3,336 [2,205] 4,115 [2,892] (3,176)	196 136 (44)	6,500 2,478(5200)	590 113(334)		
	計	11,000 [1,540] 6,501 [264] (4,400 [616])	64 [20] 156 [0] (52 [16])	3,336 [2,205] 4,115 [2,892] (3,176)	196 136 (44)	6,500 2,478(5200)	590 113(334)		
(6)図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	7,087.11㎡		1,613席		299,400冊				
(7)体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	5,715.34㎡		弓道場		テニスコート				
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	朱書修正金額は5学科合計（H28）
		教員 1 人 当り 研究 費 等	400千円	400千円	図書購入費	477 44,000千円	87,750 32,000千円	16,000千円	
		共 同 研 究 費 等	1,500千円	3,000千円	設備購入費	153,900 373,480千円	900,000 459,800千円	18,500千円	
	学生 1 人 当り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,550千円	1,450千円	1,450千円	1,450千円	一 千円	一 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資金運用収入 等						

- （注）・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（28）」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	国際医療福祉大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
保健医療学部	年	人	年次 人	人		倍			
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.19	平成7年度	栃木県大田原市北 金丸2600番1	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.20	平成7年度	同上	
作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法学)	1.20	平成7年度	同上	
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴覚学)	1.14	平成7年度	同上	
視機能療法学科	4	40	-	160	学士 (視機能療法学)	1.19	平成14年度	同上	
放射線・情報科学科	4	100	-	400	学士 (放射線・情報科学)	1.19	平成7年度	同上	
医療福祉学部						1.08			
医療福祉・マネジメント 学科	4	160	-	640	学士 (医療福祉学) 学士 (医療マネジメント学)	1.09	平成9年度	同上	
薬学部						1.08			
薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)	1.08	平成18年度	同上	
小田原保健医療学部						1.18			
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.13	平成18年度	神奈川県小田原市 城山一丁目2番25号	
理学療法学科	4	40	-	160	学士 (理学療法学)	1.19	平成18年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.24	平成18年度	同上	
福岡看護学部						1.21			
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.21	平成20年度	福岡市早良区 百道浜1-7-4	
福岡保健医療学部						1.18			
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.18	平成17年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.19	平成17年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	1.16	平成19年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.19	平成25年度	同上	
成田看護学部						1.08			
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.08	平成28年度	千葉県成田市 公津の杜4丁目3番	
成田保健医療学部						1.08			
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.15	平成28年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.07	平成28年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	1.00	平成28年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.07	平成28年度	同上	

医療福祉学研究科						1.31			
修士課程保健医療学専攻	2	100	-	200	修士 (保健医療学) 修士 (看護学) 修士 (助産学) 修士 (言語聴覚学) 修士 (生殖補助医療学) 修士 (医療福祉教育・管理学) 修士 (臨床検査学)	1.59	平成11年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
修士課程医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉学) 修士 (診療情報管理学) 修士 (医療ビジネス経営学) 修士 (医療福祉管理学) 修士 (介護福祉・ケアマネジメント学) 修士 (医療福祉ジャーナリズム学)	0.92	平成13年度	同上	
修士課程臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理学)	1.00	平成19年度	同上	
博士課程保健医療学専攻	3	50	-	150	博士 (保健医療学) 博士 (看護学) 博士 (助産学) 博士 (言語聴覚学) 博士 (生殖補助医療学) 博士 (臨床検査学) 博士 (医療福祉経営学) 博士 (医療福祉学) 博士 (診療情報管理学) 博士 (介護福祉・ケアマネジメント学) 博士 (臨床心理学) 博士 (医療福祉ジャーナリズム学)	1.38	平成13年度	同上	
薬科学研究科						0.20			
修士課程生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.20	平成22年度	同上	
薬学研究科						1.20			
博士課程医療・生命薬学専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	1.20	平成24年度	同上	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。

- ・ A C対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<成田保健医療学部 言語聴覚学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼担 兼任 の別	職名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	学科長 教授	シロヤマ マサヒ 城間 将江 (63)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）						
				関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
				国際医療保健学演習						
				言語聴覚障害学概論						
				言語聴覚障害学診断学						
				聴覚障害学総論						
				英語で学ぶ言語聴覚療法の基礎						
				言語聴覚療法英語論文抄読						
				言語聴覚障害学特論Ⅰ（基礎）						
				言語聴覚障害学特論Ⅱ（発展）						
				臨床実習Ⅰ（基礎）						
				臨床実習Ⅱ（総合）						
専任	教授	イワサキ オトシ 岩崎 聡 (55)	平成28年4月	耳鼻咽喉科学						
				音声言語医学						
				聴覚医学						
専任	教授	ウチダ シンヤ 内田 信也 (46)	平成28年4月	心理測定法演習						
				失語症・高次脳機能障害学総論Ⅰ（基礎）						
				失語症・高次脳機能障害学総論Ⅱ（発展）						
				高次脳機能障害学						
				言語聴覚障害学研究法						
				言語聴覚療法総合演習						
				国際医療保健学実習						
				臨床実習Ⅰ（基礎）						
				臨床実習Ⅱ（総合）						
				卒業研究						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	ハラダ ヒロミ 原田 浩美 (52)	平成28年4月	災害保健学						
				予防保健学						
				国際医療保健学						
				異文化体験実習						
				聴覚心理学						
				聴覚機能評価学						
				聴覚補償論（補聴器・人工内耳など）						
				小児聴覚障害学Ⅰ（評価・診断）						
				小児聴覚障害学Ⅱ（指導）						
				成人聴覚障害学（二重障害を含む）						
				災害リハビリテーション学						
				臨床実習Ⅰ（基礎）						
				臨床実習Ⅱ（総合）						
				卒業研究						
専任	准教授	イシヤマ ヒサコ 石山 寿子 (54)	平成29年4月	音声音響学						
				摂食・嚥下障害学Ⅰ（理論・評価診断）						
				摂食・嚥下障害学Ⅱ（治療）						
				構音障害学Ⅰ（理論）						
				構音障害学Ⅱ（評価・診断）						
				国際医療保健学実習						
				構音障害学演習（治療）						
				臨床実習Ⅰ（基礎）						
				臨床実習Ⅱ（総合）						
				卒業研究						
専任	准教授	カノ ミチコ 菅野 倫子 (43)	平成29年4月	言語心理学						
				失語症学Ⅰ（評価・診断）						
				失語症学Ⅱ（治療）						
				失語症・高次脳機能障害学演習						
				臨床実習Ⅰ（基礎）						
				臨床実習Ⅱ（総合）						
				卒業研究						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼担 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	ヨシダ コウジ 吉田 浩滋 (63)	平成28年4月	言語学						
				言語発達学						
				発声発語障害学総論						
				流暢性障害学						
				教職教養						
				特別支援教育						
				日本語教授法						
				臨床実習Ⅰ（基礎）						
				臨床実習Ⅱ（総合）						
				卒業研究						
専任	講師	イワサキ シュンヤ 岩崎 淳也 (43)	平成29年4月	言語発達障害学総論						
				言語発達障害学各論						
				言語発達障害学Ⅰ（評価・診断）						
				言語発達障害学Ⅰ演習（評価・診断）						
				言語発達障害学Ⅱ（指導）						
				言語発達障害学Ⅱ演習（指導）						
				臨床実習Ⅰ（基礎）						
				臨床実習Ⅱ（総合）						
				卒業研究						
専任	助教	アイワリ ミチ 相川 倫 (35)	平成28年4月	基礎音声学						
				音声学						
				コミュニケーション技能演習						
				言語聴覚障害基礎演習						
				音声障害学						
				国際医療保健学演習						
				構音障害学演習（治療）						
				臨床実習Ⅰ（基礎）						
				臨床実習Ⅱ（総合）						
				卒業研究						
専任	助教	カハラ マグミ 塚原 恵 (27)	平成29年4月	コミュニケーション障害演習						
				臨床実習Ⅰ（基礎）						
				臨床実習Ⅱ（総合）						
				卒業研究						
兼担	教授	ウエノ トシタ 上野 俊昭 (51)	平成28年4月	脳神経外科学						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	オモリ スミ 大澤 進 (68)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）						
				関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
兼任	教授	オモリ スミ 大澤 進 (68)	平成28年4月	コミュニケーション概論 臨床心理学概論	兼任	助教	山川 誠司 (52)	平成28年4月	コミュニケーション概論 臨床心理学概論	教育内容からより適切な教員へ変更（28）
兼任	教授	オモリ スミ 大澤 進 (68)	平成28年4月	生涯発達心理学	兼任	講師	矢口 大雄 (31)	平成28年4月	生涯発達心理学	教育内容からより適切な教員へ変更（28）
				認知心理学	兼任	講師	宮代 こそゑ (28)	平成28年4月	認知心理学	教育内容からより適切な教員へ変更（28）
兼任	教授	オモリ スミ 大澤 進 (68)	平成28年4月	雑談と傾聴-話す力と聴く力-						
				臨床心理学						
				学習心理学						
				心理測定法						
兼任	教授	カワ ヨコ 川合 陽子 (67)	平成28年4月	医学概論						
				内科学						
兼任	教授	カワ トオ 河野 寿夫 (69)	平成29年4月	小児科学						
兼任	教授	カワ マト 河野 眞 (49)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）						
				国際医療保健学						
				異文化体験実習						
				国際医療保健学演習						
				国際医療保健学実習						
				災害リハビリテーション学						
兼任	教授	コサ マサキ 小坂 正明 (58)	平成29年4月	形成外科学						
兼任	教授	コサ マサキ 小坂 正明 (58)	平成28年4月	生理学	兼任	講師	林 真理子 (47)	平成28年4月	生理学	教育内容からより適切な教員へ変更（28）
兼任	教授	スダハラ ミコ 杉原 素子 (73)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）						
				大学入門講座Ⅰ（基礎）						
				大学入門講座Ⅱ（展開）						
				関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
兼任	教授	スダハラ ミコ 須藤 英一 (54)	平成28年4月	老年学						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	ナカノ ミツキ 長沢 光章 (58)	平成28年4月	災害保健学						
兼任	教授	ニシダ ユウスケ 西田 裕介 (40)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）						
				関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
				レクリエーション概論						
兼任	教授	リハビリテーション 桑原 素子 （44）	平成28年4月	リハビリテーション概論	兼任	教授	杉原 素子 (72)	平成28年4月	リハビリテーション概論	教育内容からより適切な教員へ変更（28）
兼任	教授	ハヤシ タケマ 林 琢磨 (51)	平成28年4月	生物学						
				国際医療通訳入門						
				異文化体験実習						
兼任	教授	ミヤノ ミチヲ 三宅 克也 (52)	平成28年4月	解剖学						
兼任	教授	ミヤノ テツロウ 宮田 哲郎 (61)	平成28年4月	救急医学						
兼任	教授	モリ イチロウ 森 一郎 (64)	平成28年4月	病理学						
兼任	准教授	トキス マサヒ 糸数 昌史 (38)	平成28年4月	予防保健学						
兼任	准教授	キナダ シズエ 小山田 静枝 （49）	平成28年4月	精神医学	兼任	教授	古城 慶子 (○)	平成28年4月	精神医学Ⅰ（基礎）	教育内容からより適切な教員に変更（28）
兼任	准教授	キナダ シズエ 小山田 静枝 （49）	平成28年4月	人間学	兼任	准教授	鹿島 晴雄 (○)	平成28年4月	人間学	教育内容からより適切な教員に変更（28）
兼任	准教授	キナダ シズエ 小山田 静枝 (49)	平成28年4月	神経心理学						
兼任	准教授	コトウキ ヨシコ 工藤 芳子 (53)	平成28年4月	予防保健学						
				国際医療保健学						
兼任	講師	エン シンイロウ 園 純一郎 (47)	平成28年4月	予防保健学						
兼任	講師	シムラ ケイタ 志村 圭太 (33)	平成28年4月	国際医療保健学実習						
				国際医療保健学						
兼任	講師	スズキ シュンコ 鈴木 純子 (46)	平成28年4月	臨床神経学						
				中枢神経機能学						
				遺伝学						
兼任	講師	ミナモト ハコ 三浦 和 (36)	平成28年4月	災害保健学						
				国際医療保健学演習						
				災害リハビリテーション学						
兼任	講師	ミヤケ リサキ 宮森 隆行 (41)	平成28年4月	健康科学実践						
兼任	助教	イシイ キヨシ 石井 清志 (35)	平成28年4月	災害保健学						
兼任	助教	ササキ シンイチ 澤 龍一 (28)	平成28年4月	異文化体験実習						

5 教員組織の状況

<共通>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	稲垣 誠一 (60)	平成28年4月	統計学 疫学・保健医療統計学	兼任	教授	稲垣 誠一 (60)	平成28年4月	統計学 疫学・保健医療統計学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	黒澤 和生 (70)	平成28年4月	医学/医療史 エビデンスベースドプラクティス (研究 と文献)	兼任	教授	黒澤 和生 (70)	平成28年4月	医学/医療史	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	小川 正子 (64)	平成28年4月	スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)	兼任	講師	Silvia Antonia (53)	平成28年4月	スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)	専門性を考慮し、ネイティブスピーカーの非常勤 教員に変更 (28)
兼任	教授	菊池 哲郎 (68)	平成28年4月	経済の仕組み 世界遺産と国際文化政策	兼任	教授	山川 誠司 (52)	平成28年4月	経済の仕組み	教育内容からより適切な教員へ変更 (28)
					兼任	教授	佐藤 慎一 (74)	平成28年4月	世界遺産と国際文化政策	
兼任	教授	菊池 哲郎 (68)	平成28年4月	経済の歴史 世界の経済						
兼任	教授	北村 義浩 (55)	平成28年4月	国際医療福祉論						
兼任	教授	北村 義浩 (55)	平成28年4月	公衆衛生学	兼任	准教授	小川 俊夫 (50)	平成28年4月	公衆衛生学	教育内容からより適切な教員へ変更 (28)
兼任	教授	北村 義浩 (55)	平成28年4月	感染と免疫	兼任	教授	林 琢磨 (51)	平成28年4月	感染と免疫	教育内容からより適切な教員へ変更 (28)
兼任	教授	島田 直樹 (62)	平成28年4月	数学	兼任	教授	稲垣 誠一 (60)	平成28年4月	数学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	武原 格 (48)	平成28年4月	リハビリテーション医学	兼任	教授	乗松 祐佐 (41)	平成28年4月	リハビリテーション医学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	樽井 正義 (68)	平成28年4月	哲学 倫理学						
兼任	教授	茶園 美香 (66)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ (実習) 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習						
兼任	教授	堀田 聡子 (39)	平成28年4月	社会福祉学 ケアマネジメント論	兼任	准教授	井上 善行 (41)	平成28年4月	社会福祉学 ケアマネジメント論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	丸木 成 (67)	平成28年4月	新聞でみた日本と世界 マスメディア論 社会保障制度論	兼任	教授	川上 和久 (58)	平成28年4月	新聞でみた日本と世界 マスメディア論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
							金野 充博 (59)	平成28年4月	社会保障制度論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	丸山 仁司 (65)	平成28年4月	医療福祉教養講義						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	ミナモト マチコ 宮崎 路子 -(59)-	平成28年4月	英語B-1 (視聴覚英語基礎)	兼任	准教授	田中 泰郎 (57)	平成28年4月	英語B-1 (視聴覚英語基礎)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				英語B-2 (視聴覚英語応用)					英語B-2 (視聴覚英語応用)	
				英語ライティング1 (Primary)					英語ライティング1 (Primary)	
				英語ライティング2 (Basic)					英語ライティング2 (Basic)	就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更 (28)
				基礎英文法1 (Primary)		准教授	田中 泰郎 (57)		基礎英文法1 (Primary)	
				基礎英文法2 (Basic)		講師	Cosmin Florescu (35)		基礎英文法2 (Basic)	就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更 (28)
						准教授	田中 泰郎 (57)		基礎英文法2 (Basic)	
						講師	Cosmin Florescu (35)		基礎英文法2 (Basic)	
						講師	Cosmin Florescu (35)		基礎英文法2 (Basic)	
兼任	教授	タケノコ マチコ 武藤 正樹 -(67)-	平成28年4月	経営の仕組み	兼任	准教授	羽田 明浩 (53)	平成28年4月	経営の仕組み	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
				組織運営管理論					組織運営管理論	
				保健医療福祉制度論		准教授	金野 充博 (59)		保健医療福祉制度論	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	教授	タケノコ マチコ 武藤 正樹 (67)	平成28年4月	リスクマネジメント論						
兼任	教授	ミヤノ マリコ 桃井 真理子 (68)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅰ (講義)						
				小児神経学						
兼任	教授	ヤマダ キョウ子 山下 香枝子 (71)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ (実習)						
				大学入門講座Ⅰ (基礎)						
				大学入門講座Ⅱ (展開)						
兼任	教授	ヤマモト マチコ 山本 遼子 -(64)-	平成28年4月	福祉支援工学概論	兼任	講師	中村 美緒 (35)	平成28年4月	福祉支援工学概論	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	教授	ヤマモト マチコ 山本 遼子 -(64)-	平成28年4月	人間工学	兼任	教授	宮嶋 宏行 (46)	平成28年4月	人間工学	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	准教授	イノウエ ミサキ 井上 善行 (41)	平成28年4月	ケースワーク論						
兼任	准教授	オオishi ミサキ 大石 剛史 (40)	平成28年4月	ボランティア論						
兼任	准教授	オオishi ミサキ 大石 剛史 -(40)-	平成28年4月	ボランティアコーディネート論	兼任	准教授	井上 善行 (41)	平成28年4月	ボランティアコーディネート論	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	准教授	オカムラ セリナ 岡村 世里奈 (45)	平成28年4月	医療関連法規						
兼任	准教授	オカムラ セリナ 岡村 世里奈 -(45)-	平成28年4月	医療管理学	兼任	准教授	埴岡 健一 (56)	平成28年4月	医療管理学	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	准教授	オノデンジツヨシ 金子 純一郎 -(46)-	平成28年4月	健康科学理論	兼任	教授	西田 裕介 (40)	平成28年4月	健康科学理論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	准教授	オノデンジツヨシ 金子 純一郎 -(46)-	平成28年4月	大問と表	兼任	教授	門脇 弘子 (68)	平成28年4月	食と人間	科目名は誤植による修正と就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	准教授	オノデンジツヨシ 齋藤 恵一 (57)	平成28年4月	医療情報学概論						
				電子カルテによるチーム医療概論						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	フナタニ チエ 藤田 智恵 (48)	平成28年4月	英語A-1 (講読基礎)	兼任	講師	Cosmin Florescu (35)	平成28年4月	英語A-1 (講読基礎)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				英語A-2 (講読応用)					英語A-2 (講読応用)	
				上級英語文献講読	兼任	講師	佐藤 寛子 (44)	平成28年4月	上級英語文献講読	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
					兼任	講師	Cosmin Florescu (35)			
兼任	准教授	フナタニ チエ 藤田 智恵 (48)	平成28年4月	上級英語会話1(発展)	兼任	講師	師岡 ビアンスル・イーズ (59)	平成28年4月	上級英語会話1(発展)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				上級英語会話2(総合)					上級英語会話2(総合)	
兼任	准教授	フナタニ チエ 藤田 智恵 (48)	平成28年4月	英語C-1 (英会話初級)						
				英語C-2 (英会話中級)						
兼任	准教授	チン キアム 陳 震尊 (50)	平成28年4月	中国語入門(会話含む)	兼任	講師	張 佳恵 (50)	平成28年4月	中国語入門(会話含む)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				中国語応用(会話含む)					中国語応用(会話含む)	
兼任	准教授	フナタニ コスモ 福井 謙 (44)	平成28年4月	歴史学	兼任	講師	町田 明広 (54)	平成28年4月	歴史学	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	准教授	フナタニ コスモ 福井 謙 (44)	平成28年4月	日本近現代史						
兼任	准教授	フナタニ コスモ 福井 謙 (44)	平成28年4月	韓国語入門(会話含む)	兼任	講師	崔 誠姫 (50)	平成28年4月	韓国語入門(会話含む)	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
				韓国語応用(会話含む)					韓国語応用(会話含む)	
兼任	准教授	モリヤマ マスミ 森山 ますみ (52)	平成28年4月	世界の中の和文化						
兼任	准教授	ヤコウ カオリ 矢郷 香 (55)	平成29年4月	臨床歯科医学						
				口腔外科学						
兼任	講師	イデナ リサ 井原 穂一郎 (38)	平成28年4月	化学	兼任	准教授	清宮 正徳 (52)	平成28年4月	化学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	イナノ マホ 稲野 真穂 (39)	平成28年4月	文化人類学	兼任	准教授	加藤 尚子 (52)	平成28年4月	文化人類学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	ミナトニ ナホ 岡村 直利 (46)	平成28年4月	物理学	兼任	教授	宮嶋 宏行 (46)	平成28年4月	物理学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	サトウ 寛子 佐藤 寛子 (44)	平成28年4月	英語A-3 (講読中級1)						
				英語A-4 (講読中級2)						
				資格英語1 (Primary)						
				資格英語2 (Basic)						
				フランス語入門(会話含む)						
				フランス語応用(会話含む)						
兼任	講師	エダノ ナホ 江田 拓也 (37)	平成28年4月	情報処理Ⅰ (初歩)	兼任	教授	稲垣 誠一 (60)	平成28年4月	情報処理Ⅰ (初歩)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				情報処理Ⅱ (基礎)	兼任	教授	宮嶋 宏行 (46)	平成28年4月	情報処理Ⅱ (基礎)	
				情報処理Ⅲ (応用)	兼任	教授	宮嶋 宏行 (46)	平成28年4月	情報処理Ⅲ (応用)	
兼任	講師	テラタ ヨシタカ 寺田 佳孝 (33)	平成28年4月	教育学						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	助教	村井 一尚 大塚 一尚 (36)	平成28年4月	心理学	兼任	講師	矢口 大雄 (31)	平成28年4月	心理学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	専任教員	小川 美香 小川 美香 (34)	平成28年4月	日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-C(発表・討論) 医療福祉専門漢字	兼任	講師	小川 美香 (39)	平成28年4月	日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-C(発表・討論) 医療福祉専門漢字	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	専任教員	茅野 正雄 標井 留美 (29)	平成28年4月	日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門語彙	兼任	准教授	茅野 正雄 (60)	平成28年4月	日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門語彙	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	梅井 正義 青木 清 (78)	平成28年4月	生命倫理	兼任	教授	梅井 正義 (68)	平成28年4月	生命倫理	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	海老原 邦雄 海老原 邦雄 (69)	平成28年4月	防災と生活デザイン	兼任	講師	梶 秀樹 (75)	平成28年4月	防災と生活デザイン	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	村ノ 敏明 大野 敏明 (64)	平成28年4月	アジア諸国の経済・社会・文化 国際関係論	兼任	教授	高須賀 茂文 (57)	平成28年4月	アジア諸国の経済・社会・文化 国際関係論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	秋原 北風 大場 建治 (84)	平成28年4月	文学	兼任	講師	秋原 北風 (53)	平成28年4月	文学論	科目名は誤植による修正と就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	村ノ ケン 岡野 賢二 (49)	平成28年4月	ビルマ語入門(会話含む) ビルマ語応用(会話含む)						
兼任	講師	川上 和久 押小路 忠昭 (55)	平成28年4月	社会学(人間と社会)	兼任	教授	川上 和久 (58)	平成28年4月	社会学(人間と社会)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	佐藤 里野 佐藤 里野 (25)	平成28年4月	演劇論	兼任	講師	秋原 北風 (53)	平成28年4月	演劇論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	シス エリ 清水 英里 (44)	平成28年4月	ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)						
兼任	講師	伊東 達也 須藤 正彦 (73)	平成28年4月	法学 法と道徳・倫理	兼任	講師	伊東 達也 (52)	平成28年4月	法学 法と道徳・倫理	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	スミサ ウィッタパニヤノン Sumisa Wittayapanyanon (46)	平成28年4月	タイ語入門(会話含む) タイ語応用(会話含む)						
兼任	講師	高山 昇 高山 昇 (52)	平成28年4月	パフォーマンス表現論						
兼任	講師	谷 千春 谷 千春 (55)	平成28年4月	手話入門						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	トマフ キンセイ 時田 正樹 (64)	平成28年4月	郷土論	兼任	教授	川上和久 (58)	平成28年4月	郷土論	就任辞退に伴う教員の変更と、専門性の深化を図り、地方自治体および地域と連携する科目としてオムニバス化 (28)
兼任	講師	トマフ キンセイ 戸松 義晴 (62)	平成28年4月	宗教学						
				死生学-死を通して生を考える						
兼任	講師	ベッブ ミチコ 別府 美知子 (56)	平成28年4月	メディカルマナー入門						
兼任	講師	ハッゲンラース フランク ヴィルヘルム アヒム Bauer-Lars Frank Wilhelm Achim (27)	平成28年4月	ドイツ語入門(会話含む)						
				ドイツ語応用(会話含む)						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AG教員審査)を受けてください。AG教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
4	3	1	2	10	4	1	0	2	7	4	3	1	4	12
(4)	(1)	(0)	(2)	(7)						[0]	[0]	[0]	[2]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし								
合 計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3)－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合 計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3)－① ・ (3)－② の合計

合 計（A）＋（C）					後任補充状況の集計（B）＋（D）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年7月)	・卒業要件単位数が124単位であるにもかかわらず、全ての履修モデルが124単位を超える単位数で作成されていることから、学生に誤解を生じさせるおそれがある。そのため、人材養成の方針に整合しつつ124単位で卒業する形の履修モデルを新たに作成すること。（言語聴覚学科）	留意事項 各学科124単位で卒業する形の履修モデルを作成し、学生に周知する。（28）	
設 置 時 (27年7月)	・専門基礎科目における選択科目の一部科目において、1から4年次のいずれでも履修を可能としているような、配当年次に幅を持たせた科目があるが、体系的な学修の前提となる学修の順序性が配慮されていない懸念がある。そのため、体系的な学修の観点から選択科目の配当年次の設定について再度検討を行い、必要に応じて配当年次を見直すこと。（言語聴覚学科）	留意事項 「2 授業科目の概要」に記載したとおり、変更対応。（28）	
設 置 時 (27年7月)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。（言語聴覚学科）	留意事項 今回の採用では、カリキュラム等の特性上、定年年齢の教員を採用した。今後、採用する教員については、学部の継続的な発展を踏まえ、原則、完成年度において退職年齢を超えることのない50歳代以下の教員を中心に選考を行っている。（28）	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<成田保健医療学部 作業療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 124単位 必修科目98単位、選択科目26単位 ② 施設・設備 a 講義室4室(427.80㎡) 言語聴覚学科専用 b 自習室6室(1,665.78㎡) 成田看護学部・成田保健医療学部共通 c 図書 設置時6,400冊、完成時予定16,000冊 成田看護学部・成田保健医療学部共通	① 当初の予定から変更なし ② 当初の予定から変更なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 国際医療福祉大学 成田看護学部・成田保健医療学部 FD委員会 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 毎月第3木曜日開催、委員は各学部学科、所属より選出 c 委員会の審議事項等 FD研修会の企画運営 大学全体のFD研修会との企画調整 ② 実施状況 a 実施内容 ①大学全体でのFD研修会(年2回、9月、3月) ②成田キャンパスにおけるFD研修会(年1回) b 実施方法 ①大学全体でのFD研修会(年2回、9月、3月) 各キャンパスが持ち回りで担当。外部講師を招聘し、ポートフォリオ、IPEなどのテーマで講演会を実施。 ②成田キャンパスにおけるFD研修会(年1回) 年1回の開催に向け、FD委員会にて企画検討中。 c 開催状況(教員の参加状況含む) ①大学全体でのFD研修会(年2回、9月、3月) 専任教員全員参加。 ②成田キャンパスにおけるFD研修会(年1回) 成田キャンパスの専任教員全員参加。	
--	--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施後にアンケート等から各教員へフィードバックする予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

半期の場合は15回目、半期の半分の場合は8回目に授業アンケートを実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員へは集計結果をフィードバック。学生はホームページなどで集計結果を公開予定。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本年4月に開設した、成田看護学部及び成田保健医療学部は、千葉県をはじめ南関東地域の保健・医療・福祉に関わる専門職の需要にこたえとともに、国際都市である成田の特徴を生かし、地域・国際社会でグローバルに活躍できる人材の育成を図るために、設置したものである。

本年4月入学の第1期生の募集に当たっては、募集期間が通常の募集に比べ短期間にもかかわらず、成田看護学部が入学定員100人に対し、715人の志願者(志願倍率7.15倍)が、また、成田保健医療学部が入学定員240人に対し、1,234人の志願者(志願倍率5.14倍)があり、最終的には、成田看護学部で108人、成田保健医療学部で261人の入学者を迎えることができ、優秀な人材を確保できたと考えている。

開設に当たっては、大学設置・学校法人審議会で附された留意事項等を踏まえ、可能な範囲で見直しを図ったところである。開設したばかりで、留意事項に対して十分な対応とは言えないが、引き続き改善を図っていきたいと考えている。

まだ、開設したばかりであり、今後設置計画や留意事項を着実に履行するとともに、実習体制や施設、設備等の充実を図り、保健・医療・福祉分野における、優れた人材を養成していききたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成28年度中に実施し、平成29年度5月に公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度を予定。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年 5月 31日 頃)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人国際医療福祉大学

(2) 大 学 名

国際医療福祉大学

(3) 大学の位置

〒286-8686

千葉県成田市公津の杜4丁目3番

(本部：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600番1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学 長	(キタジマ マサキ) 北島 政樹 (平成21年7月)	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月)	任期満了に伴う変更(28)
学 部 長	(スギハラ モトコ) 杉原 素子 (平成28年4月)		
学科長等	(オオサワ ススム) 大澤 進 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
成田保健医療学部 医学検査学科 学士(医学検査学)	4年	80人	— 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 80 (-) [-]	人	人	人	人	人	人	人	1.07倍	
志願者数	499 (-) [1]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	495 (-) [1]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	141 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	86 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.07									

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5)－③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[0] (-) 86	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次							[] ()	[] ()	
計							[] (-) 86	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	86 人	0 人	平成25年度	人	人		0 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	86 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜成田看護学部 医学検査学科＞

(1) 授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
				必修 修	選択 択	自由 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合 教育	人間 系	文学論	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任秋原北胤に変更(28)
		演劇論	1 2 3 4 前		1							兼 1	就任辞退に伴い兼任秋原北胤に変更(28)
		パフォーマンス表現論	1 2 3 4 前		2							兼 1	
		心理学	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任矢口大雄に変更(28)
		哲学	1 2 3 4 前		2							兼 1	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任山川誠司に変更(28)
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	未開講 1 2 3 4 前		2							兼 1	履修希望者がいなかったため(28)
		人間学	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任鹿島晴雄に変更(28)
		歴史学	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任町田明広に変更(28)
		倫理学	1 2 3 4 後		2							兼 1	
		宗教学	1 2 3 4 後		2							兼 1	
		日本近現代史	1 2 3 4 後		2							兼 1	
		文化人類学	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任加藤尚子に変更(28)
	教育学	1 2 3 4 後		2							兼 1		
	死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4 前		2							兼 1		
	社会 系	法学	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任伊東達也に変更(28)
		法と道徳・倫理	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任伊東達也に変更(28)
		医療関連法規	1 2 3 4 前		2							兼 1	
		社会保障制度論	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任金野充博に変更(28)
		経済の仕組み	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任塩岡健一に変更(28)
		経済の歴史	1 2 3 4 前後		2							兼 1	教育効果を考慮し、開講期を変更(28)
		世界の経済	1 2 3 4 前後		2							兼 1	教育効果を考慮し、開講期を変更(28)
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任高須賀茂文に変更(28)
		世界の中の和文文化	1 2 3 4 前		1							兼 1	専門性の深化を図り、各回の講義テーマに基づく専門化によるオムニバス化(28)
		世界遺産と国際文化政策	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任佐藤麻禎一に変更(28)
		経営の仕組み	1 2 3 4 前		2							兼 1	
		組織運営管理論	1 2 3 4 前		2							兼 1	教育効果を考慮し兼任羽田明浩に変更(28)
		社会学(人間と社会)	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任川上和久に変更(28)
		マスメディア論	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任川上和久に変更(28)
		新聞でみた日本と世界	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任川上和久に変更(28)
		国際関係論	1 2 3 4 前後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任高須賀茂文に変更、教育効果に配慮し開講期を変更(28)
		国際医療福祉論	1 2 3 4 前		2							兼 1	
		海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	未開講 1 2 3 4 前	1			1					兼 1	履修希望者がいなかったため(28)
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	未開講 1 2 3 4 前	1								兼 6	履修希望者がいなかったため(28)
		ボランティア論	1 2 3 4 後		2							兼 1	
		ボランティアコーディネート論	未開講 1 2 3 4 前		2							兼 1	履修希望者がいなかったため(28)
	手話入門	未開講 1 2 3 4 前		2							兼 1	履修希望者がいなかったため(28)	
	防災と生活デザイン	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任梶秀樹に変更(28)	
	自然・ 情報 系	統計学	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任稲垣誠一に変更(28)
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任稲垣誠一に変更(28)
		数学	1 2 3 4 前		2							兼 1	
		物理学	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更(28)
		化学	1 2 3 4 前	2								兼 1	就任辞退に伴い兼任清宮正徳に変更(28)
		生物学	1 2 3 4 前		2								
		情報処理Ⅰ(初歩)	1 2 3 4 前		1		1					兼 1	就任辞退に伴い兼任稲垣誠一に変更(28)
		情報処理Ⅱ(基礎)	1 2 3 4 前		1							兼 1	就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更(28)
		情報処理Ⅲ(応用)	1 2 3 4 後		1							兼 1	就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更(28)
		生命倫理	1 2 3 4 前		2							兼 1	就任辞退に伴い専任樽井正義に変更(28)
		医学/医療史	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更(28)
		人間工学	1 2 3 4 後		2							兼 1	就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更(28)
		総合 系	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1 2 3 4 前	1								兼 2
	大学入門講座Ⅱ(展開)		1 2 3 4 前		1							兼 2	
	郷土論		1 2 3 4 前		1							兼 1	専門性の深化を図り、地方自治体および地域と連携しオムニバス化(28)
	医療福祉教養講義		1 2 3 4 後		1							兼 1	
	メディカルマナー入門		1 2 3 4 後		2							兼 1	
	食と人間		1 2 3 4 後		1							兼 1	就任辞退に伴い兼任門脇弘子に変更(28)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	手	
総合教育（つづき）	外国語系	英語A-1(講読基礎)	1	前	1						兼 1 就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更(28)
		英語A-2(講読応用)	1	後	1						兼 1 就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更(28)
		英語B-1(視聴覚英語基礎)	1	前	1						兼 1 教育効果を考慮し少人数教育を実践するため、担当教員を追加(28)
		英語B-2(視聴覚英語応用)	1	後	1						兼 1 教育効果を考慮し少人数教育を実践するため、担当教員を追加(28)
		英語A-3(講読中級1)	2 3 4	前	1						兼 1
		英語A-4(講読中級2)	2 3 4	後	1						兼 1
		英語C-1(英会話初級)	2 3 4	前	1						兼 1
		英語C-2(英会話中級)	2 3 4	後	1						兼 1
		英語ライティング1(Primary)	1 2 3 4	前	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当中泰郎に変更(28)
		英語ライティング2(Basic)	1 2 3 4	後	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当中泰郎に変更(28)
		国際医療通訳入門	1 2 3 4	前	1	1					兼 1
		資格英語1(Primary)	1 2 3 4	前	1						兼 1
		資格英語2(Basic)	1 2 3 4	後	1						兼 1
		基礎英文法1(Primary)	1 2 3 4	前	1						兼 1 就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更(28)
		基礎英文法2(Basic)	1 2 3 4	後	1						兼 1 就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更(28)
		上級英語文献講読	1 2 3 4	前	1						兼 1 効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加(28)
		上級英語会話1(発展)	1 2 3 4	前	1						兼 1 就任辞退に伴い兼任師岡ビビアンルーズに変更(28)
		上級英語会話2(総合)	1 2 3 4	後	1						兼 1 就任辞退に伴い兼任師岡ビビアンルーズに変更(28)
		ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4	前	1						兼 1
		ドイツ語応用(会話含む)	1 2 3 4	後	1						兼 1
		中国語入門(会話含む)	1 2 3 4	前	1						兼 1 就任辞退に伴い兼任張佳恵に変更(28)
		中国語応用(会話含む)	1 2 3 4	後	1						兼 1 就任辞退に伴い兼任張佳恵に変更(28)
		韓国語入門(会話含む)	1 2 3 4	前	1						兼 1 就任辞退に伴い兼任崔誠姫に変更(28)
		韓国語応用(会話含む)	1 2 3 4	後	1						兼 1 就任辞退に伴い兼任崔誠姫に変更(28)
		フランス語入門(会話含む)	1 2 3 4	前	1						兼 1
		フランス語応用(会話含む)	1 2 3 4	後	1						兼 1
		スペイン語入門(会話含む)	1 2 3 4	前	1						兼 1 教育効果を考慮しネイティブスピーカーである兼任Silvia Antoniaに変更(28)
		スペイン語応用(会話含む)	1 2 3 4	後	1						兼 1 教育効果を考慮しネイティブスピーカーである兼任Silvia Antoniaに変更(28)
		タイ語入門(会話含む)	1 2 3 4	前	1						兼 1
		タイ語応用(会話含む)	1 2 3 4	後	1						兼 1
		ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3 4	前	1						兼 1
		ベトナム語応用(会話含む)	1 2 3 4	後	1						兼 1
		ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3 4	前	1						兼 1
		ビルマ語応用(会話含む)	1 2 3 4	後	1						兼 1
	留学生の日本語科目	日本語Ⅰ-A(作文)	1 2 3 4	前	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更(28)
		日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1 2 3 4	前	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更(28)
		日本語Ⅱ-A(作文)	1 2 3 4	後	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更(28)
		日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1 2 3 4	後	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更(28)
		日本語Ⅱ-C(発表討論)	1 2 3 4	前	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更(28)
		日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1 2 3 4	前	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更(28)
		日本語Ⅲ-A(作文)	1 2 3 4	後	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更(28)
		日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1 2 3 4	後	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更(28)
		日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1 2 3 4	前	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更(28)
		日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1 2 3 4	前	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更(28)
	体育健康系	医療福祉専門漢字	1 2 3 4	後	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更(28)
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4	後	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当茅野正雄、小川美香に変更(28)
	専門教育	健康科学理論	1 2 3 4	前	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当西田裕介に変更(28)
			1 2 3 4	前	1						兼 1
		公衆衛生学	2	後	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当小川俊夫に変更(28)
		救急医学	1 2 3 4	前	1	1					兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		感染と免疫	1 2 3 4	後	2						兼 1 就任辞退に伴い兼担当林琢磨に変更、教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		リハビリテーション概論	1 2 3 4	前	2						兼 1 教育効果を考慮し、兼担当原素子に変更、教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		関連職種連携論	2	後	2	1					兼 4
		ケアマネジメント論	1 2 3 4	前	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当井上善行に変更、教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		ケースワーク論	1 2 3 4	後	1						兼 1 就任辞退に伴い兼担当井上善行に変更、教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		医療管理学	未開講 1-2-3-4-前		2						兼 1 履修希望者がいなかったため(28)
		保健医療福祉制度論	1	後	2						兼 1 教育効果を考慮し兼担当金野充博に変更(28)
		社会福祉学	1 2 3 4	前	2						兼 1 就任辞退に伴い兼担当井上善行に変更、教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		臨床心理学概論	1 2 3 4	前	2						兼 1 就任辞退に伴い兼担当山川誠司に変更、教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		医療情報学概論	2 3 4	後	2						兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		福祉支援工学概論	1 2 3 4	前	2						兼 1 就任辞退に伴い兼担当中村美緒に変更、教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		関連職種連携ワーク	3	前	1	1					兼 4
		関連職種連携実習	4	前	1	1					兼 4
		リスクマネジメント論	2 3 4	後	2						兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		電子カルテによるチーム医療概論	2 3 4	後	2						兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	2 3 4	前	1						兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		レクリエーション概論	2 3 4	後	1						兼 1 教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		災害保健学	1 2 3 4	前	1	1					兼 3 教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		予防保健学	1 2 3 4	前	1		1				兼 3 教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		国際医療保健学	1 2 3 4	前後	1		1				兼 3 教育効果を考慮し、配当年次、開講期を変更(28)
		異文化体験実習	1 2 3 4	後	1	1					兼 3 教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
		解剖学	1	前	2						兼 1
		肉眼解剖学実習	1	後	1						兼 1
		生理学	1	前	2						兼 1
		病理学	1	後	2						兼 1

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 (つづき)	専門 基礎 (つづき)	臨床医学概論	2 前	1			1						
		内科学	1 後	1			1						
		臨床神経学	1 2 3 後		1							兼	1
		精神医学	1 2 3 後		1							兼	1
		リハビリテーション医学	1 2 3 後		1							兼	1
		小児科学	1 2 3 後		1							兼	1
		老年学	1 2 3 前		1							兼	1
		薬理学	1 後	1								兼	1
		栄養学	1 2 3 前		1							兼	1
		遺伝学	1 前	1								兼	1
		微生物学	1 前		2							兼	1
		分析化学	1 前		2			1					
		生化学	1 前		2			1					
		生化学実習	1 後		1					1			
		医用工学・情報概論	1 前		2							兼	2
		医用工学・情報実習	1 後		1							兼	2
専門 教育	専門	病理検査学Ⅰ(総論)	2 前	2				1					
		病理検査学Ⅱ(各論)	2 後	2				1					
		病理検査学実習Ⅰ(基礎)	3 前	1				1					
		病理検査学実習Ⅱ(応用)	3 後	1				1					
		細胞診断検査学	2 前	2					1				
		細胞診断検査学実習	2 後	1					1				
		血液検査学Ⅰ(総論)	2 前	2					1				
		血液検査学Ⅱ(各論)	2 後	2					1				
		血液検査学実習Ⅰ(基礎)	3 前	1					1				
		血液検査学実習Ⅱ(応用)	3 前	1					1				
		一般検査学Ⅰ(総論)	1 前	2						1			
		一般検査学Ⅱ(各論)	1 後	2					1				
		一般検査学実習	2 前	1						1			
		臨床化学検査学Ⅰ(総論)	2 前	2			1						
		臨床化学検査学Ⅱ(各論)	2 後	2			1						
		臨床化学検査学実習Ⅰ(基礎)	3 後	1			1						
		臨床化学検査学実習Ⅱ(応用)	3 後	1			1						
		遺伝子検査学	1 前	2					1				
		遺伝子検査学実習	2 後	1					1				
		遺伝子工学	1 2 3 前		1				1				
		放射性同位元素検査技術学	1 前	1					1				
		放射性同位元素検査技術学実習	2 前	1					1				
		微生物検査学Ⅰ(総論)	2 前	2			1						
		微生物検査学Ⅱ(各論)	2 後	2			1						
		微生物検査学実習Ⅰ(基礎)	3 後	1			1						
		微生物検査学実習Ⅱ(応用)	3 後	1			1						
		医動物検査学	1 前	2				1					
		医動物検査学実習	2 前	1				1					
		免疫検査学Ⅰ(総論)	2 前	2			1						
		免疫検査学Ⅱ(各論)	2 後	2			1						
		免疫検査学実習Ⅰ(基礎)	2 後	1			1						
		免疫検査学実習Ⅱ(応用)	3 前	1			1						
		輸血・移植検査学	3 前	1			1						
		輸血・移植検査学実習	3 後	1					1				
		生理検査学Ⅰ(総論)	2 前	2					1				
		生理検査学Ⅱ(各論)	2 後	2				1					
		生理検査学実習Ⅰ(基礎)	2 後	1					1				
		生理検査学実習Ⅱ(応用)	3 前	1				1					
		超音波検査学	3 前	2				1					
		超音波検査学実習	3 後	1				1					
		臨床検査管理総論	1 前	2				1					
		精度管理学	3 後	1			1						
		検査機器・医用機器学総論	2 前	2				1					
		検査情報システム学	3 後	1			1						
		臨床診断学	3 後	1			1						
		臨床検査技術開発論	3 4 後		1		1						
		国際臨床検査学	3 4 前		1			1					
		先端臨床検査学	3 4 後		1			1					
		臨床検査統計学	3 前	1			1						
		国際保健学	1 後		1			1					
		医療安全管理学	4 前	1			1						
		臨床検査技術開発論演習	3 4 後		1		1						
		臨床検査特論	4 前	1			1						
		臨地実習	4 前	7			3	4	4	1			
		卒業研究	4 後		4		3	4	4	1			
		国際医療保健学演習	2 3 後		1			1					
		国際医療保健学実習	3 4 後		1			1					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
73	131	0	204	73	131	0	204	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	※大学全体 成田キャンパス（医学部）校地を無償借用のため増加(28) 小田原保健医療学部と小田原市とで土地の等価交換を行い、18㎡減少(H28)			
	校 舎 敷 地	262,852㎡ 194,962㎡	0㎡	0㎡	262,852㎡ 194,962㎡				
	運動場用地	88,807㎡ 83,147㎡	0㎡	0㎡	88,807㎡ 83,147㎡				
	小 計	351,659㎡ 283,796㎡	0㎡	0㎡	351,659㎡ 283,796㎡				
	そ の 他	372,772㎡ 372,790㎡	0㎡	0㎡	372,772㎡ 372,790㎡				
	合 計	724,431㎡ 656,559㎡	0㎡	0㎡	724,431㎡ 656,559㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		143,615㎡ (143,615㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	143,615㎡ (143,615㎡)				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		176室	60室	216室	18室 (補助職員 4人)	6室 (補助職員 0人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		成田保健医療学部 医学検査学科			12 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	成田保健医療学部共通	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					
		冊	種	〔うち外国書〕					
	成田保健医療学部	11,000 [1,540] 6,501 [264] (4,400 [616])	64 [20] 156 [0] (52 [16])	3,336 [2,205] 4,115 [2,892] (3,176 [2,085])	196 136 (44)	6,500 2,478(5200)	590 113(334)		
計	20,000 [2,800] 12,986 [313] (8,000 [1,120])	160 [48] 296 [0] (130 [39])	3,336 [2,205] 4,115 [2,892] (3,176 [2,085])	980 370 (220)	8,500 5,414(6800)	610 395(350)			
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		7,087.11㎡		1,613席		299,400冊			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		5,715.34㎡		弓道場		テニスコート			
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	朱書修正金額は5学科 合計(H28)
		教員1人当たり研究費等	400千円	400千円	図書購入費	44,000千円 477	32,000千円 87,750	16,000千円	
		共 同 研 究 費 等	1,500千円	3,000千円	設備購入費	373,480千円 153,900	459,800千円 900,000	18,500千円	
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,550千円	1,450千円	1,450千円	1,450千円	一 千円	一 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資金運用収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	国際医療福祉大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
保健医療学部	年	人	年次 人	人		倍			
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.18 1.19	平成7年度	栃木県大田原市北 金丸2600番1	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.20	平成7年度	同上	
作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法学)	1.20	平成7年度	同上	
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴覚学)	1.14	平成7年度	同上	
視機能療法学科	4	40	-	160	学士 (視機能療法学)	1.19	平成14年度	同上	
放射線・情報科学科	4	100	-	400	学士 (放射線・情報科学)	1.19	平成7年度	同上	
医療福祉学部						1.08			
医療福祉・マネジメント 学科	4	160	-	640	学士 (医療福祉学) 学士 (医療マネジメント学)	1.09	平成9年度	同上	
薬学部						1.08			
薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)	1.08	平成18年度	同上	
小田原保健医療学部						1.18			
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.13	平成18年度	神奈川県小田原市 城山一丁目2番25号	
理学療法学科	4	40	-	160	学士 (理学療法学)	1.19	平成18年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.24	平成18年度	同上	
福岡看護学部						1.21			
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.21	平成20年度	福岡市早良区 百道浜1-7-4	
福岡保健医療学部						1.18			
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.18	平成17年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.19	平成17年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	1.16	平成19年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.19	平成25年度	同上	
成田看護学部						1.08			
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.08	平成28年度	千葉県成田市 公津の杜4丁目3番	
成田保健医療学部						1.08			
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.15	平成28年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.07	平成28年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	1.00	平成28年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.07	平成28年度	同上	

医療福祉学研究科						1.31			
修士課程保健医療学専攻	2	100	-	200	修士 (保健医療学) 修士 (看護学) 修士 (助産学) 修士 (言語聴覚学) 修士 (生殖補助医療学) 修士 (医療福祉教育・管理学) 修士 (臨床検査学)	1.59	平成11年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
修士課程医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉学) 修士 (診療情報管理学) 修士 (医療ビジネス経営学) 修士 (医療福祉管理学) 修士 (介護福祉・ケアマネジメント学) 修士 (医療福祉ジャーナリズム学)	0.92	平成13年度	同上	
修士課程臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理学)	1.00	平成19年度	同上	
博士課程保健医療学専攻	3	50	-	150	博士 (保健医療学) 博士 (看護学) 博士 (助産学) 博士 (言語聴覚学) 博士 (生殖補助医療学) 博士 (臨床検査学) 博士 (医療福祉経営学) 博士 (医療福祉学) 博士 (診療情報管理学) 博士 (介護福祉・ケアマネジメント学) 博士 (臨床心理学) 博士 (医療福祉ジャーナリズム学)	1.38	平成13年度	同上	
薬科学研究科						0.20			
修士課程生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.20	平成22年度	同上	
薬学研究科						1.20			
博士課程医療・生命薬学専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	1.20	平成24年度	同上	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。

- ・ A C対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<成田保健医療学部 医学検査学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	学科長 教授	オオザワ ススム 大澤 進 (68)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）						
				関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
				臨床化学検査Ⅰ（総論）						
				臨床化学検査Ⅱ（各論）						
				臨床化学検査実習Ⅰ（基礎）						
				臨床化学検査実習Ⅱ（応用）						
				精度管理学						
				検査情報システム学						
				臨床検査技術開発論						
				臨床検査統計学						
				医療安全管理学						
				臨床検査技術開発論演習						
				臨床検査特論						
				臨地実習						
				卒業研究						
専	教授	カワイ ヨウコ 川合 陽子 (67)	平成28年4月	臨床医学概論						
				内科学						
				臨床診断学						
専	教授	ナガシマ ミツキ 長沢 光章 (58)	平成28年4月	微生物検査Ⅰ（総論）						
				災害保健学						
				微生物検査Ⅱ（各論）						
				微生物検査実習Ⅰ（基礎）						
				微生物検査実習Ⅱ（応用）						
				臨地実習						
				卒業研究						
専	教授	ハヤシ タケオ 林 琢磨 (51)	平成28年4月	生物学						
				国際医療通訳入門						
				免疫検査Ⅰ（総論）						
				異文化体験実習						
				免疫検査Ⅱ（各論）						
				免疫検査実習Ⅰ（基礎）						
				免疫検査実習Ⅱ（応用）						
				輸血・移植検査学						
				臨地実習						
				卒業研究						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	クメミヤ トシフミ 梅宮 敏文 (61)	平成28年4月	病理検査学Ⅰ（総論）						
				病理検査学Ⅱ（各論）						
				病理検査学実習Ⅰ（基礎）						
				病理検査学実習Ⅱ（応用）						
				臨地実習						
				卒業研究						
専	准教授	カトウ ヨシコ 工藤 芳子 (53)	平成28年4月	医動物検査学						
				医動物検査学実習						
				国際臨床検査学						
				国際保健学						
				国際医療保健学演習						
				国際医療保健学実習						
				予防保健学						
				国際医療保健学						
				臨地実習						
				卒業研究						
専	准教授	セイメイ マサノ 清宮 正徳 (52)	平成28年4月	分析化学						
				生化学						
				臨床検査管理総論						
				検査機器・医用機器学総論						
				先端臨床検査学						
				臨地実習						
				卒業研究						
専	准教授	トウダ エイイチ 達田 栄一 (65)	平成28年4月	生理検査学Ⅱ（各論）						
				生理検査学実習Ⅱ（応用）						
				超音波検査学						
				超音波検査学実習						
				臨地実習						
				卒業研究						
専	講師	イケダ カツヒデ 池田 勝秀 (39)	平成28年4月	細胞診断検査学						
				細胞診断検査学実習						
				一般検査学Ⅱ（各論）						
				臨地実習						
				卒業研究						
専	講師	キムラ アサコ 木村 明佐子 (40)	平成28年4月	血液検査学Ⅰ（総論）						
				血液検査学Ⅱ（各論）						
				血液検査学実習Ⅰ（基礎）						
				血液検査学実習Ⅱ（応用）						
				輸血・移植検査学実習						
				臨地実習						
				卒業研究						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	ヤマダチ ヨシタカ 山口 良孝 (46)	平成28年4月	遺伝子検査学						
				遺伝子検査学実習						
				遺伝子工学						
				放射性同位元素検査技術学						
				放射性同位元素検査技術学実習						
				臨地実習						
				卒業研究						
専	講師	ササキ マサユキ 山崎 正一 (36)	平成28年4月	生理検査学Ⅰ（総論）	専任	准教授	ササキ マサユキ 佐藤 正一 (57)	平成29年4月	生理検査学Ⅰ（総論）	就任辞退に伴う教員の変更（28）
				生理検査学実習Ⅰ（基礎）					生理検査学実習Ⅰ（基礎）	
				臨地実習					臨地実習	
				卒業研究					卒業研究	
専	助教	カワノ ミキ 河野 弥季 (32)	平成28年4月	一般検査学Ⅰ（総論）						
				生化学実習						
				一般検査学実習						
				臨地実習						
				卒業研究						
兼任	教授	カワノ マコト 河野 真 (49)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）						
				異文化体験実習						
				国際医療保健学						
兼任	教授	カワノ トシオ 河野 寿夫 (68)	平成28年4月	小児科学						
兼任	教授	コベシ ヒロユキ 小堀 浩幸 (61)	平成28年4月	生理学	兼任	講師	林 真理子 (47)	平成28年4月	生理学	教育内容からより適切な教員へ変更 (28)
兼任	教授	コベシ ヒロユキ 小堀 浩幸 (51)	平成28年4月	薬理学						
兼任	教授	シロマ マサエ 城間 将江 (63)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）						
				関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
兼任	教授	スギハラ ミトコ 杉原 素子 (73)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）						
				大学入門講座Ⅰ（基礎）						
				大学入門講座Ⅱ（展開）						
				関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
兼任	教授	スズキ エイコ 須藤 英一 (54)	平成28年4月	老年学						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	ニシキ 雅行 (61)	平成28年4月	医用工学・情報概論 医用工学・情報実習	兼任	准教授	佐藤 正一 (57)	平成28年4月	医用工学・情報概論 医用工学・情報実習	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	ニシダ ユウスケ 西田 裕介 (40)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ (実習)						
				関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
				レクリエーション概論						
兼任	教授	リハラ ユウスケ 栗原 祐佐 (41)	平成28年4月	リハビリテーション概論	兼任	教授	杉原 素子 (72)	平成28年4月	リハビリテーション概論	教育内容からより適切な教員へ変更 (28)
兼任	教授	ハラタ ヒロミ 原田 浩美 (52)	平成28年4月	災害保健学						
				国際医療保健学						
				予防保健学						
				異文化体験実習						
兼任	教授	ミヤケ カツ 三宅 克也 (52)	平成28年4月	解剖学						
				肉眼解剖学実習						
兼任	教授	ミヤタ テツロウ 宮田 哲郎 (61)	平成28年4月	救急医学						
兼任	教授	モリ イチロウ 森 一郎 (64)	平成28年4月	病理学						
兼任	准教授	イトナス マサヒ 糸数 昌史 (38)	平成28年4月	予防保健学						
兼任	准教授	サカギ 静枝 小山田 静枝 (49)	平成28年4月	精神医学	兼任	教授	古城 慶子 (○)	平成28年4月	精神医学	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
				人間学	兼任	教授	鹿島 晴雄 (70)	平成28年4月	人間学	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	准教授	オノ ショウコ 金子 松玉 (54)	平成28年4月	栄養学	兼任	教授	門脇 弘子 (68)	平成28年4月	栄養学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				食と人間					食と人間	
兼任	講師	エン ジュンイチロウ 園 純一郎 (47)	平成28年4月	予防保健学						
兼任	講師	シムラ ケイタ 志村 圭太 (33)	平成28年4月	国際医療保健学						
兼任	講師	スズキ ジュンコ 鈴木 純子 (46)	平成28年4月	臨床神経学						
				遺伝学						
兼任	講師	ミラ ハツカ 三浦 和 (36)	平成28年4月	災害保健学						
兼任	講師	ミヤシ タカユキ 宮森 隆行 (41)	平成28年4月	健康科学実践						
兼任	助教	イシイ キヨシ 石井 清志 (35)	平成28年4月	災害保健学						
兼任	助教	サリ リョウイチ 澤 龍一 (28)	平成28年4月	異文化体験実習						

5 教員組織の状況

< 共 通 >

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	フジタ トシユキ 藤田 俊幸 (63)	平成28年4月	統計学 疫学・保健医療統計学	兼任	教授	稲垣 誠一 (60)	平成28年4月	統計学 疫学・保健医療統計学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	アミノ タカヒロ 天野 隆弘 (72)	平成28年4月	医学/医療史	兼任	教授	黒澤 和生 (58)	平成28年4月	医学/医療史	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	アミノ タカヒロ 天野 隆弘 (72)		エビデンスベースドプラクティス (研究と文献)						
兼任	教授	カハタ マチ子 小川 正子 (64)	平成28年4月	スペイン語入門 (会話含む) スペイン語応用 (会話含む)	兼任	講師	Silvia Antonia (53)	平成28年4月	スペイン語入門 (会話含む) スペイン語応用 (会話含む)	専門性を考慮し、ネイティブスピーカーの非常勤教員に変更 (28)
兼任	教授	カミガキ ケンジ 亀口 憲治 (68)	平成28年4月	コミュニケーション概論 臨床心理学概論	兼任	助教	山川 誠司 (52)	平成28年4月	コミュニケーション概論 臨床心理学概論	教育内容からより適切な教員へ変更 (28)
兼任	教授	カミガキ ケンジ 亀口 憲治 (68)		雑談と傾聴-話す力と聴く力-						
兼任	教授	カネコ ヒロユキ 菊池 哲郎 (68)	平成28年4月	経済の仕組み 世界遺産と国際文化政策	兼任	教授	埴岡 健一 (56)	平成28年4月	経済の仕組み	教育内容からより適切な教員へ変更 (28)
兼任	教授	カネコ ヒロユキ 菊池 哲郎 (68)			兼任	教授	佐藤 禎一 (74)	平成28年4月	世界遺産と国際文化政策	
兼任	教授	カネコ ヒロユキ 菊池 哲郎 (68)	平成28年4月	経済の歴史 世界の経済						
兼任	教授	キタムラ ヨシヒロ 北村 義浩 (55)	平成28年4月	国際医療福祉論						
兼任	教授	キタムラ ヨシヒロ 北村 義浩 (55)		公衆衛生学	兼任	准教授	小川 俊夫 (50)	平成28年4月	公衆衛生学	教育内容からより適切な教員へ変更 (28)
兼任	教授	キタムラ ヨシヒロ 北村 義浩 (55)		感染と免疫	兼任	教授	林 琢磨 (51)	平成28年4月	感染と免疫	
兼任	教授	キタムラ ヨシヒロ 北村 義浩 (55)		微生物学	専任	教授	長沢 光章 (58)	平成28年4月	微生物学	
兼任	教授	シマダ ナオキ 島田 直樹 (62)	平成28年4月	数学	兼任	教授	稲垣 誠一 (60)	平成28年4月	数学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	タケノコ アキラ 武原 一裕 (48)	平成28年4月	リハビリテーション医学	兼任	教授	乗松 祐佐 (41)	平成28年4月	リハビリテーション医学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	タケイ マサヨシ 樽井 正義 (68)	平成28年4月	哲学 倫理学						
兼任	教授	チヤエモン ミキ 茶園 美香 (66)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ (実習) 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習						
兼任	教授	フジタ トシユキ 藤田 聡子 (39)	平成28年4月	社会福祉学 ケアマネジメント論	兼任	准教授	井上 善行 (41)	平成28年4月	社会福祉学 ケアマネジメント論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	川上 和久 (58)	平成28年4月	新聞でみた日本と世界	兼任	教授	川上 和久 (58)	平成28年4月	新聞でみた日本と世界	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				マスメディア論					マスメディア論	
				社会保障制度論	兼任	教授	金野 充博 (59)	平成28年4月	社会保障制度論	
兼任	教授	丸山 仁司 (65)	平成28年4月	医療福祉教養講義						
兼任	教授	田中 泰郎 (57)	平成28年4月	英語B-1 (視聴覚英語基礎)	兼任	准教授	田中 泰郎 (57)	平成28年4月	英語B-1 (視聴覚英語基礎)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追 加変更 (28)
				英語B-2 (視聴覚英語応用)	兼任	講師	佐藤 寛子 (44)	平成28年4月	英語B-1 (視聴覚英語基礎)	
				英語ライティング1 (Primary)	兼任	准教授	田中 泰郎 (57)	平成28年4月	英語B-1 (視聴覚英語基礎)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追 加変更 (28)
				英語ライティング2 (Basic)	兼任	講師	佐藤 寛子 (44)	平成28年4月	英語B-1 (視聴覚英語基礎)	
				基礎英文法1 (Primary)	兼任	准教授	田中 泰郎 (57)	平成28年4月	英語ライティング1 (Primary)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				基礎英文法2 (Basic)	兼任	准教授	田中 泰郎 (57)	平成28年4月	英語ライティング2 (Basic)	
				基礎英文法1 (Primary)	兼任	講師	Cosmin Florescu (35)	平成28年4月	基礎英文法1 (Primary)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追 加変更 (28)
				基礎英文法2 (Basic)	兼任	准教授	田中 泰郎 (57)	平成28年4月	基礎英文法2 (Basic)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追 加変更 (28)
					兼任	講師	Cosmin Florescu (35)	平成28年4月	基礎英文法2 (Basic)	
兼任	教授	羽田 明浩 (53)	平成28年4月	経営の仕組み	兼任	准教授	羽田 明浩 (53)	平成28年4月	経営の仕組み	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
				組織運営管理論					組織運営管理論	
				保健医療福祉制度論	兼任	准教授	金野 充博 (59)	平成28年4月	保健医療福祉制度論	
兼任	教授	武藤 正樹 (67)		リスクマネジメント論						
兼任	教授	桃井 眞理子 (68)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅰ (講義)						
兼任	教授	山下 香枝子 (71)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ (実習)						
				大学入門講座Ⅰ (基礎)						
				大学入門講座Ⅱ (展開)						
兼任	教授	山本 澄子 (64)	平成28年4月	福祉支援工学概論	兼任	講師	中村 美緒 (35)	平成28年4月	福祉支援工学概論	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	教授	山本 澄子 (64)		人間工学	兼任	教授	宮嶋 宏行 (46)	平成28年4月	人間工学	
兼任	准教授	井上 善行 (41)	平成28年4月	ケースワーク論						
兼任	准教授	大石 剛史 (40)	平成28年4月	ボランティア論						
				ボランティアコーディネート論	兼任	准教授	井上 善行 (41)	平成28年4月	ボランティアコーディネート論	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	准教授	岡村 世里奈 (45)	平成28年4月	医療関連法規						
				医療管理学	兼任	准教授	埴岡 健一 (56)	平成28年4月	医療管理学	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	准教授	金子 純一郎 (46)	平成28年4月	健康科学理論	兼任	教授	西田 裕介 (40)	平成28年4月	健康科学理論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	サトウ ケイ 齋藤 恵一 (57)	平成28年4月	医療情報学概論						
				電子カルテによるチーム医療概論						
兼任	准教授	サトウ ケイ 齋藤 恵一 (57)	平成28年4月	医用工学・情報概論	兼任	講師	佐藤 正一 (57)	平成28年4月	医用工学・情報概論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				医用工学・情報実習					医用工学・情報実習	
兼任	准教授	サトウ ケ 齋藤 智恵 (48)	平成28年4月	英語A-1 (講読基礎) 英語A-2 (講読応用) 上級英語文献講読	兼任	准教授	田中 泰郎 (57)	平成28年4月	英語A-1 (講読基礎)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追 加変更 (28)
兼任	准教授	サトウ ケ 齋藤 智恵 (48)	平成28年4月		兼任	講師	佐藤 寛子	平成28年4月	英語A-1 (講読基礎)	
兼任	准教授	サトウ ケ 齋藤 智恵 (48)	平成28年4月		兼任	准教授	田中 泰郎 (57)	平成28年4月	英語A-2 (講読応用)	
兼任	准教授	サトウ ケ 齋藤 智恵 (48)	平成28年4月		兼任	講師	佐藤 寛子 (44)	平成28年4月	英語A-2 (講読応用)	
兼任	准教授	サトウ ケ 齋藤 智恵 (48)	平成28年4月		兼任	講師	佐藤 寛子 (44)	平成28年4月	上級英語文献講読	
兼任	准教授	サトウ ケ 齋藤 智恵 (48)	平成28年4月		兼任	講師	Cosmin Florescu (35)	平成28年4月	上級英語文献講読	
兼任	准教授	サトウ ケ 齋藤 智恵 (48)	平成28年4月	上級英語会話1 (発展)	兼任	講師	師岡 ビビアン・イズ (59)	平成28年4月	上級英語会話1 (発展)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				上級英語会話2 (総合)				平成28年4月	上級英語会話2 (総合)	
兼任	准教授	サトウ ケ 齋藤 智恵 (48)	平成28年4月	英語C-1 (英会話初級)						
				英語C-2 (英会話中級)						
兼任	准教授	サトウ ケ 齋藤 智恵 (50)	平成28年4月	中国語入門 (会話含む)	兼任	講師	張 佳恵 (50)	平成28年4月	中国語入門 (会話含む)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
				中国語応用 (会話含む)				平成28年4月	中国語応用 (会話含む)	
兼任	准教授	フカイ マサ 福井 謙 (44)	平成28年4月	歴史学	兼任	講師	町田 明広 (54)	平成28年4月	歴史学	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
				韓国語入門 (会話含む)	兼任	講師	崔 誠姫 (50)	平成28年4月	韓国語入門 (会話含む)	
				韓国語応用 (会話含む)				平成28年4月	韓国語応用 (会話含む)	
兼任	准教授	フカイ マサ 福井 謙 (44)	平成28年4月	日本近現代史						
兼任	准教授	モリヤマ マスミ 森山 ますみ (52)	平成28年4月	世界の中の和文						
兼任	講師	イヅミ マサ 井尻 正徳 (38)	平成28年4月	化学	兼任	准教授	清宮 正徳 (52)	平成28年4月	化学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	イヅミ マサ 磯野 真穂 (30)	平成28年4月	文化人類学	兼任	准教授	加藤 尚子 (52)	平成28年4月	文化人類学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	イヅミ マサ 園村 直利 (45)	平成28年4月	物理学	兼任	教授	宮嶋 宏行 (46)	平成28年4月	物理学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	サトウ ケ 佐藤 寛子 (44)	平成28年4月	英語A-3 (講読中級1)						
				英語A-4 (講読中級2)						
				資格英語1 (Primary)						
				資格英語2 (Basic)						
				フランス語入門 (会話含む)						
				フランス語応用 (会話含む)						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	江田 哲也 (37)	平成28年4月	情報処理Ⅰ（初歩）	兼任	教授	稲垣 誠一 (60)	平成28年4月	情報処理Ⅰ（初歩）	就任辞退に伴う教員の変更（28）
				情報処理Ⅱ（基礎）	兼任	教授	宮嶋 宏行 (46)	平成28年4月	情報処理Ⅱ（基礎）	就任辞退に伴う教員の変更（28）
				情報処理Ⅲ（応用）	兼任	教授	宮嶋 宏行 (46)	平成28年4月	情報処理Ⅲ（応用）	就任辞退に伴う教員の変更（28）
兼任	講師	寺田 佳孝 (33)	平成28年4月	教育学						
兼任	助教	大塚 尚 (36)	平成28年4月	心理学	兼任	講師	矢口 大雄 (31)	平成28年4月	心理学	就任辞退に伴う教員の変更（28）
兼任	助教	木村 亮子 (34)	平成28年4月	日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-C(発表・討論) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-C(発表・討論) 医療福祉専門漢字	兼任	講師	小川 美香 (39)	平成28年4月	日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-C(発表・討論) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-C(発表・討論) 医療福祉専門漢字	就任辞退に伴う教員の変更（28）
兼任	助教	櫻井 留美 (29)	平成28年4月	日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門語彙	兼任	准教授	茅野 正雄 (60)	平成28年4月	日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門語彙	就任辞退に伴う教員の変更（28）
兼任	講師	井木 清 (78)	平成28年4月	生命倫理	専任	教授	樽井 正義 (68)	平成28年4月	生命倫理	就任辞退に伴う教員の変更（28）
兼任	講師	海老原 邦雄 (63)	平成28年4月	防災と生活デザイン	兼任	講師	梶 秀樹 (75)	平成28年4月	防災と生活デザイン	就任辞退に伴う教員の変更（28）
兼任	講師	大野 敏明 (64)	平成28年4月	アジア諸国の経済・社会・文化 国際関係論	兼任	教授	高須賀 茂文 (57)	平成28年5月	アジア諸国の経済・社会・文化 国際関係論	就任辞退に伴う教員の変更（28）
兼任	講師	大場 建治 (84)	平成28年4月	文学	兼任	講師	秋原 北風 (53)	平成28年4月	文学論	退職のため科日名修正、就任辞退に伴う教員の変更（28）
兼任	講師	岡野 賢二 (49)	平成28年4月	ビルマ語入門(会話含む) ビルマ語応用(会話含む)						
兼任	講師	押小路 忠昭 (55)	平成28年4月	社会学（人間と社会）	兼任	教授	川上 和久 (58)	平成28年4月	社会学（人間と社会）	就任辞退に伴う教員の変更（28）
兼任	講師	佐藤 里野 (35)	平成28年4月	演劇論	兼任	講師	秋原 北風 (53)	平成28年4月	演劇論	就任辞退に伴う教員の変更（28）
兼任	講師	清水 英里 (44)	平成28年4月	ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)						
兼任	講師	須藤 正彦 (73)	平成28年4月	法学 法と道徳・倫理	兼任	講師	伊東 達也 (52)	平成28年4月	法学 法と道徳・倫理	就任辞退に伴う教員の変更（28）

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職名	フジキナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	スニサ ウィッタパニヤノン Sunisa Wittayapanyanon (46)	平成28年4月	タイ語入門(会話含む)						
				タイ語応用(会話含む)						
兼任	講師	タカヤマ ノボル 高山 昇 (52)	平成28年4月	パフォーマンス表現論						
兼任	講師	タニ チハル 谷 千春 (55)	平成28年4月	手話入門						
兼任	講師	トキハシ 正樹 (64)	平成28年4月	郷土論	兼任	教授	川上和久 (58)	平成28年4月	郷土論	就任辞退に伴う教員の変更と、専門性の深化を図り、地方自治体および地域と連携する科目としてオムニバス化(28)
兼任	講師	トマキ キセイ 戸松 義晴 (62)	平成28年4月	宗教学						
				死生学-死を通して生を考える						
兼任	講師	ベツブ ミチコ 別府 美知子 (55)	平成28年4月	メディアカルマナー入門						
兼任	講師	ベウアー・テス フランク・ライヒホルム・アヒム Bauer-Lars Frank Wilhelm Achim (27)	平成28年4月	ドイツ語入門(会話含む)						
				ドイツ語応用(会話含む)						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)－① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
4	4	4	1	13	4	4	3	2	13	4	5	3	2	14
(4)	(4)	(4)	(1)	(13)						[0]	[1]	[△1]	[0]	[1]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)－② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	3 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	講師	山崎 まどか	必修	生理検査学Ⅰ（総論）	①	現勤務先における業務都合のため就任辞退（28）							
			必修	生理検査学実習Ⅰ（基礎）	①								
			必修	臨地実習	①								
			必修	卒業研究	①								
合計（A）					後任補充状況の集計（B）								
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修		科目	必修		科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択		科目	選択		科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由		科目	自由		科目
		計	3	科目	計	3	科目	計		科目	計		科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況		辞任等の理由					
		該当なし											
合 計（C）						後任補充状況の集計（D）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修		科目	必修		科目	必修		科目	必修		科目
		選択		科目	選択		科目	選択		科目	選択		科目
		自由		科目	自由		科目	自由		科目	自由		科目
		計		科目	計		科目	計		科目	計		科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）					後任補充状況の集計（B）+（D）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
1	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	科目

- (注) ・ **就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。**

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成28年度に発生した1名の専任教員予定者の未就任は、臨床に即した人材を育成する上での適任者として就任する予定であったが、現職場における予想外の離職者の発生等により、本学への就任が不可能になったものであり、やむを得ない理由によるものと判断した。なお、開学前の就任辞退でもあり、学生へは周知していない。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年7月)	・卒業要件単位数が124単位であるにもかかわらず、全ての履修モデルが124単位を超える単位数で作成されていることから、学生に誤解を生じさせるおそれがある。そのため、人材養成の方針に整合しつつ124単位で卒業する形の履修モデルを新たに作成すること。（医学検査学科）	留意事項	各学科124単位で卒業する形の履修モデルを作成し、学生に周知する。（28）
設 置 時 (27年7月)	・履修モデルによると、1年次前期に38～39単位の修得することになっている。CAP制は導入されているものの、半期に38～39単位の履修では実質的な学修時間が確保されない懸念がある。そのため、このような科目履修をしても学生に適切な学修時間を確保させることができるか検討し、必要に応じて履修モデルまたは授業科目の配当年次を修正すること。なお、導入されるCAP制は年間の上限を「50単位未満」としているが、履修モデルでは1年次の合計単位数がCAP制への算入除外科目（海外保健福祉事情Ⅰ及びⅡ）を考慮しても50～51単位になりCAP制の定めと整合しないと思われることから、学生に示す際に整合するよう修正すること。（医学検査学科）	留意事項	「2 授業科目の概要」に記載したとおり、1年前期の数科目を1年後期に廻し、前期と後期とのバランスをとるように変更した。（28）
設 置 時 (27年7月)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。（医学検査学科）	留意事項	今回の採用では、カリキュラム等の特性上、定年年齢の教員を採用した。今後、採用する教員については、学部の継続的な発展を踏まえ、原則、完成年度において退職年齢を超えることのない50歳代以下の教員を中心に選考を行っている。（28）

（注）・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<成田保健医療学部 作業療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 124単位 必修科目108単位、選択科目16単位 ② 施設・設備 a 講義室4室 (569.76㎡) 理学療法学科専用 b 自習室6室 (1,665.78㎡) 成田看護学部・成田保健医療学部共通 c 図書 設置時6,400冊、完成時予定16,000冊 成田看護学部・成田保健医療学部共通	① 当初の予定から変更なし ② 当初の予定から変更なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 国際医療福祉大学 成田看護学部・成田保健医療学部 FD委員会 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 毎月第3木曜日開催、委員は各学部学科、所属より選出 c 委員会の審議事項等 FD研修会の企画運営 大学全体のFD研修会との企画調整 ② 実施状況 a 実施内容 ①大学全体でのFD研修会（年2回、9月、3月） ②成田キャンパスにおけるFD研修会（年1回） b 実施方法 ①大学全体でのFD研修会（年2回、9月、3月） 各キャンパスが持ち回りで担当。外部講師を招聘し、ポートフォリオ、IPEなどのテーマで講演会を実施。 ②成田キャンパスにおけるFD研修会（年1回） 年1回の開催に向け、FD委員会にて企画検討中。 c 開催状況（教員の参加状況含む） ①大学全体でのFD研修会（年2回、9月、3月） 専任教員全員参加。 ②成田キャンパスにおけるFD研修会（年1回） 成田キャンパスの専任教員全員参加。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 実施後にアンケート等から各教員へフィードバックする予定。
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

半期の場合は15回目、半期の半分の場合は8回目に授業アンケートを実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員へは集計結果をフィードバック。学生はホームページなどで集計結果を公開予定。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本年4月に開設した、成田看護学部及び成田保健医療学部は、千葉県をはじめ南関東地域の保健・医療・福祉に関わる専門職の需要にこたえとともに、国際都市である成田の特徴を生かし、地域・国際社会でグローバルに活躍できる人材の育成を図るために、設置したものである。

本年4月入学の第1期生の募集に当たっては、募集期間が通常の募集に比べ短期間にもかかわらず、成田看護学部が入学定員100人に対し、715人の志願者(志願倍率7.15倍)が、また、成田保健医療学部が入学定員240人に対し、1,234人の志願者(志願倍率5.14倍)があり、最終的には、成田看護学部で108人、成田保健医療学部で261人の入学者を迎えることができ、優秀な人材を確保できたと考えている。

開設に当たっては、大学設置・学校法人審議会に附された留意事項等を踏まえ、可能な範囲で見直しを図ったところである。開設したばかりで、留意事項に対して十分な対応とは言えないが、引き続き改善を図っていきたいと考えている。

まだ、開設したばかりであり、今後設置計画や留意事項を着実に履行するとともに、実習体制や施設、設備等の充実を図り、保健・医療・福祉分野における、優れた人材を養成していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成28年度中に実施し、平成29年度5月に公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度を予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年 5月 31日 頃)